

2026 年度（令和8年度）

福山市 神村 町 地内

大久保下池改良工事 実施設計書

建設リサイクル法対象工事

業 務 概 要	項 目	当 初	
	適 用 単 価 区 分 工 種 施工地域・工事場所区分 工 事 概 要	0-08.06.01 ため池工事 中山間地域 工事延長 堤体工 盛土工（流用土・ランダム材） 盛土工（流用土） 盛土工（刃金土） 洪水吐工 コンクリート舗装工 床版工 仮設工	L= 21.7 m V= 32 m3 V= 82 m3 V= 35 m3 L= 20 m A= 71 m2 一 式 一 式

ため池整備工事共通仕様書

(適用)

1-1 本仕様書は、高さ(堤高)15m未満のフィルタイプのため池(調整池を含む)改修の堤体工、地盤改良工、洪水吐工、取水施設工、浚渫工その他これらに類する工種について適用するものとする。

1-2 設計図書において特に定めのない事項については、次の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として設計図書の規定に従うものとし、この仕様書に定めのない事項または疑義がある場合は、監督員に確認を求めなければならない。

- | | |
|----------------------|-------------|
| 1. 土地改良事業設計指針「ため池整備」 | 農林水産省農村振興局 |
| 2. 土木工事等共通仕様書 | 農林水産省構造改善局 |
| 3. 広島県農林土木工事共通仕様書 | 広島県農林水産局 |
| 4. 広島県土木工事共通仕様書 | 広島県建設技術センター |
| 5. 農林土木工事施工管理基準 | 広島県農林水産局 |

(一般事項)

2-1 打合せ

この仕様書において「打合せを行う」とされた場合に、監督員は状況に応じ、受注者、現場代理人、監理技術者または主任技術者に対し指示、承諾または助言を行うものとし、指示及び承諾は文書(打合せ簿を含む)によって行うものとする。助言は口頭でも出来るものとする。

2-2 測量

1. 事前測量を行い監督員に結果を提出し、承諾を受けなければならない。
2. 基準点及び水準点は常に保全に努め、施工の支障となる基準点及び水準点は、監督員と協議の上移設し、その管理を適切に行わなければならない。
3. 監督員が別に指示する測量については、これを速やかに実施し、その成果を提出しなければならない。

2-3 段階確認

受注者は、工事完了後外面から明視できない箇所、または重要な工事部分及び、監督員が必要と認めて指示する作業段階ごとに、その施工位置、施工状況等について、監督員の確認を受けなければならない。

2-4 履行報告書

受注者は、月末締めで翌月7日までに履行報告書を監督員に提出しなければならない。

2-5 定義

1. 「鋼土、刃金土」とは、堤体盛土のうち、遮水を目的とした部分をいう。特に「刃金土」

という場合は、遮水性部分または工法を示し、「鋼土」とは遮水性部分に用いる材料を示す場合もある。

2. 「ランダム材」とは、堤体盛土のうち遮水性ゾーン（鋼土、刃金土）以外の部分をいう。
3. 「ドレーン」とは、堤体からの浸透水による細粒材料の流失を防止し、かつ浸透水を堤体外へ安全に排出流下させることにより、堤体の浸透破壊を防止するものをいう。
4. 「コンタクトクレイ」とは、土質材料と基礎岩盤面あるいはコンクリート構造物面が接する箇所において密着性をより高めるために貼付ける粘土質材料をいう。
5. 「前法（表法）」とは、堤体上流側の法面をいう。
6. 「後法（裏法）」とは、堤体下流側の法面をいう。
7. 「取水施設」とは、底樋等の土木構造物と取水バルブ（ゲート）等の機械設備を含めたものの総称である。
8. 「取水設備」とは、取水施設における取水バルブ（ゲート）等の機械設備を示す。
9. 「樋管」とは、底樋、斜樋を含めたものの総称である。
10. 「腰ブロック」とは、ドレーンを保護し、かつ浸透水を堤体外に速やかに排水流下させる積ブロックをいう。
11. 「土砂吐」とは、ため池の最も低位置に設けられた池内に堆積する土砂等の排除施設をいう。

2-6 使用資材

1. 設計図及び仕様書に特定の製品名及び製造業者名を表示していない場合は、「日本工業規格（JIS 製品）、団法人日本水道協会（JWWA 製品）」または監督員が認める同等以上の製品であることとする。
2. 受注者は、本工事に使用する主要な資材について、名称・規格・品質・各種試験成績書及び購入先が確認できる資料を提出し、監督員の承諾を受けなければならない。

2-7 コンクリート工

この工事に使用するコンクリートは、「広島県土木工事共通仕様書」によるものとし、セメントは高炉 B 種とし、使用区分は次表のとおりとする。

表 示	名 称	設計基準強度	粗骨材最大寸法	スランプ	水セメント比
21-20-8	鉄筋構造物	$\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$	20mm	8cm	55%以下
18-40-8	無筋構造物	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	40mm	8cm	60%以下
18-40-8	均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	40mm	8cm	60%以下

2-8 施工体制立入点検について

1. 発注者は、受注者が工事の施工に当たり、遵守しなければならない法令上の義務が適正に履行されているかの立入調査を行うことができる。

2. 受注者は、発注者の指名する者が、工事現場、現場事務所または営業所に立入調査を実施する場合は、これを受け入れなければならない。

<施工一般>

(堤体工)

3-1 雑物除去工

1. 受注者は、掘削に当たり、堤敷内の腐植土、草木根等の有機物及び基礎として不適当なもの並びに池水の浸透を誘導する雑物（風化土、転石、泥土等）は完全に除去しなければならない。なお、現地状況により完全に除去できない場合には、監督員と協議しなければならない。
2. 受注者は、設計図書に基づき工事現場内にある地表物及び物件を処理しなければならない。また、設計図書に示されていない地表物等については、監督員と協議しなければならない。

3-2 土取場

1. 堤体盛土材料の採取に当たっては、指定する土取場について採取計画を施工計画書に記載し、監督職員の承諾を得なければならない。
2. 受注者は、伐開または採土前に土取場で監督職員、所有者立会のもとに範囲等を確認し、後でトラブルのないようにしなければならない。また、数量の確認ができるよう着工前後の測量、写真等必要書類を整理しなければならない。

3-3 表土剥ぎ取り

1. 受注者は、改修する堤体表土の剥ぎ取りに当たり、原則として全面にわたり同時に施工するものとする。
なお、やむを得ず盛土の進捗に応じて表土を剥ぎ取る場合には、表土と盛土が混合しないようにしなければならない。
2. 受注者は、表土の剥ぎ取りに当たり、設計図書に定めのない限り 30cm 以上とし、剥ぎ取り面に樹木の根等が残る場合、これを除去しなければならない。
なお、現地状況により除去できない場合には、監督員と協議しなければならない。

3-4 掘削工

1. 受注者は、掘削に当たり、計画基礎地盤標高に達する前に、ボーリング結果と現地の照合を行う等、地盤の確認を行い、地盤改良の可否を検討するものとする。地盤改良等が必要となった場合には、監督員と協議するものとする。
2. 受注者は、浸透水をその原因により堤防の内外に区分して、誘導処理しなければならない。
3. 受注者は、床掘及び袖掘を設計図書に示す深さに掘り下げ、掘削完了後は監督員の検査を受けなければならない。
ただし、所定の深さ以前に良質堅固な不透水層に遭遇した場合は、監督員の指示を受けなければならない。
4. 受注者は、床掘及び袖掘には原則として火薬使用を避け、基礎の弛緩を防止し、やむを

得ずこれを使用する必要があるときは、監督員の指示を受けなければならない。

5. 受注者は、漏水を絶無にするため、基礎地盤の「凹凸」を取除いてよく清掃し、基礎地盤と築堤土との接触を密にしなければならない。

6. 受注者は、掘削に当たり必要な断面を確保するとともに、極力過掘りを避けるものとする。過掘りとなった場合、地山と同等若しくは良質な材料を用いて埋戻すものとするが、その処置について監督員の指示によるものとし、これに要する経費は受注者の負担により行わなければならない。

7. 受注者は、掘削法面の保護について十分工程計画を検討し、風化、変質が生じないようにしなければならない。

3-5 掘削土の流用工

1. 受注者は、掘削土を築堤材料へ流用する場合、設計図書によるものとする。

2. 受注者は、掘削に先立ち掘削土の盛立材料への流用の適否を検討するために掘削箇所の試験を行うとともに土質試験を実施し、その試験結果を監督員に提出するものとする。なお、試験項目については監督員の指示によらなければならない。

3-6 掘削土の搬出工

1. 受注者は、泥土等軟弱な土砂を現場外へ搬出する場合、建設汚泥再生利用技術基準(案)の第4種建設発生土相当以上（コーン指数（ q_c ）が 200kN/m^2 以上若しくは一軸圧縮強度（ q_u ）が 50kN/m^2 以上）に改良しなければならない。

なお、第4種建設発生土相当以下の泥土等軟弱な土砂を本工事現場外へ搬出する必要がある場合は、監督員と協議するものとする。

2. 受注者は、泥土を他事業、他工事で再利用する場合、事前に泥土に含まれる有害物質に関する試験を行い、「水質汚濁防止法に基づく排水基準（一律排水基準）」を満たしていることを確認するものとする。なお、基準を満たしていない場合は監督員と協議するものとする。

3-7 堤体盛立工

1. 受注者は、盛立材料の試験を設計図書及び監督員の指示により行わなければならない。

2. 受注者は、刃金土には特に水密性の大きい粘質土を選び、**透水係数 $k = 1.0 \times 10^{-5} \sim 5.0 \times 10^{-5} \text{cm/sec}$** の土を用いなければならない。

（JIS A 1214 の方法による、最大乾燥密度の 95%以上の時）

3. 受注者は、ランダム材には透水性があり重量の大きい砂質土で、**透水係数 $k = 1.0 \times 10^{-3} \sim 5.0 \times 10^{-5} \text{cm/sec}$** の土を用いなければならない。

（JIS A 1214 の方法による、最大乾燥密度の 95%以上の時）

4. 受注者は、築堤用土の採取及び搬入について、1 日計画盛土量程度とし、降雨、降雪その他の事由により盛土を中断し、搬入土が余る場合、覆い等を施して過湿あるいは乾燥土とならないよう処置しなければならない。

5. 受注者は、用土運搬の方法について転圧の障害となる軌道、ポスト等は盛土の現場に設けてはならない。
また、自走式運搬機械で行なう場合も、その進入路等の軌跡が集中して過転圧を起さないように、取付部の拡張、運搬方法について考慮しなければならない。
6. 受注者は、築堤用土のまき出し及び転圧に当たり、原則として堤体の縦断方向に施工するものとし、横断方向に層状にならないように注意しなければならない。
ただし、樋管設置のための開削部で作業が困難な場合はこの限りではない。
7. 受注者は、盛土基礎地盤について支持力及び均等性に疑問がある場合には監督員と協議しなければならない。
8. 受注者は、まき出した土を、その日のうちに締固めなければならない。
9. 受注者は、床掘部の盛立において、湧水のあるときはこれを排除して十分に締固めなければならない。なお、排除の方法については、監督員と協議しなければならない。
10. 受注者は、地山及び既成盛立との接触面について特に十分に締固めなければならない。
11. 受注者は、盛土作業について最凹部から各層平坦に締固め、設計図書に示す高さまで盛立てるものとする。
12. 受注者は、水平な面を施工する場合、平坦な締固め、排水が良好となるよう施工しなければならない。
13. 受注者は、タイヤローラまたは振動ローラで転圧作業を行うこととする。
14. 受注者は、転圧作業に当たり、ローラの転圧幅は 30cm 以上重複させなければならない。
15. 受注者は、地山または既成盛立との接触面及び地形上ローラの使用が不可能な箇所の転圧に際しては、地山との密着及び既成盛立との均一化を図るよう特に留意し、タンパ、振動ローラ等の小型締固め機械または人力で入念に締固めなければならない。
16. 受注者は、法面部の盛土について、規定以上の寸法の広さまでまき出し、十分締固めを行うものとする。また、はみ出した部分は、盛立完了後に切り取り、法面を仕上げるものとする。
17. 受注者は、冬期の盛立において、盛立面の氷雪または凍土、霜柱は必ず除去して転圧しなければならない。また、含水比あるいは締固め密度が所定の値を満足していない場合、その 1 層を破棄あるいは再締固めしなければならない。
18. 受注者は、盛土の施工中において、用土の不適若しくは転圧の不十分、または受注者の不注意によって湧水あるいは盛立法面の崩壊があった場合、その部分及びこれに関連する部分の盛立について再施工しなければならない。
19. 受注者は、盛立現場の排水を常に十分行い、雨水等が盛立部分に残留しないよう緩勾配をつけて仕上げるものとする。
20. 受注者は、転圧後平滑面が出来た場合、次層との密着を図るため、かき起しをしてから

次のまき出しを行わなければならない。

21. 受注者は、まき出し面が乾燥した場合は散水等により、まき出し材料と同程度の含水比となるよう調整し施工しなければならない。

22. 受注者は、まき出し土中に過大な粒径の岩石、不良土及びその他草木根などがある場合、これを除去しなければならない。

23. 受注者は、盛土作業中に沈下等の有害な現象があった場合、その処理方法について監督員と協議しなければならない。

24. 受注者は、岩盤面に盛立する場合、浮石やオーバーハング部を取除き、十分清掃のうえコンタクトクレイを貼り付けた後施工しなければならない。

また、コンタクトクレイを施工するときは、その厚さ及び施工方法について監督員と協議しなければならない。

25. 受注者は、締固めに当たり、過転圧による品質の低下に十分注意し、適正な盛立管理のもとに施工しなければならない。

26. 受注者は、締固め後、乾燥によるクラックが発生した場合、その処理範囲について監督員と協議し、健全な層まで取除き再施工しなければならない。

27. 受注者は、盛立作業ヤード上で締固め機械を急旋回してはならない。

28. 受注者は、施工中において用土の含水比、締固め試験、透水試験等の施工管理試験を行わなければならない。

29. まき出し厚さ、転圧回数の標準は次のとおりとする。ただし、施工前及び土質変更時には現場盛土試験を行い、転圧状況等の確認を行い、監督員と協議し決定するものとする。

	タイヤローラ (3500m/h)		振動ローラ (1000m/h)		タンパ (550m/h)	
	まき出厚 (m)	転圧回数 (回)	まき出厚 (m)	転圧回数 (回)	まき出厚 (m)	転圧回数 (回)
鋼 土	0.20	10	0.20	8	0.10	8
ランダム	0.30	8	0.30	4	0.20	4

30. 施工管理

① 施工管理は、別紙ため池出来形管理基準（写真撮影）及びため池品質管理基準によるものとし、試験方法、回数、施工管理基準は本仕様書によるものとする。

② 受注者は、土質が変化する時等、監督員の指示により含水比試験を行わなければならない。許容含水比は最適含水比±5%とする。

③ 試験結果が管理基準値に達しない場合は監督員の指示にしたがうものとする。

3-8 コンクリート工

受注者は、構造物の施工に当たり、図面に表示している箇所以外で生コンクリートの施工

打継ぎを行う場合には、塩ビ製止水板を設置し、漏水がないようにするものとする。

3-9 法面保護工

1. 受注者は、設計図書で示された工法で十分転圧し、法面を整形しなければならない。
2. 受注者は、曲線部及び局部で波止ブロックの施工ができない箇所は、強度 $18\text{N}/\text{mm}^2$ 以上のコンクリートで仕上げなければならない。

3-10 裏法フィルター工

受注者は、後法（裏法）フィルターの施工に当たり、1層の仕上がり厚さが 30cm 以下となるようまき出し、タンパ（60～100kg 級）等により締固めなければならない。

3-11 腰ブロック工

受注者は、腰ブロック水抜孔の施工に当たり、塩化ビニル管（VU $\phi 50\text{mm}$ ）を $2 \sim 3 \text{ m}^2$ に 1 箇所程度の割合で設置しなければならない。

3-12 ドレーン工

受注者は、碎石または砂によるドレーンについて、1層の仕上り厚さが 30cm 以下となるようまき出し、振動ローラまたはタンパ（60～100kg 級）等により締固めなければならない。

（地盤改良工）

4-1 浅層改良工

1. 受注者は、設計図書に示す種類の固化材を使用するものとし、地盤改良の施工方法等を施工計画書に記載し、監督員に提出しなければならない。なお、これ以外の改良方法を行う場合には、監督員と協議しなければならない。
2. 受注者は、工事着手前に室内配合試験を行い、使用する固化材の添加量について監督員の承諾を得なければならない。
3. 受注者は、風による飛散公害と作業員の健康障害等を招かないよう必要な措置を講じるとともに天候に留意し、雨天、強風時及び気温 5°C 以下のときは散布してはならない。また、施工時に異常が発生した場合には、直ちに監督員に報告し、指示を受けるものとする。
4. 受注者は、バックホウ等により所定の深さまで現地土と固化材を混合・攪拌するものとし、混合状態の良否を観察し、目視による色むらがなくなるまで行うものとし、混合むらが生じた場合は、再度混合する。
5. 受注者は、固化材を混合、攪拌し所定の養生期間を経た後、基盤面の仕上げを行うものとする。
6. 受注者は、セメント系固化材を使用する場合、必要に応じて透流水の PH を測定するものとする。なお、測定方法については、監督員の指示を受けるものとする。
7. また、六価クロム溶出試験（及びタンクリーチング試験）を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。試験方法は「セメント及びセメント系固化材を使用した改良

土などの六価クロム溶出試験実施要領」によるものとする。また、土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合は、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

・試験対象工種名及び検体数

地盤改良工 : 配合設計段階 1 検体 (試験方法 1)

(洪水吐工)

5-1 洪水吐工

1. 受注者は、堰体に接する部分の掘削に当たり、発破と過掘りを避けて、基盤を緩めないようにしなければならない。また、洪水吐の越流堰設置箇所部分の掘削は、正確な断面を保持しなければならない。
2. 受注者は、設計図書に掘削土等の流用計画が示されている場合、流用工種との工程調整を図り、所定量を確保しなければならない。
3. 受注者は、特に堰体コンクリートと岩盤の密着について留意し、浮石等を除去、清掃のうえモルタルを敷き均して施工しなければならない。
4. 受注者は、堤体越流部及び放水路の断面形状等について、設計図書によるものとし、表面に生じた空隙にはコンクリート等を充填し、突起部はすべて削り取って平滑に仕上げなければならない。
5. 受注者は、洪水吐周辺の盛土について、土とコンクリートの境界面が水みちとならないように施工しなければならない。
6. 受注者は、設計図書のとおりに床版止めアンカーを正確に取付けなければならない。

(取水施設工)

6-1 取水施設工

1. 受注者は、底樋管巻立コンクリート及び止水壁周辺の盛土について、境界面が水みちとならないよう、特に十分に締固めなければならない。また、締固め機械によって底樋管等に損傷を与えないよう注意して施工しなければならない。
2. 受注者は、底樋管上の盛土の転圧について巻立コンクリートの天端から 60cm までは、重機械によらずにタンパ等で十分に締固めなければならない。
3. 受注者は、取水施設設置のための現況堤体開削部について、盛土材料と旧堤体土とのなじみを良くするため境界面のかき起しや散水を行うものとし、堤体開削部より漏水することのないように施工しなければならない。
4. 受注者は、掘削において、管敷設、接合、基礎工、埋戻し等の作業及び管体の安全を考慮して必要な幅員及び法勾配を確保するものとし、過掘りの発生は極力避けなければならない。継手掘り箇所またはやむを得ず基礎地盤を過掘りした場合、良質な材料を用いて締固め、当初地盤と同等程度に復元しなければならない。

5. 受注者は、設計図書に示すとおり取水施設の継手を設置しなければならない。なお、盛土の圧密沈下等により支障を生じないようにしなければならない。
6. 受注者は、堤体盛土に支障のないよう工程上余裕を持って底樋管を設置するものとする。
7. 受注者は、管路の埋戻し用土に掘削土を流用するとき石礫、有機物等の有害物を含まないようにしなければならない。
8. 受注者は、斜樋管に塩ビ管・ヒューム管等を用いる場合、管体に損傷を与えないよう丁寧に取り扱い、継手は水密になるよう接合しなければならない。
9. 受注者は、底樋管と斜樋管の取付部、斜樋管の取水孔部、施工継手等は漏水のないよう施工しなければならない。
10. 受注者は、樋管工事の施工に当たり樋管部巻立コンクリート打設前及び樋管完成時の各段階で監督員の承認を受けなければならない。

6-2 ゲート及びバルブ製作工

1. 受注者は、製作に先立ち、承諾図書を2部（承諾後返却分1部を含む）提出するものとする。
2. 受注者は、完成図書を2部提出するものとする。なお、完成図書等の内容、様式等については監督員と打合せのうえ作成するものとする。
3. 受注者は、製作に使用するすべての材料について、水圧に耐えうる強度を有し、各種形状寸法は正確に承諾図書に適合したものでなければならない。
4. 受注者は、鋳鋼、鋳鉄、砲金等の鋳造品は十分押湯をし、表面平滑であって、鋳房、気泡、その他鋳造上の欠点のないものでなければならない。

6-3 取水ゲート

1. 受注者は、扉体の主横桁は設計最大水圧を均等に受ける位置に配置しなければならない。
2. 受注者は、シートフレームの設計、製作に当たりコンクリートにより弾性支持されるレールと考えられるので、扉体に作用する水圧を有効かつ安全にコンクリートへ分布伝達できるようにしなければならない。
3. 受注者は、水密部となる扉体及びシートフレームを平削加工したうえ、共摺合せを十分に行い完全なる水密を保たなければならない。
4. 受注者は、スルースバルブの巻上機について巻上オネジ及びメネジがその荷重に耐えられる構造としなければならない。
5. 受注者は、オネジの軸受部について開閉が容易に行えるようにベアリングを装置しなければならない。
6. 受注者は、巻上機に開閉度を表示する目盛板とハンドルの回転方向による開閉別を区分できる表示板を取付けなければならない。

(土砂吐ゲート)

6-4 土砂吐ゲート

1. 受注者は、扉体の主桁は設計最大深を均等に受ける位置に配置し、その水圧に対して十分な強度を有する構造としなければならない。
2. 受注者は、シートフレームの設計、製作に当たり、コンクリートにより弾性支持されるレールと考えられるので、扉体に作用する水圧を有効かつ安全に側壁コンクリートへ分布伝達できるようにしなければならない。
3. 受注者は、水密部となる扉体及びシートフレームを平削加工したうえ、共摺合せを十分に行い完全なる水密を保たなければならない。
4. 受注者は、開閉が円滑に行える構造としなければならない。

(仮設備工)

7-1 道路工

1. 工事用道路は工程計画、安全性を考慮し施工しなければならない。
2. 工事用道路については、施工計画書に記載しなければならない。

7-2 水替工

1. 仮締切、仮廻し水路は、設計図書によるほか、流水等に対し安全な構造とし適切な維持管理をしなければならない。
2. 工事に起因する汚濁水は、環境保全、自然保護等について十分留意し、必要に応じて流末処理（沈砂池等）をするなど、十分に注意しなければならない。
3. 受注者は、汚濁水の流出等不測の事態が生じた場合は、監督員及び関係者に速やかに連絡し迅速に対処しなければならない。
4. 仮締切内の水替は排水計画に万全を期し常時適切に管理をしなければならない。

7-3 仮排水工の管理

1. 仮排水工は、受注者の責任において適切な維持管理をしなければならない。
2. 仮排水工の計画流量を超える場合の処置については、あらかじめ監督員と協議するものとし、緊急時に備えなければならない。

ため池 品質管理基準

種 別	重要度	試 験 (測 定) 項 目	管 理 基 準			
			試 験 (測 定) 方 法	規 格 値	試 験 (測 定) 基 準	摘 要
材料試験	必須 (その他)	土の粒度試験	JIS A 1204		原則として、当初及び土質の変化時、 ただし規模等により回数は別途表示。	※必須の試験(測定)項目は必ず実施すること
		土の突固め試験	JIS A 1210A,B法			
		土の密度試験	JIS A 1202			
		土の透水試験	JIS A 1218			
		土の含水比試験	JIS A 1203			
	その他	土の一軸試験	JIS A 1216		当初設計に比べ重大な変化が認められる場合、発注者と協議してから実施のこと	※その他の試験(測定)項目は必要に応じて実施すること
		土の三軸圧縮試験	土木試験基準			
		土の圧密試験	JIS A 1217			
		土のセン断試験	土木試験基準			
		土の液性限界試験	JIS A 1205			
		土の塑性限界試験	JIS A 1206(1205)			
施工試験	必須	土の含水比試験	JIS A 1203	施工含水比は、標準突き固め最適含水比の±5.0%の範囲にあること。	1日1回以上	農林土木施工管理基準P.13
		六価クロム溶出試験	環境庁告示第46条溶出試験	試験方法1	地盤改良工施工前	
		現場密度試験	JIS A 1210	D値95%以上	遮水性ゾーン： 盛土1m毎、延長50m(40m) 毎に1回、1回当り3個 ランダムゾーン： 盛土2m毎、延長50m(40m) 毎に1回、1回当り3個	
		現場透水試験	立坑法 JGS1316	K=1.0*10 ⁻⁵ cm/s以下 K=1.0*10 ⁻⁵ ～5.0*10 ⁻⁵ cm/s	遮水性ゾーン： 盛土1m毎、延長50m(40m)毎に1回、 1回当り1個	
				K=1.0*10 ⁻³ ～1.0*10 ⁻⁵ cm/s K=1.0*10 ⁻³ ～5.0*10 ⁻⁵ cm/s	ランダムゾーン： 盛土2m毎、延長50m(40m)毎に1回、 1回当り1個	

ため池 出来形管理基準(写真撮影)

種 類	細 目	撮 影 箇 所	撮 影 頻 度	摘 要
堤体工		盛土幅員, まき出し厚, 転圧, 法長, 法面(芝)法勾配, 排水側溝その他必要な箇所を撮影する	施工延長概ね20～40m(20m)につき1箇所の割合で撮影する。 上記に満たない場合は2箇所撮影する。	農林土木施工管理基準P.5
余水吐工		床掘, 基礎, 幅, 高さ, 厚さ, 配筋, 打継目, パイプ敷設, 外観検査, ジョイント関係, その他必要箇所を撮影する。	概ね2スパン(1スパン)につき1箇所の割合で撮影する。 箇所単位の構造物については適宜撮影する。	農林土木施工管理基準P.5
樋管工		床掘, 基礎, 幅, 高さ, 厚さ, 配筋, 打継目, その他必要箇所を撮影する。	施工延長概ね10mにつき1箇所の割合で撮影する。箇所単位の構造物については適宜撮影する。	
地盤改良 (浅層混合)		改良前に改良深の確認状況その他必要箇所を撮影する。	施工延長概ね20～40m(40m)につき1箇所の割合で撮影する。 上記に満たない場合は2箇所撮影する。	土木工事施工管理基準P.142

ため池 段階確認 事項

項 目	内 容	備 考
地盤支持力の確認	堤体基礎部、トレンチ qc=500kN/m ²	キャスポル等にて確認 ため池全面改修の手引きP.299
	余水吐	
準備工	丁張	
盛土工	試験盛土確認	ため池全面改修の手引きP.299
	現場透水試験	品質管理基準のとおり
コンクリート工	出来形寸法、コンクリート強度確認	ため池全面改修の手引きP.299
準備工	丁張	
堤体基礎地盤面 (トレンチ)	現場透水試験 K=1.0*10 ⁻⁴ cm/s以下	
工事用道路工 (盛土)	幅, 法長, 法勾配, その他必要な箇所を撮影する。	施工延長概ね20～40m(40m)につき1箇所の割合で撮影する。 上記に満たない場合は2箇所撮影する。 土木工事施工管理基準P.142

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、大久保下池改良工事に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和7年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類
- ・小黑板情報電子化を実施しない工事写真について、監督員の承諾を得る必要はないものとする。

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 工事に着手すべき期日について

- ・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第5節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第6節 再生資源利用計画の現場掲示

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

第2章 材料

第1節 コンクリートの配合指定

- ・鉄筋コンクリート（呼び強度21及び24）の水セメント比については55%以下、無筋構造物のコンクリート（呼び強度18）の水セメント比については60%以下とすること。

第3章 施工条件

第1節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第2節 任意仮設

- ・本工事に伴う以下の内容の仮設工は、積算用参考図に見込んでいる。なお、積算用参考図は任意仮設の積算内容を示したものであり、工事目的物を完成させるための一切の手段については、受注者の責任において定めるものとする。
- ・内容：工事用道路

第3節 購入土（搬入）（新材料）

- ・本工事では土砂購入を見込んでいる。
- ・新材料の購入土砂を見込んでいるが、建設発生土処分先一覧表に掲載された建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土（改良土を含む。）を使用することが可能である場合は、その使用に努めるものとする。ただし、使用する処理土がセメント及びセメント系固化材を使用した改良土の場合、「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」に基づき、建設発生土リサイクルプラントから試験結果の提示を受けるとともに、施工後に六価クロム溶出試験を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。

第4節 建設副産物について

(1) 工事受注者は、工事着手前に、次の書類を本工事の監督員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先の現地確認写真を提出すること。

1 建設廃棄物処理計画書

- ・廃棄物処理業者（収集及び運搬）の許可証の写し（許可車両の自動車登録番号一覧及び自動車検査証の写しを含む）

- ・廃棄物処理業者（中間処理・最終処分）の許可証の写し（再生資源化施設にあっては、それを示す書類を含む）

- ・運搬ルート、処分場の位置、事業の範囲、処理能力及び処理方法を明示したもの

- ・各処分場の現地確認写真

- ・建設工事の受注者と処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分・再資源化施設）との二者の業務委託契約書の写し

2 再生資源利用計画書

3 再生資源利用促進計画書

(2) 工事受注者は、「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び「建設廃棄物処理計画書」に従い建設廃棄物及び特定建設資材廃棄物が適正に処理されたことを確認し、工事完成時に次の書類を監督員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先への搬入状況の写真を添付すること。

1 再生資源利用実施書

2 再生資源利用促進実施書

3 建設廃棄物処理実施書

- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

- ・収集及び運搬の写真並びに中間処理場及び最終処分場（直接最終処分の場合のみ）への搬入状況の写真

第5節 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

- ・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は、監督員と受注者が協議するものとする。

- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。

- ・実施伝票は原本を提出すること。

第6節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

- ・建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出すること。

- ・特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。

- ・特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。

- ・再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、施設への受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。

- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。

- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

第7節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

- ・令和7年8月広島県土木工事共通仕様書で使用を義務づけている排出ガス対策型建設機械においては、第三次基準以上の建設機械の使用に努めること。なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第4章 その他

第1節 その他項目

- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 70 福山市 00-08.06.01(0)		
諸経費体系	9 公共(011015 ~)		
	当世代	前世代	
諸経費工種	21 ため池工事		
工事費端数区分	01 千円未満切捨		
週休補正区分	00 補正なし		
施工地域・工事場所区分	05 中山間地域		
契約保証費区分	01 金銭的保証(0.04%)		
前払支出割合区分	00 補正なし		
軽油区分	00 一般軽油使用		
復興補正区分	00 補正なし		
I C T 補正区分	00 補正なし		

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本工事費											
ため池										レベル 1	
堤体工		1			式					レベル 2	
掘削工		1			式					レベル 3	
土砂（堤体）掘削 【土質】		1			式					レベル 4	
床掘り 土砂 上記以外(小規模)					m3					00	
法面整形工		240			m3					単第 0 -0001号表 レベル 3	
法面整形（盛土部） 【土質】		1			式					レベル 4	
法面整形 盛土部 法面締固め有り 現場制約無し レキ質土,砂及び砂質土,粘性土					m2					00	
		52			m2					単第 0 -0002号表	

本工事費

内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
購入土盛土						レベル 3
	1		式			
遮水性ゾーン 【土質】			m3			レベル 4
機械併用埋戻(小規模土工)(刃金土)						00
	11		m3			単第 0 -0003号表
振動ローラ締固め(刃金土) W<1.0m 埋戻						00
	11		m3			単第 0 -0006号表
振動ローラ締固め(刃金土) 1.0m W < 2.5m 埋戻						00
	13		m3			単第 0 -0008号表
機械併用埋戻(小規模)(流用土・ランダム材)						00
	32		m3			単第 0 -0010号表
振動ローラ締固め(流用土) W<1.0m 埋戻						00
	19		m3			単第 0 -0012号表
振動ローラ締固め(流用土) 1.0m W < 2.5m 埋戻						00
	63		m3			単第 0 -0013号表
購入土 刃金土						00
	47		m3			

本工事費

内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
購入土 ランダム材						00
作業残土処理工	28		m3			レベル 3
作業残土処理	1		式			レベル 4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離4.0km以下(3.5km超)	140		m3			00 単第 0 -0014号表
処分費対象額調整(直接工事費計上分) 「処分費等」の取扱いによる						
発生土受入費	140		m3			00
法面植生工	1		式			レベル 3
張芝 【材料種別】			m2			レベル 4
植生シート工 肥料袋無 標準品 [規]250m2未満	52		m2			00 単第 0 -0015号表

本工事費

内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
余水吐工							レベル 2
		1		式			
本體工							レベル 3
		1		式			
均し	コンクリート 【規格】			m3			レベル 4
	コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設						00
		6.4		m3			単第 0 -0016号表
コンクリート	【規格】			m3			レベル 4
	コンクリート 無筋・鉄筋構造物 コンクリート(各種) バックホウ(クレーン機能付)打設						00
		56		m3			単第 0 -0017号表
鉄筋	【規格】			t			レベル 4
	鉄筋工 SD295 D13 一般構造物 [規]10t未満						00
		3		t			単第 0 -0018号表
	鉄筋工 SD345 D16 一般構造物 [規]10t未満						00
		0.1		t			単第 0 -0019号表

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
鉄筋工 SD345_D19 一般構造物 [規]10t未満										00	
		0.747		t						単第 0 -0020号表	
型枠					m2					レベル 4	
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物		199		m2						00	
曲線型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物		4.6		m2						単第 0 -0021号表	
										00	
										単第 0 -0022号表	
型枠 一般型枠 均しコンクリート		6.5		m2						00	
継手工										単第 0 -0023号表	
		1		式						レベル 3	
目地板 【材料種別・規格】					m2					レベル 4	
目地板 1工事当り使用量30m2未満 瀝青繊維質目地板 t=10mm		16		m2						00	
止水板 【規格】										単第 0 -0024号表	
					m					レベル 4	

本工事費

内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
止水板 幅CF200×厚さ5mm(塩ビ製)									00	
	42.6		m						単第 0 -0025号表	レベル 4
ダウエルバー 【規格】				本						
ダウエルバー取付 異形棒鋼 D 1 6				本					00	
	136			本					単第 0 -0026号表	レベル 4
足場				掛m2						
手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場 単管傾斜足場				掛m2					00	
	42			掛m2					単第 0 -0027号表	レベル 4
止水壁				式						
止水壁				式					00	
	1			式					単第 0 -0028号表	レベル 3
水抜工				式						
	1			式						
ウィープホール 【規格】				箇所					レベル 4	

本工事費

内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
	ウィーブホール取付 型枠及び鉄筋 側壁 5 0 mm 集水						00
		9		箇所			単第 0 -0031号表
	サイドドレーン 【材料種別・規格】			m			レベル 4
	サイド・アンダードレーン工 (サイドドレーン) 再生クラッシャーラン (R C - 4 0)						00
	小型車割増あり	10.8		m			単第 0 -0032号表
床版工							レベル 2
		1		式			
床版工							レベル 3
		1		式			
	コンクリート 【規格】			m3			レベル 4
	コンクリート 無筋・鉄筋構造物 コンクリート(各種) バックホウ(クレーン機能付)打設						00
		2.7		m3			単第 0 -0017号表
鉄筋	【規格】			t			レベル 4
	鉄筋工 SD295 D13 一般構造物 [規]10t未満						00
		0.067		t			単第 0 -0033号表

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
鉄筋工 SD345_D19 一般構造物 [規]10t未満	0.208		t						00	単第 0 -0034号表
鉄筋工 SD345_D19(アンカー) 一般構造物 [規]10t未満	0.007		t						00	単第 0 -0035号表
コンクリート削孔(さく岩機) 削孔深さ600mm以上800mm未満	4		孔						00	
型枠			m2						レベル 4	
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	14		m2						00	単第 0 -0021号表
支保工			空m3						レベル 4	
パイプサポート支保(小規模) 支保耐力 40kN/m2以下 総設置数量40空m3以下	16		空m3						00	単第 0 -0036号表
目地板 【材料種別・規格】			m2						レベル 4	
目地板 1工事当り使用量30m2未満 瀝青繊維質目地板 t=20mm	1.6		m2						00	単第 0 -0037号表

本工事費

内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
防護柵工									レベル 2	
	1			式						
防止柵工									レベル 3	
	1			式						
横断・転落防止柵 【規格】									レベル 4	
				m						
撤去【手間のみ】 土中建込 ビーム式・パネル式(支柱間隔3m)									00	
	12			m						
設置【手間のみ】 土中建込 ビーム式・パネル式(支柱間隔3m)									00	
	12			m						
横断・転落防止柵 アンカーボルト固定 材料費(各種) [規]100m未満									00	
	6.9			m					単第 0 -0038号表	
石・ブロック積(張)工									レベル 2	
	1			式						
コンクリートブロック工									レベル 3	
	1			式						
コンクリートブロック基礎 【規格】									レベル 4	
				m						

本工事費

内訳表

頁0 -0011

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
現場打基礎コンクリート 18-8-40BB 基礎砕石無し		0.2		m3					00	
コンクリートブロック積み 【構造種別】				m2					単第 0 -0039号表 レベル 4	
コンクリートブロック積工(練積) 滑面ブロック 18-8-40BB		5		m2					00	
裏込材 【規格】				m3					単第 0 -0040号表 レベル 4	
胴込・裏込材(砕石) 間知・平・連節・緑化ブロック RC-40		2		m3					00	
小口止コンクリート 【規格】				m3					単第 0 -0041号表 レベル 4	
小口止コンクリート		1		箇所					00	
用排水路工									単第 0 -0042号表 レベル 2	
集水桝工		1		式					レベル 3	
		1		式						

本工事費

内訳表

頁0 -0012

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
集水桝 【規格】			箇所			レベル4
溜桝200型						00
取水工	1		基			単第 0 -0045号表
管渠 【規格】	1		式			レベル3
			m			レベル4
硬質ポリ塩化ビニル管機械布設 直管（両差し口）VP 300mm	2.3		m			00
硬質ポリ塩化ビニル管人力布設 直管（両差し口）VP 100mm	19		m			単第 0 -0051号表
90°ベンド VP 呼び径100 JIS K 6743	1		個			00
22.5°ベンド VP 呼び径100 JIS K 6743	1		個			00
キャップ φ100,外蓋	1		個			00

本工事費

内訳表

頁0 -0013

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
舗装工										レベル 2	
		1		式							
コンクリート舗装工										レベル 3	
		1		式							
上層路盤										レベル 4	
【材料種別・規格】				m2							
上層路盤(車道・路肩部)										00	
全仕上り厚100mm 1層施工											
RC-40		69		m2						単第 0 -0054号表	
コンクリート舗装										レベル 4	
【材料種別・規格】				m2							
コンクリート舗装(人力)										00	
圧縮18N/mm2粗骨材20mm (BB) スランプ 8cm											
舗装厚10cm		71		m2						単第 0 -0055号表	
構造物撤去工										レベル 2	
		1		式							
構造物取壊し工										レベル 3	
		1		式							
コンクリート構造物取壊し										レベル 4	
【構造物種別】				m3							

本工事費

内訳表

頁0 -0014

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工	20	m3			00 単第 0 -0056号表
構造物とりこわし工(鉄筋構造物) 機械施工	0.1	m3			00 単第 0 -0057号表
石積取壊し		m3			レベル4
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準	3	m3			00 単第 0 -0058号表
殻運搬・処理 【殻種別】		m3			レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離5.7km以下(3.3km超)	20	m3			00 単第 0 -0059号表
殻運搬 Co(鉄筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離10.9km以下(8.0km超)	0.1	m3			00 単第 0 -0060号表
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離4.0km以下(3.5km超)	3.2	m3			00 単第 0 -0014号表
処分費 「処分費等」の取扱いによる					

本工事費

内訳表

頁0 -0015

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート殻受入費(無筋)						00
	48		t			
コンクリート殻受入費(有筋)						00
	0.3		t			
発生土受入費 岩塊等						00
	3.2		m3			
仮設工						レベル 2
	1		式			
任意仮設						レベル 3
	1		式			
任意仮設						レベル 4
			m3			
仮設道路工						00
	1		式			
任意処分費						単第 0 -0061号表 レベル 4
	1		式			
処分費対象額調整（直接工事費計上分） 「処分費等」の取扱いによる						

本工事費

内訳表

頁0 -0016

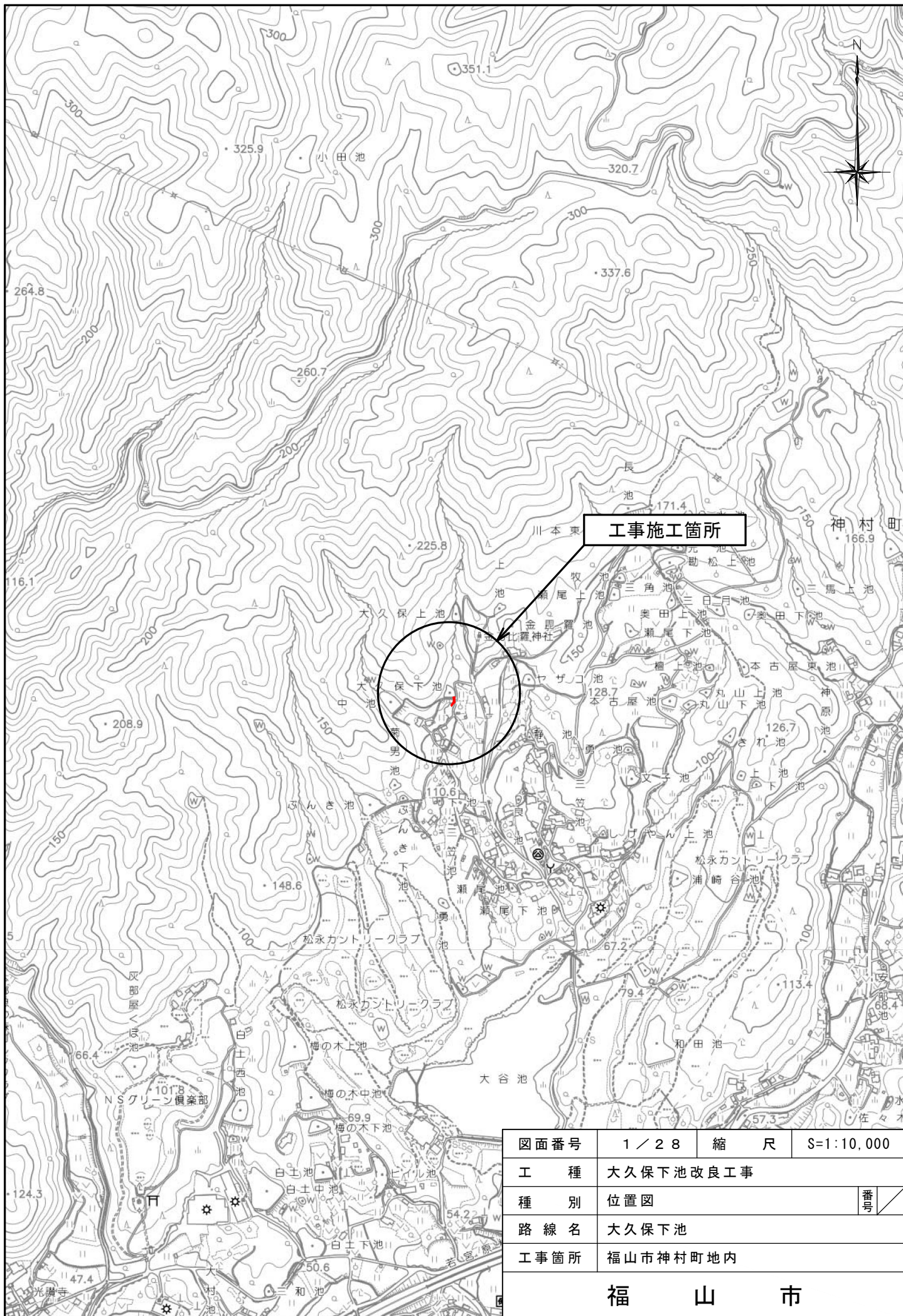
[illegible]

本工事費

内訳表

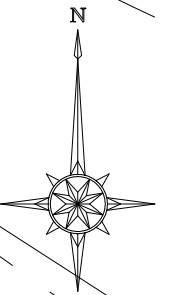
頁0 -0017

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
純工事費						
現場管理費						
工事原価						
一般管理費率分						
契約保証費						
一般管理費計						
＊ ＊ 工事価格計 ＊ ＊						
＊ ＊ 消費税相当額計 ＊ ＊						
＊ ＊ 請負工事費計 ＊ ＊						



図面番号	1 / 2 8	縮 尺	S=1:10,000
工 種	大久保下池改良工事		
種 別	位置図	番号	
路 線 名	大久保下池		
工事箇所	福山市神村町地内		
福 山 市			

大久保下池
FWL=124.93

$$Y=500$$


$S=1:100$

$X=500$

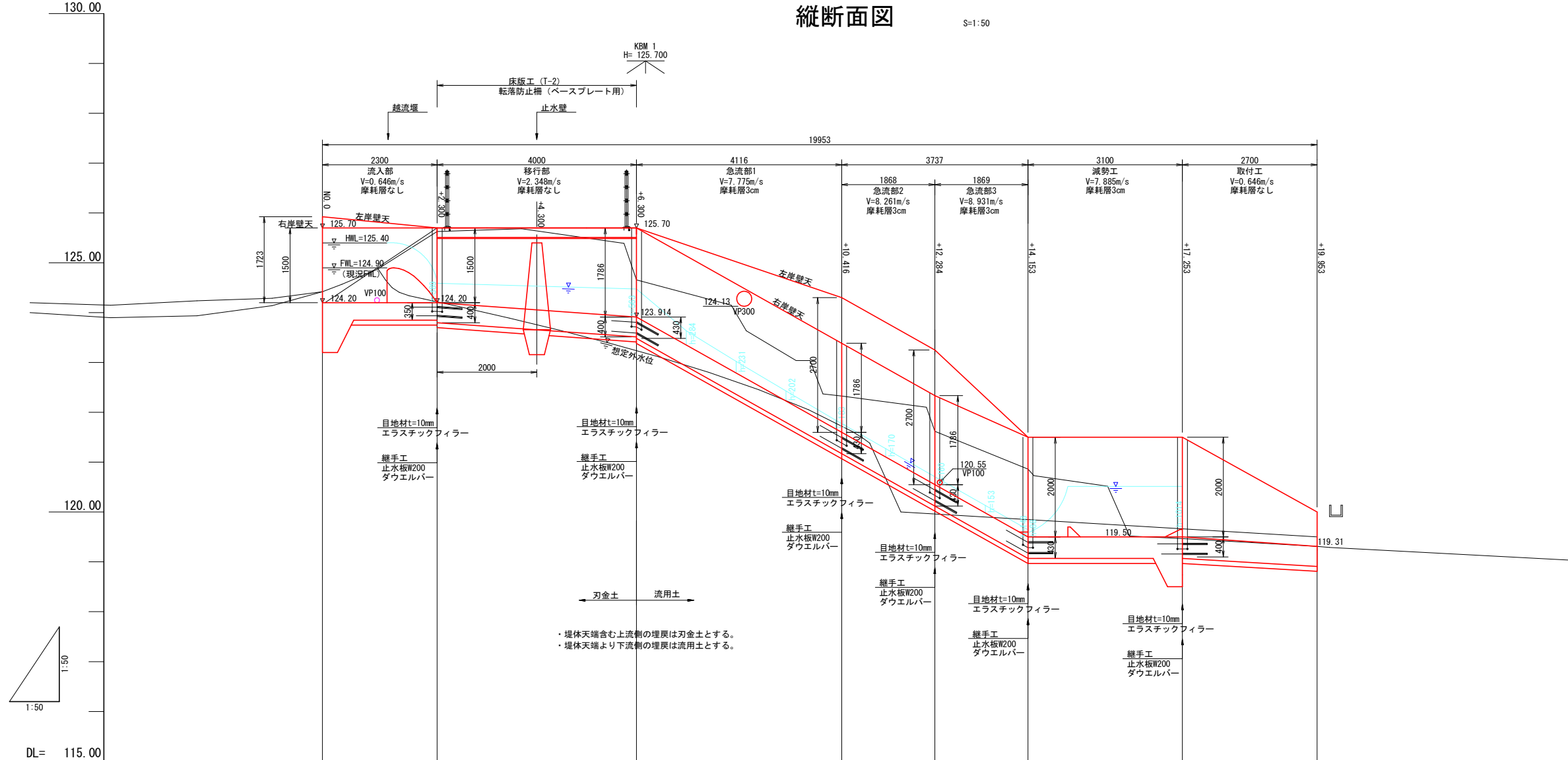
 $x=500$
$$Y=500$$

工事名	大久保下池改良工事		
図面名	平面図		
作成年月	2026年6月		
縮尺	1/100	工事名	2/28
事業者名	福山市 松永建設産業課		

縦断面図

S=1:50

KBM 2
H= 122.759

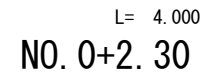


勾配	124.20 LEVEL L=2.30m 124.20 i=7.15% L=4.00m 123.914 i=66.208% L=7.853m 119.50 LEVEL L=3.10m 119.50 i=7.04% L=2.70m 119.31						
盛土	0.00						
切土	0.22	1.43	0.746	0.73	1.07	1.36	
計画高	124.20	124.20	123.914	121.60	120.55	119.50	119.31
地盤高	124.42	125.63	124.66	122.33	121.62	120.86	119.47
追加距離	0.000	2.300	6.300	10.416	12.284	14.153	17.253
区間距離	0.000	2.300	4.000	4.116	1.868	1.869	3.100
測点	NO.0	NO.0+2.30	NO.0+6.30	BC.1	SP.1	EC.1	NO.0 +17.253
曲図	L=10.416 IP.1 IA= 71-22-34 R= 3 CL= 3.737 TL= 2.155 SL= 0.694 L=5.800						

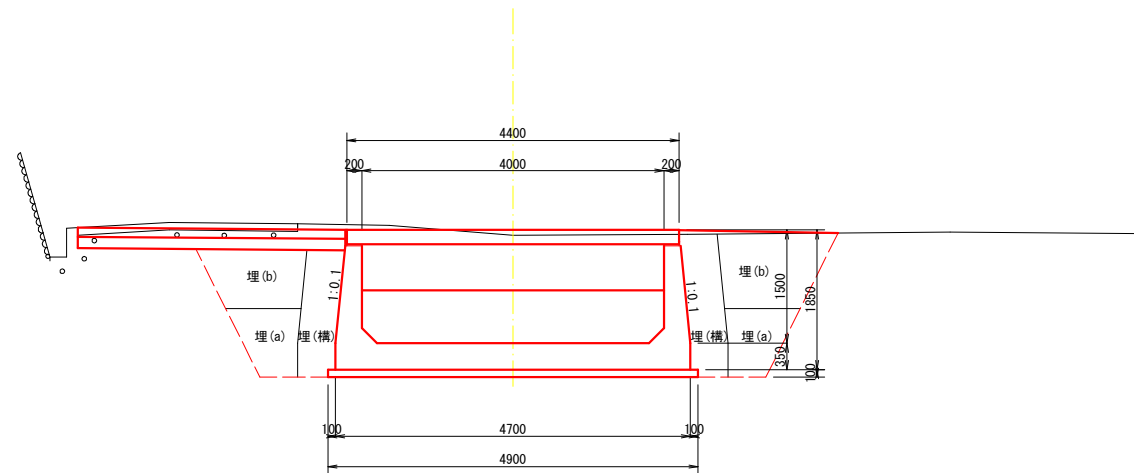
工事名	大久保下池改良工事		
図面名	縦断面図		
作成年月	2026年6月		
縮尺	図示	工事名	3/28
事業者名	福山市 松永建設産業課		

横断面図 1/2

S=1:50

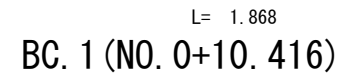


GH=125.63
FH=124.20

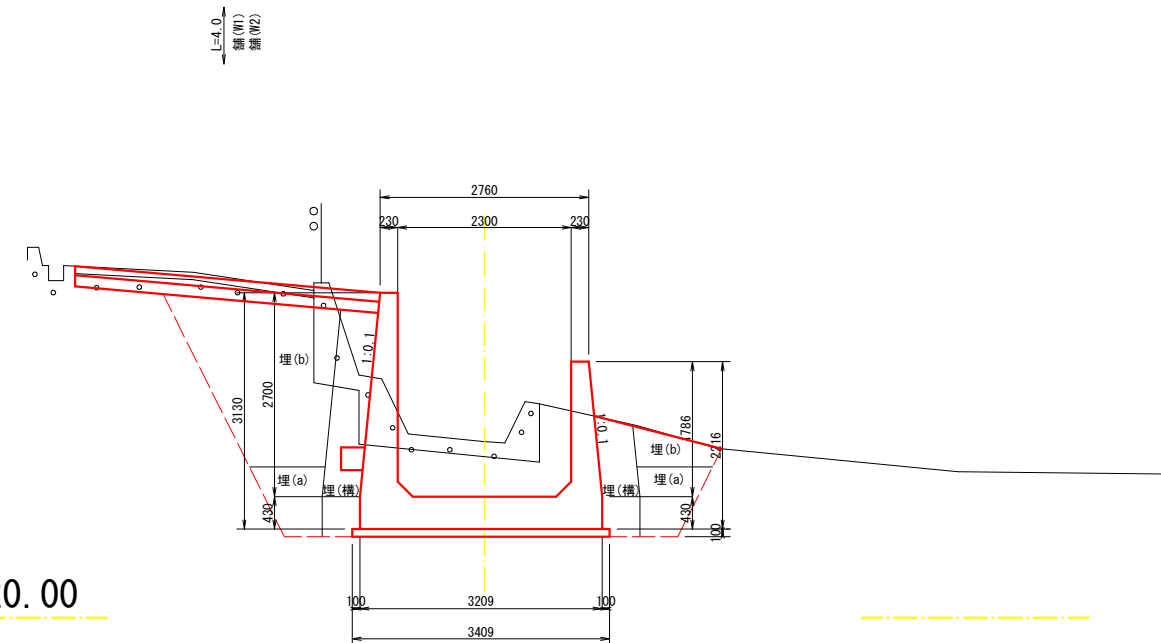


記号	数量
掘削	15.1
埋(構)	1.8
埋(a)	1.4
埋(b)	2.3
埋(c)	—
Co取壊	0.3
舗(W1)	3.5
舗(W2)	3.5
法面	—

DL=120.00

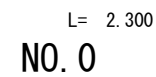


GH=122.33
FH=121.60

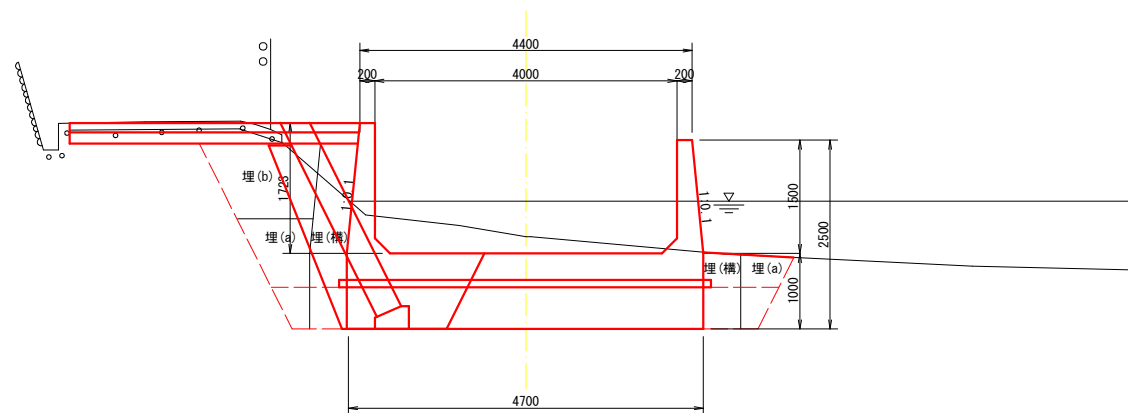


記号	数量
掘削	11.1
埋(構)	2.3
埋(a)	1.4
埋(b)	4.0
埋(c)	—
Co取壊	1.9
舗(W1)	4.0
舗(W2)	4.0
法面	1.7

DL=120.00

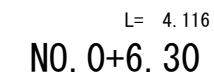


GH=124.42
FH=124.20

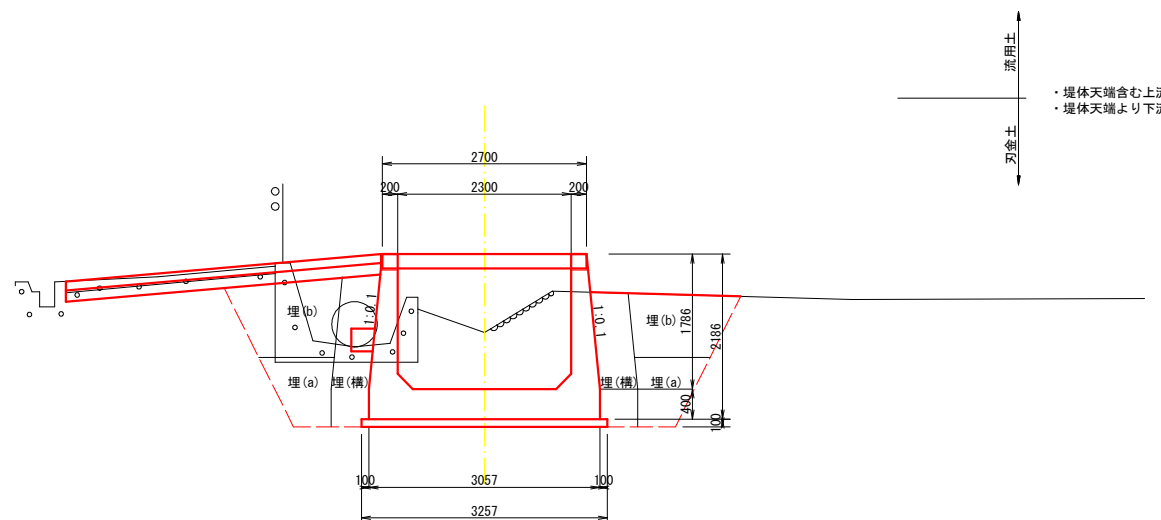


記号	数量
掘削	10.4
埋(構)	1.7
埋(a)	1.3
埋(b)	1.3
埋(c)	—
Co取壊	0.3
舗(W1)	3.8
舗(W2)	3.8
法面	—

DL=120.00



GH=124.66
FH=123.914



記号	数量
掘削	8.7
埋(構)	1.9
埋(a)	1.3
埋(b)	2.3
埋(c)	—
Co取壊	1.3
舗(W1)	4.0
舗(W2)	4.2
法面	2.0

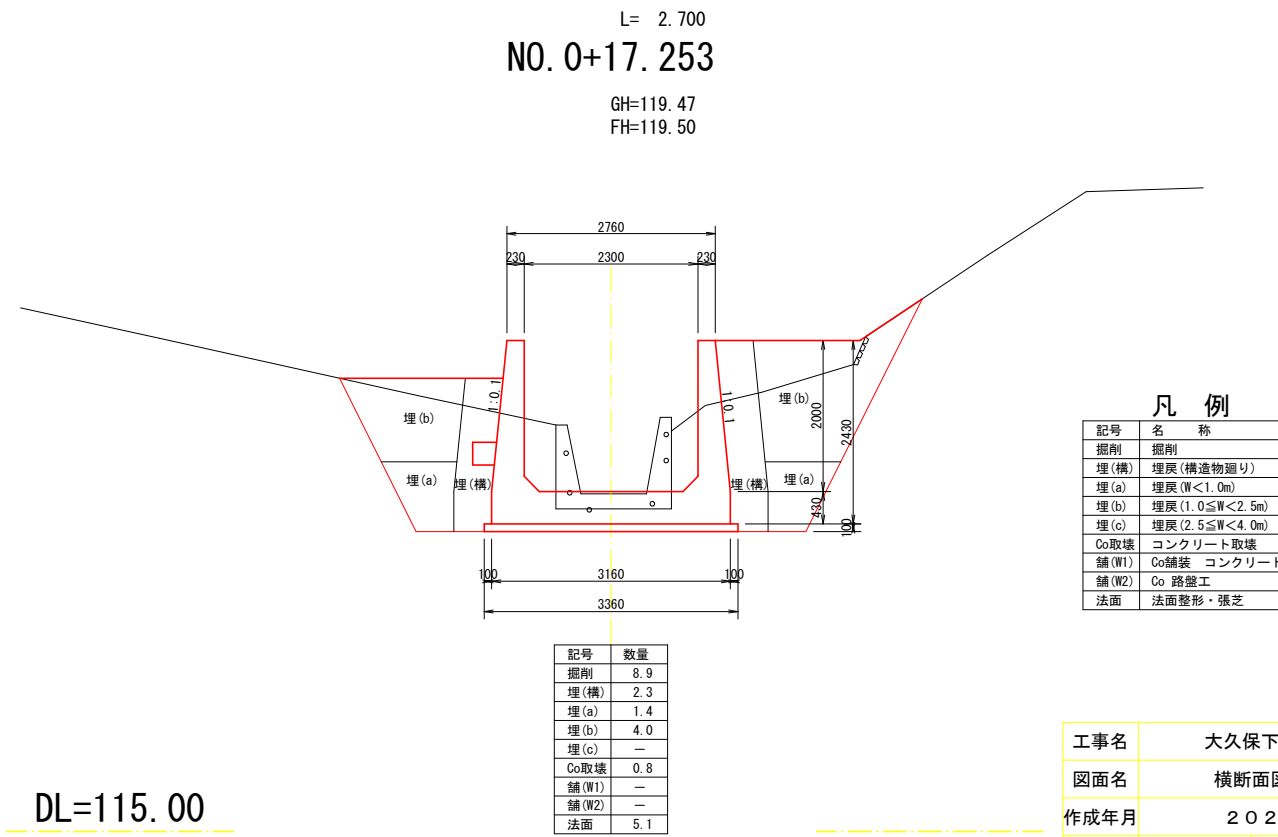
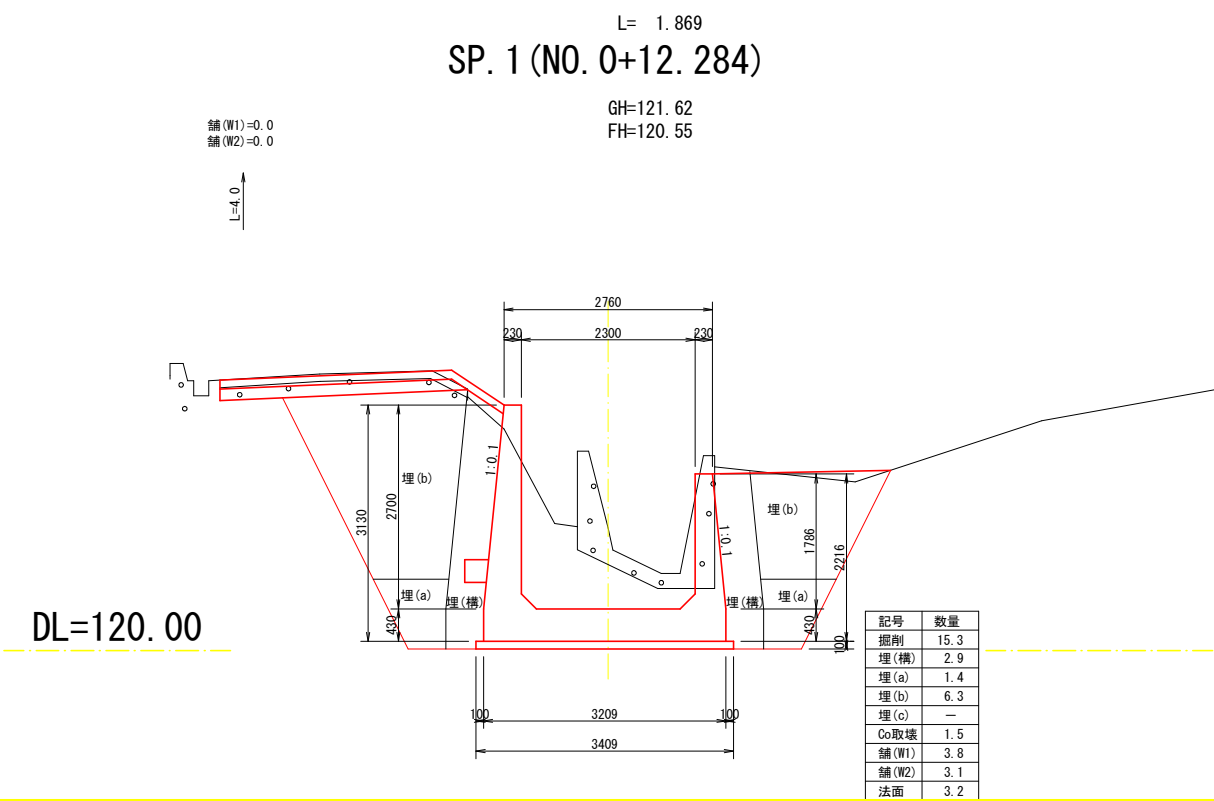
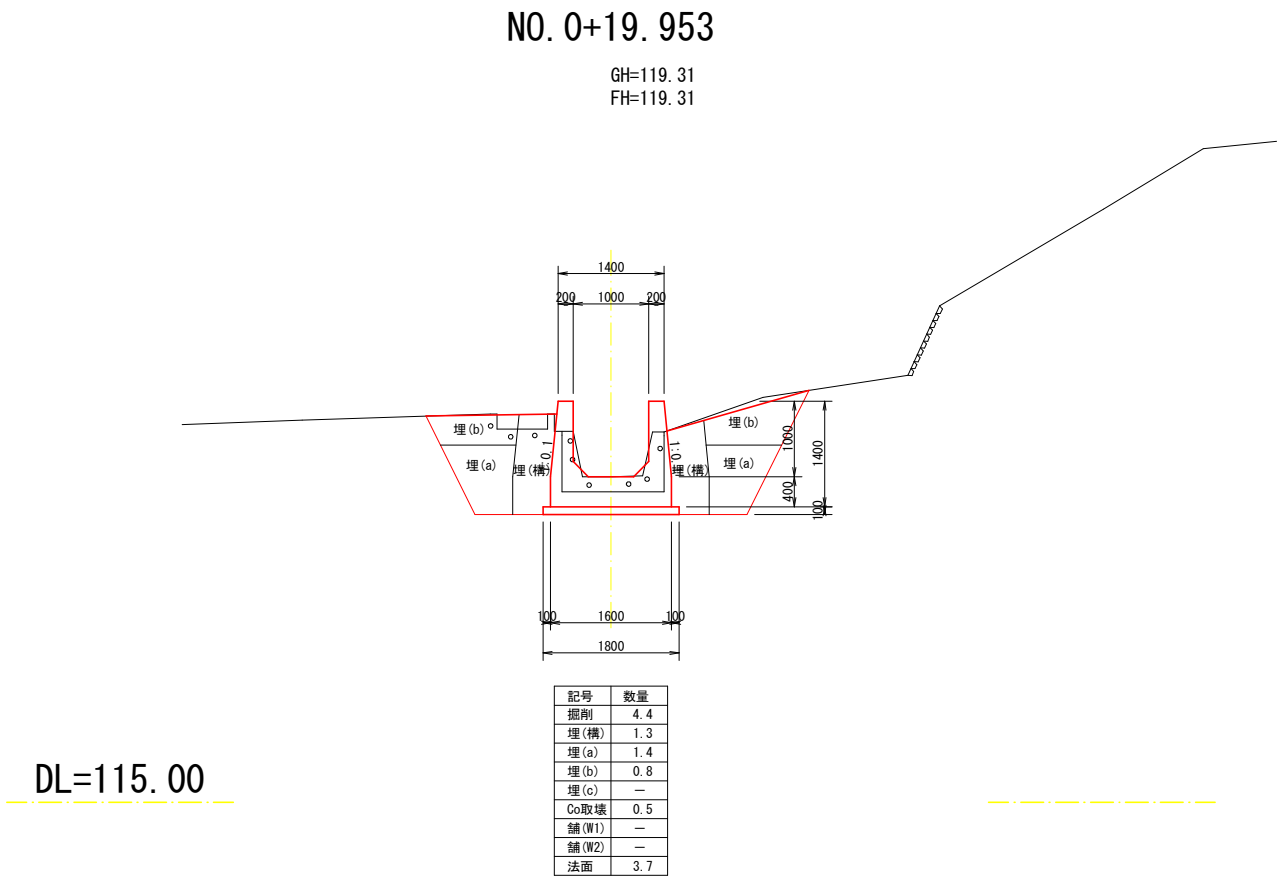
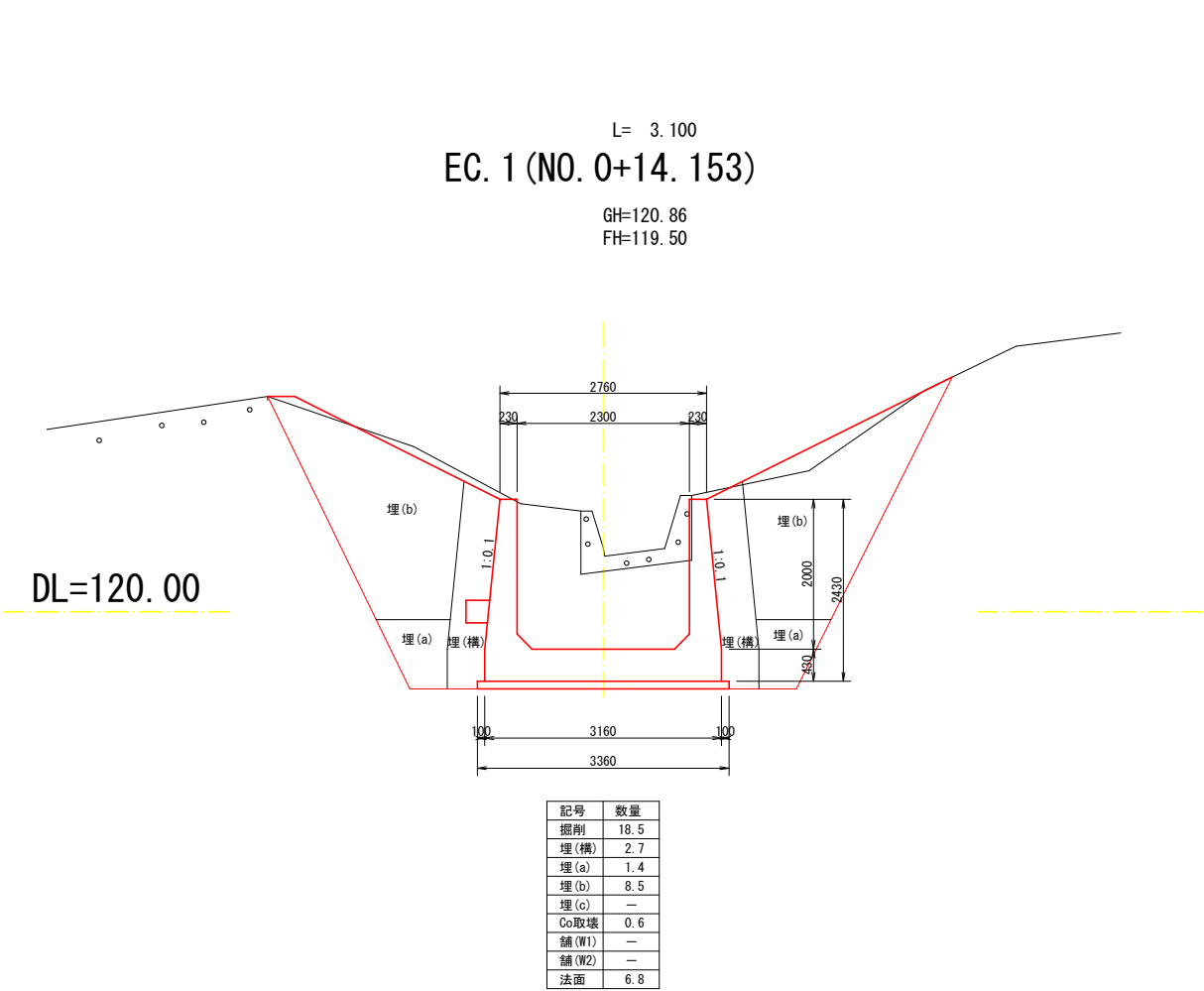
DL=120.00

习金土 流用土

- ・堤体天端含む上流側の埋戻は刃金土とする。
- ・堤体天端より下流側の埋戻は流用土とする。

記号	名 称
掘削	掘削
埋(構)	埋戻(構造物廻り)
埋(a)	埋戻 ($W < 1.0m$)
埋(b)	埋戻 ($1.0 \leq W < 2.5m$)
埋(c)	埋戻 ($2.5 \leq W < 4.0m$)
Co取壊	コンクリート取壊
舗(W1)	Co舗装 コンクリート
舗(W2)	Co 路盤工
法面	法面整形・植草

工事名	大久保下池改良工事		
図面名	横断面図 1 / 2		
作成年月	2026年6月		
縮尺	図示	工事名	4 / 28
事業者名	福山市 松永建設産業課		



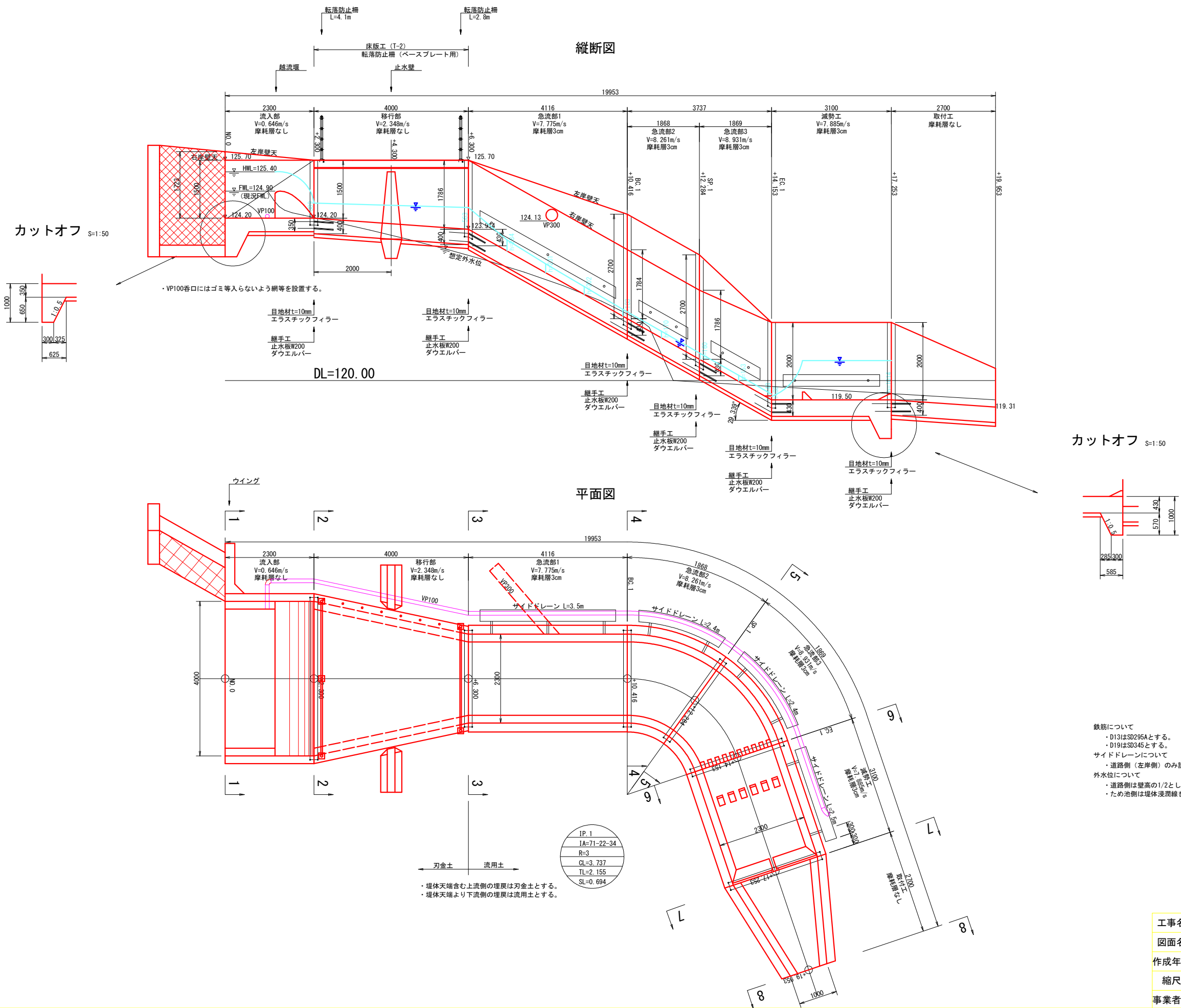
凡 例

記号	名 称
掘削	掘削
埋 (構)	埋戻 (構造物廻り)
埋 (a)	埋戻 (W<1. 0m)
埋 (b)	埋戻 (1. 0≦W<2. 5m)
埋 (c)	埋戻 (2. 5≦W<4. 0m)
Co取壊	コンクリート取壊
舗 (W1)	Co舗装 コンクリート
舗 (W2)	Co 路盤工
法面	法面整形・張芝

工事名	大久保下池改良工事		
図面名	横断面図 2 / 2		
作成年月	2 0 2 6 年 6 月		
縮尺	図示	工事名	5 / 2 8
事業者名	福山市 松永建設産業課		

洪水吐構造図 1/6

S=1:50



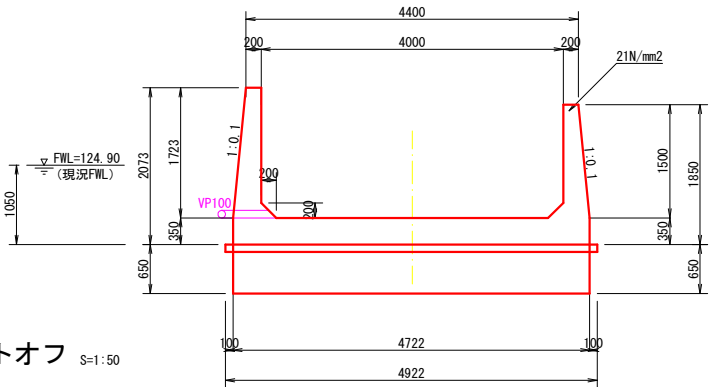
洪水吐構造図 2/6

S=1:50

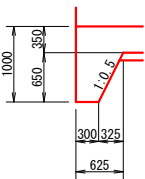
床版天端部 S=1:50



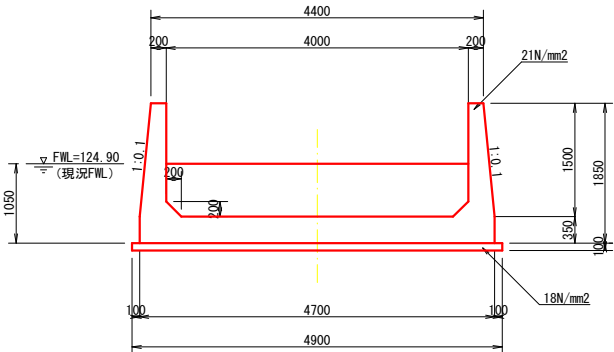
1-1断面 (流入部)



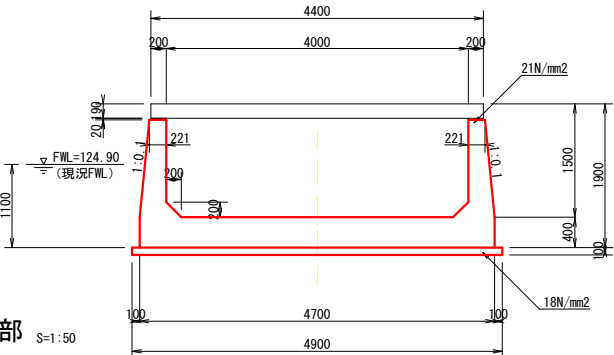
カットオフ S=1:50



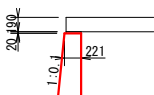
2-2断面 (流入部)



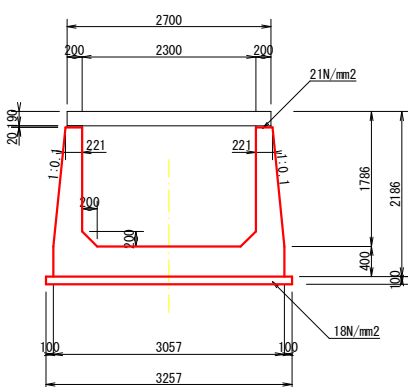
2-2断面 (移行部)



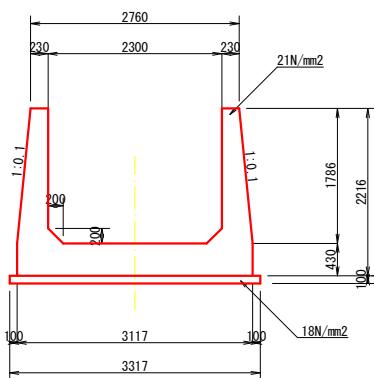
床版天端部 S=1:50



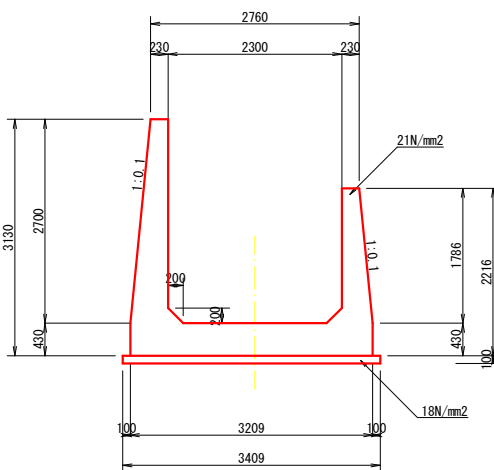
3-3断面 (移行部)



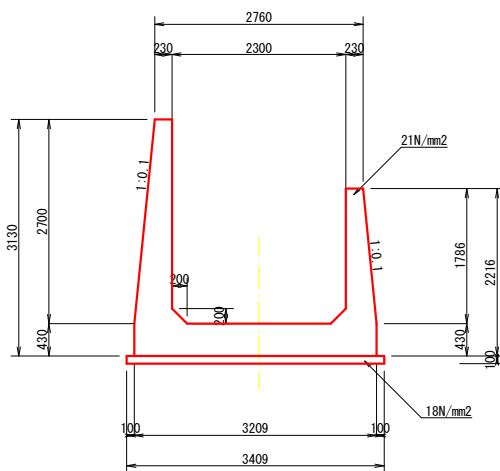
3-3断面 (急流部1)



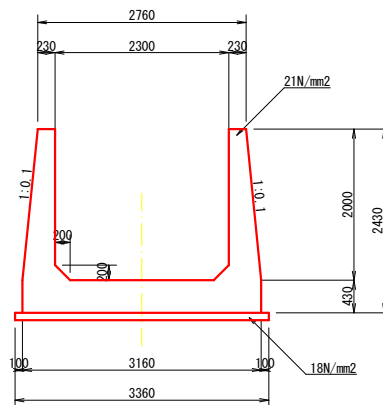
4-4断面 (急流部1、急流部2)



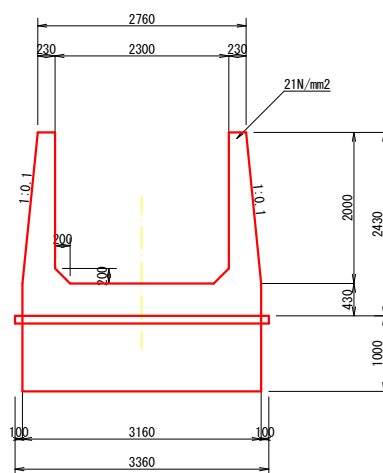
5-5断面 (急流部2、急流部3)



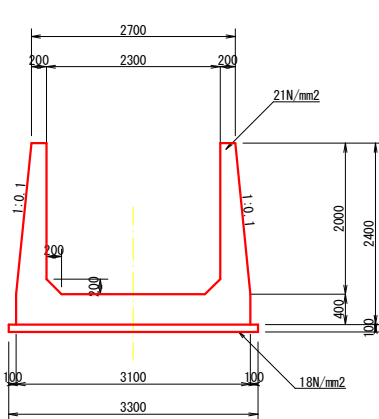
6-6断面 (急流部3、減勢工)



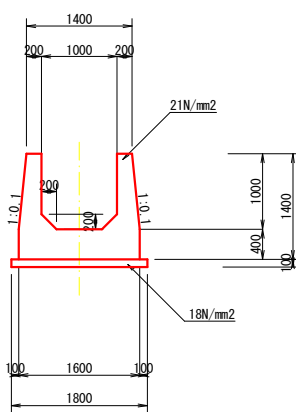
7-7断面 (減勢工)



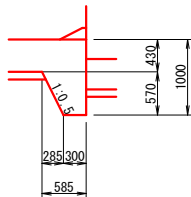
7-7断面 (取付工)



8-8断面 (取付工)

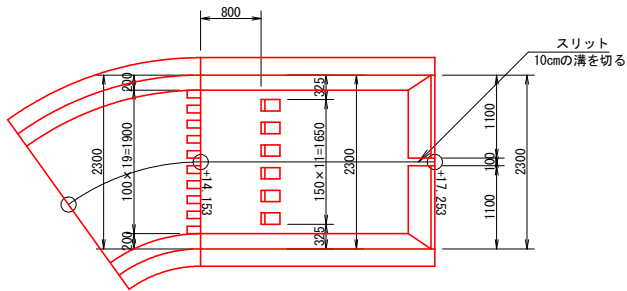
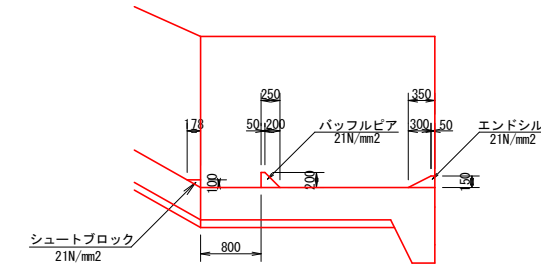


カットオフ S=1:50

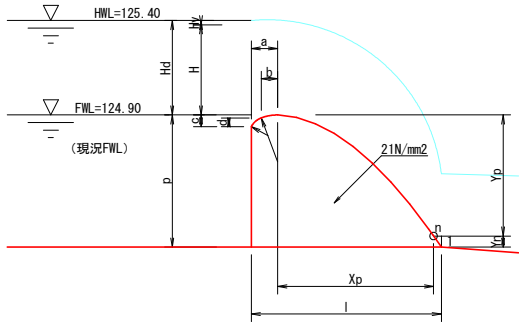


工事名	大久保下池改良工事		
図面名	洪水吐構造図 2 / 6		
作成年月	2026年6月		
縮尺	1:50	工事名	7/28
事業者名	福山市 松永建設産業課		

減勢工突起物 S=1:50



堰の形状 S=1:20



ハロルド曲線

No	Xp	Yp
1	0.100	0.013
2	0.200	0.046
3	0.300	0.097
4	0.400	0.166
5	0.500	0.251
6	0.600	0.351
7	0.700	0.467
8	0.800	0.598
9	0.830	0.641

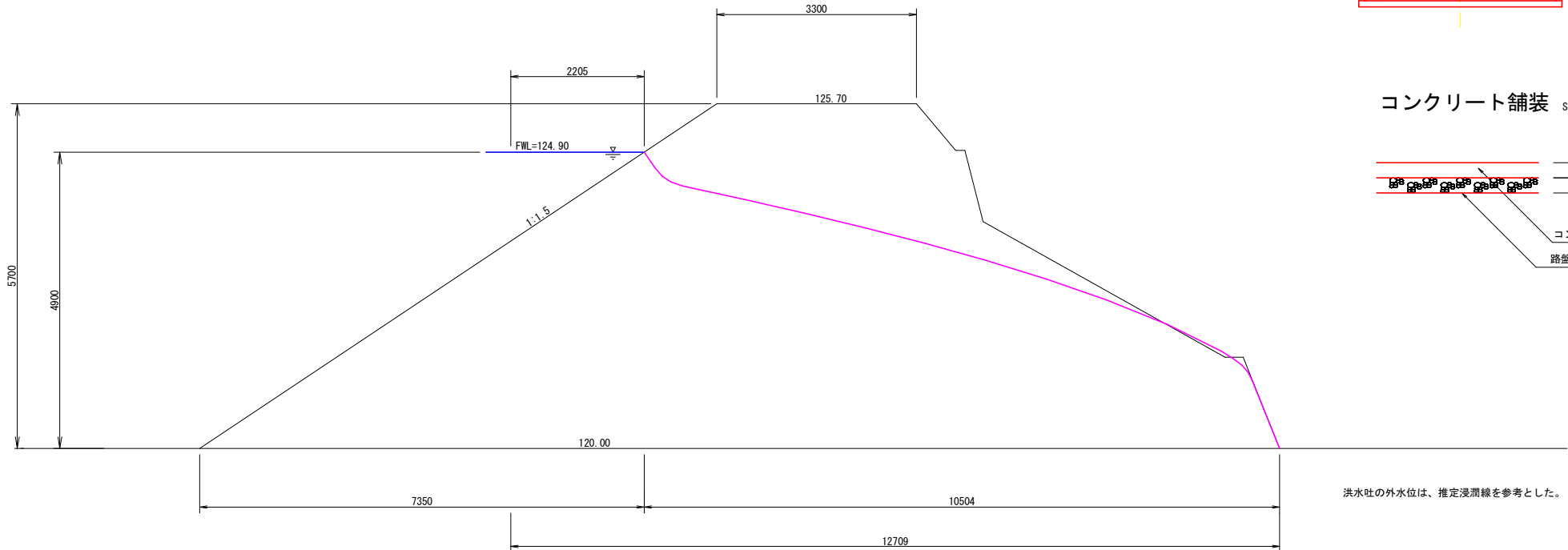
寸法表 (m)

記号	値	記号	値
a	0.140	n	0.700
b	0.087	Hd	0.498
c	0.063	H	0.477
d	0.016	Hv	0.021
r1	0.249	P	0.700
r2	0.100	I	1.012
Xp	0.830	Yn	0.059
Yp	0.641		

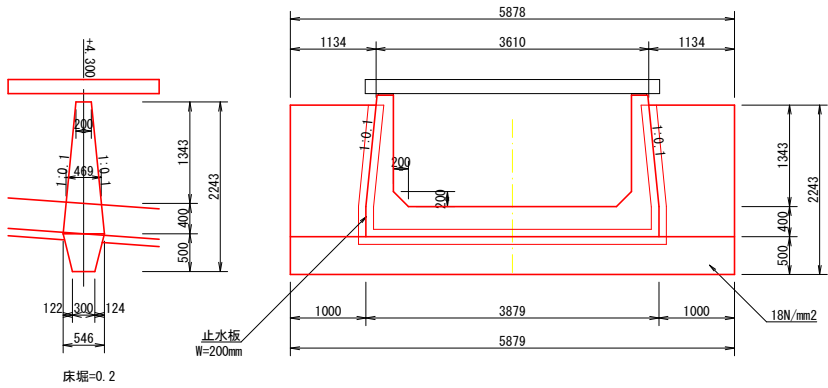
堰の断面数量 (m当り)

名称	単位	数量
コンクリート	m3	0.488
型枠 (直線)	m2	0.638
型枠 (曲線)	m2	1.152

堤体浸潤線の推定 (参考) S=1:50



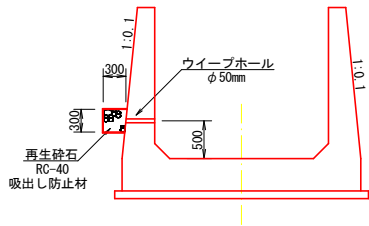
止水壁 S=1:50



止水壁		箇所当り	
種 別	規 格 別	単 位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m3	2.60
型 枠	無筋	m2	8.67
鉄 筋	SD295A D13	kg	0.02
止水板	W=200	m	7.37
基面整正		m2	1.76
床堀		m3	1.18

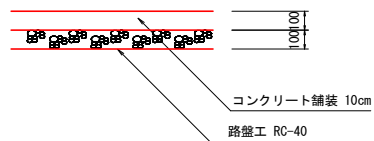
サイドドレーン S=1:50

左岸側のみ



サイドドレーン		10m当り	
種 別	規 格 別	単 位	数 量
再生砕石	RC-40	m3	0.90
吸出防止材	無筋	m2	9.00

コンクリート舗装 S=1:20

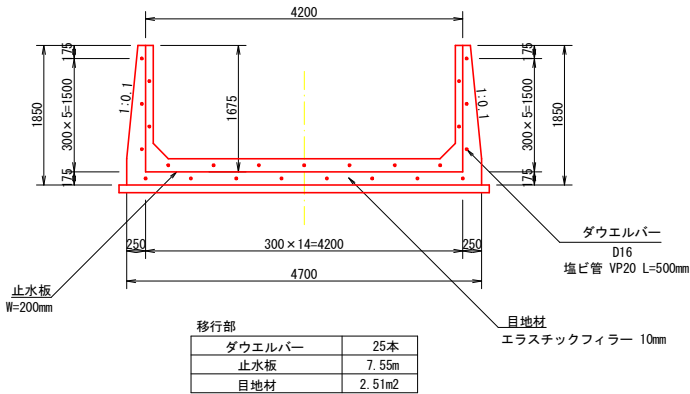


コンクリート舗装		10m2当り	
種 別	規 格 別	単 位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m2	10.00
路盤工	RC-40	m2	10.00

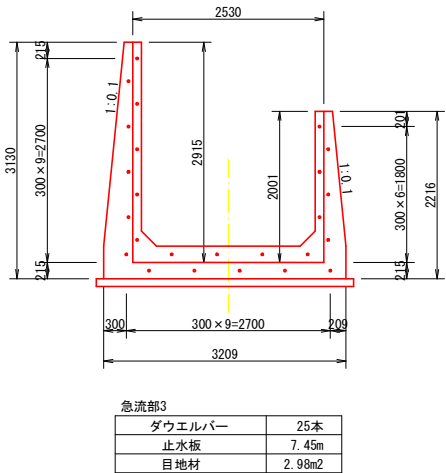
洪水吐の外水位は、推定浸潤線を参考とした。

工事名	大久保下池改良工事		
図面名	洪水吐構造図 3 / 6		
作成年月	2026年6月		
縮尺	1 : 50	工事名	8 / 28
事業者名	福山市 松永建設産業課		

2-2断面（流入部）

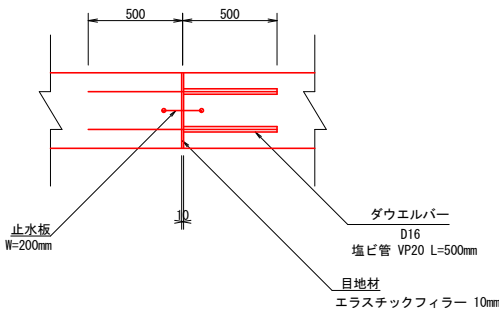


5-5断面（急流部2、急流部3）

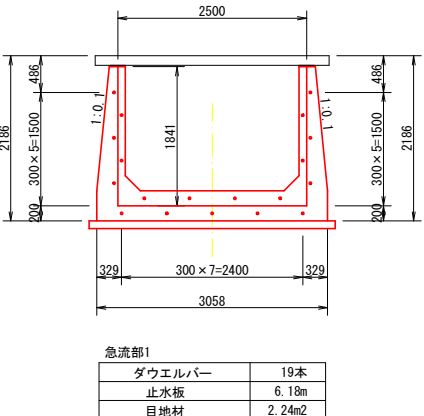


伸縮継目

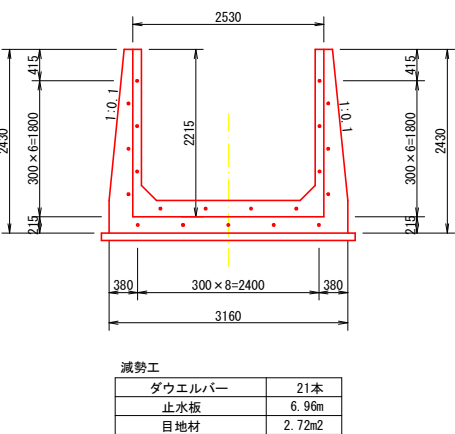
S=1:20



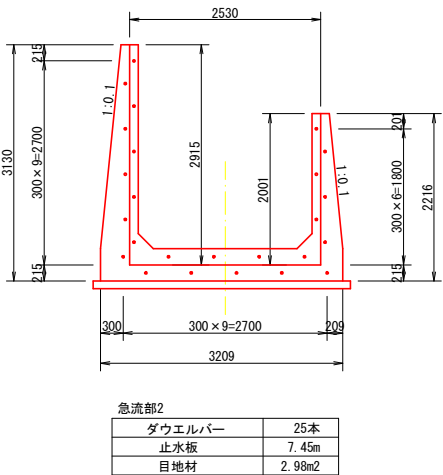
3-3断面（移行部）



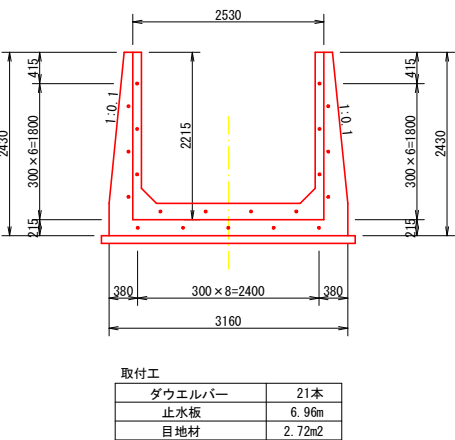
6-6断面（急流部3、減勢工）



4-4断面（急流部1、急流部2）

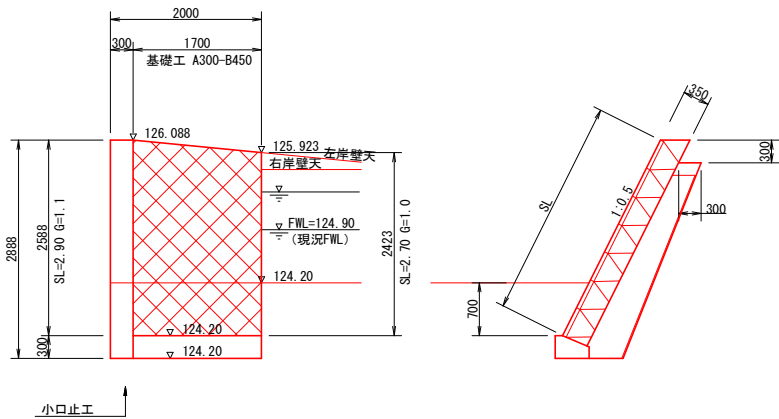


7-7断面（取付工）



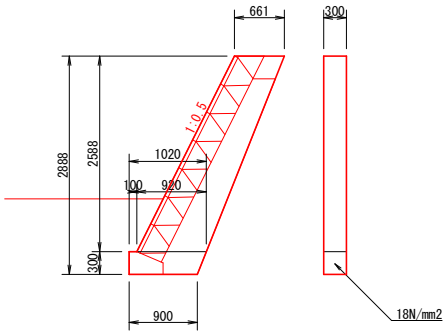
工事名	大久保下池改良工事		
図面名	洪水吐構造図 4 / 6		
作成年月	2026年6月		
縮尺	1 : 50	工事名	9 / 28
事業者名	福山市 松永建設産業課		

ブロック積擁壁



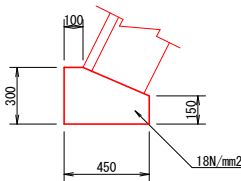
ブロック積		1式当り	
種 別	規 格 別	単 位	数 量
ブロック積	控0.35m 裏コンなし	m2	4.76
裏込碎石	RC-40	m3	1.79
基礎工	A300 B450	m	1.70
小口止工		箇所	1.00

小口止工



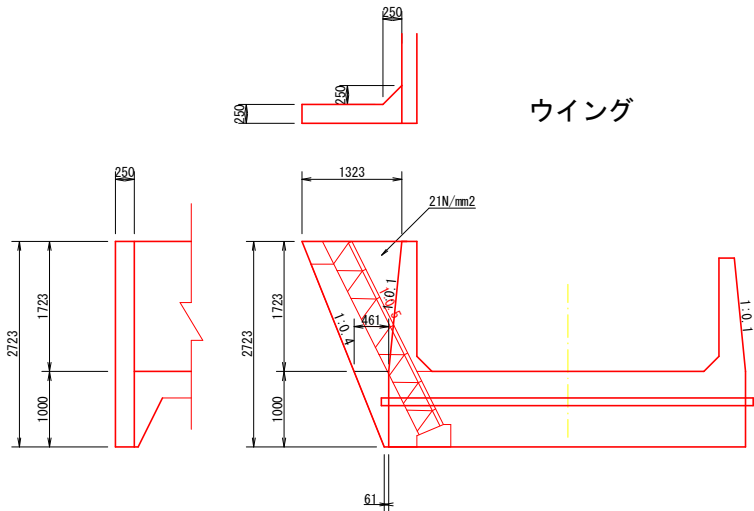
小口止工		箇所当り	
種 別	規 格 別	単 位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m3	0.70
型 枠	無筋	m2	5.63
基面整正		m2	0.27

基礎工



基礎工		10m当り	
種 別	規 格 別	単 位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m3	1.09
型 枠	無筋	m2	4.50
基面整正		m2	4.50

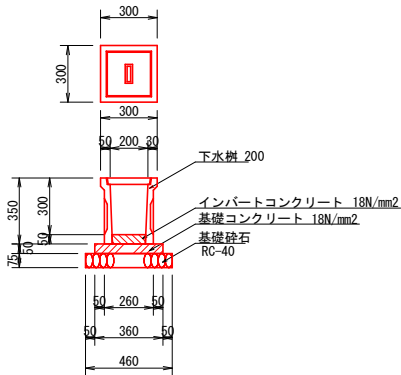
ウイング



ウイング		箇所当り	
種 別	規 格 別	単 位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=21N/mm^2$	m3	0.54
型 枠	鉄筋	m2	4.94
基面整正		m2	0.02

・鉄筋重量は、別途、配筋図参照

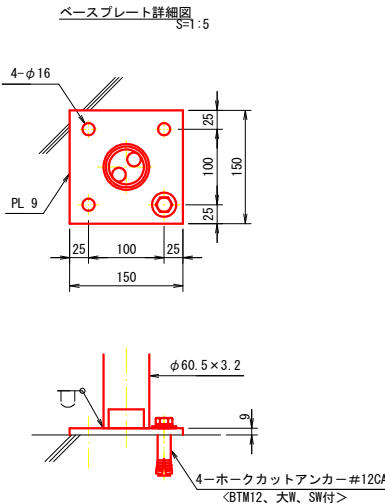
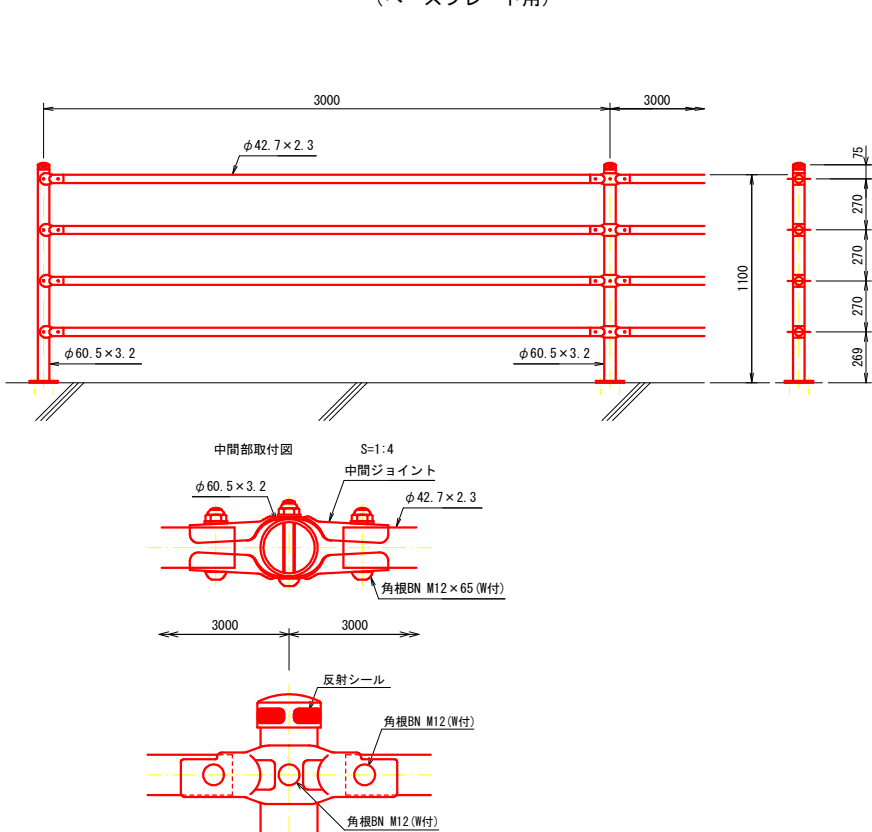
溜樹200型



溜樹200型		箇所当り	
種 別	規 格 別	単 位	数 量
インバートコンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m3	0.002
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m3	0.01
基礎コン型枠		m2	0.07
基礎砕石	RC-40 t=7.5cm	m2	0.21
基面整生		m2	0.21
溜 樹	200型	個	1.00
蓋	200型用	枚	1.00

工事名	大久保下池改良工事		
図面名	洪水吐構造図 5/6		
作成年月	2026年6月		
縮尺	1:50	工事名	10/28
事業者名	福山市 松永建設産業課		

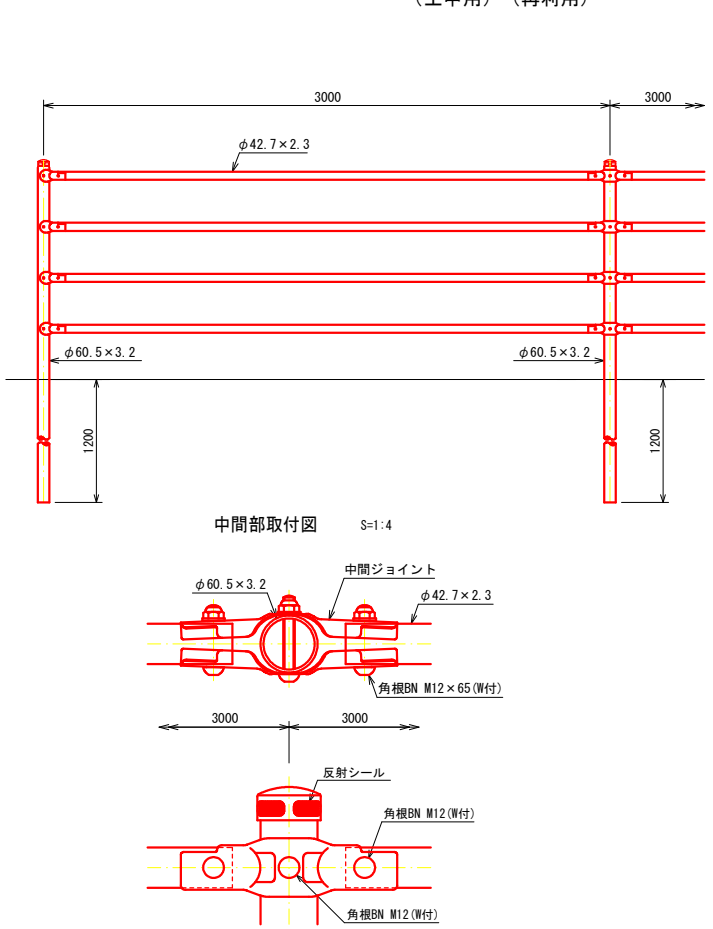
転落防止柵 H=1100
(ベースプレート用) S=1:20



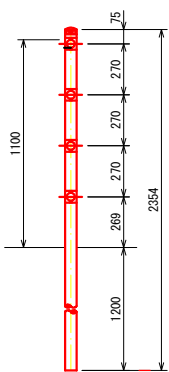
設計条件
設計荷重・・・防護柵の設置基準・同解説のP種に基づく。

備考
1. 外装について
・支柱・・・溶融亜鉛めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
・ビームパイプジョイント・・・亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
・ボルト・ナットアンカーボルト・・・溶融亜鉛めっきのみ
2. 本図ベースプレート支柱はコンクリート天幅（※印部）250mm以上の場合に適用する。

転落防止柵 H=1100
(土中用) (再利用) S=1:20



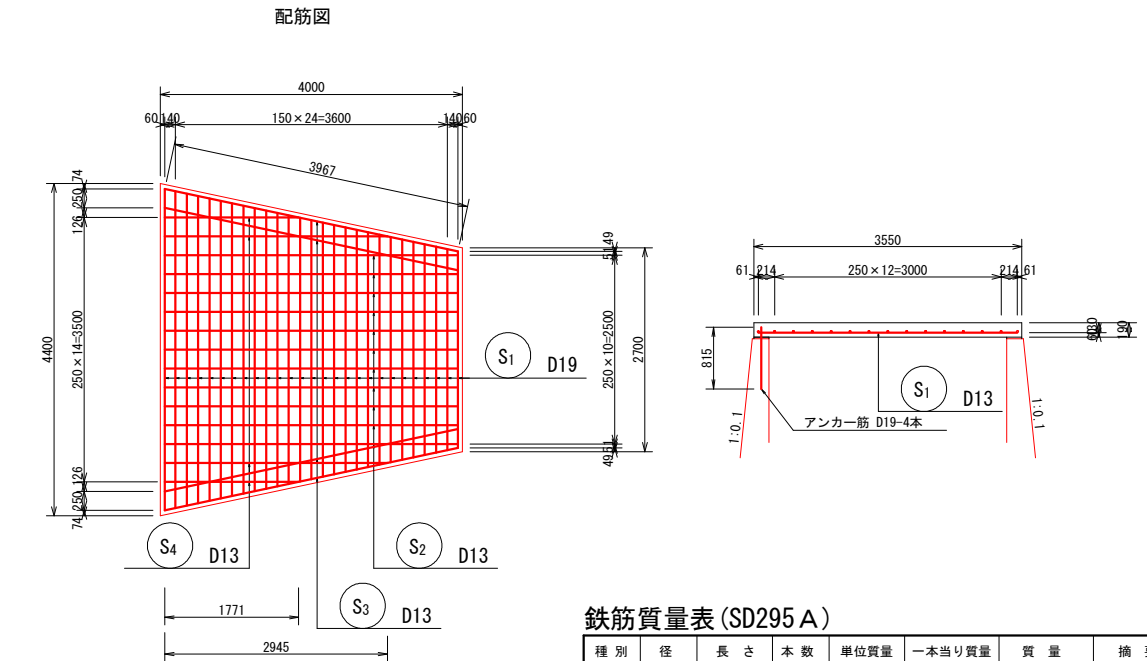
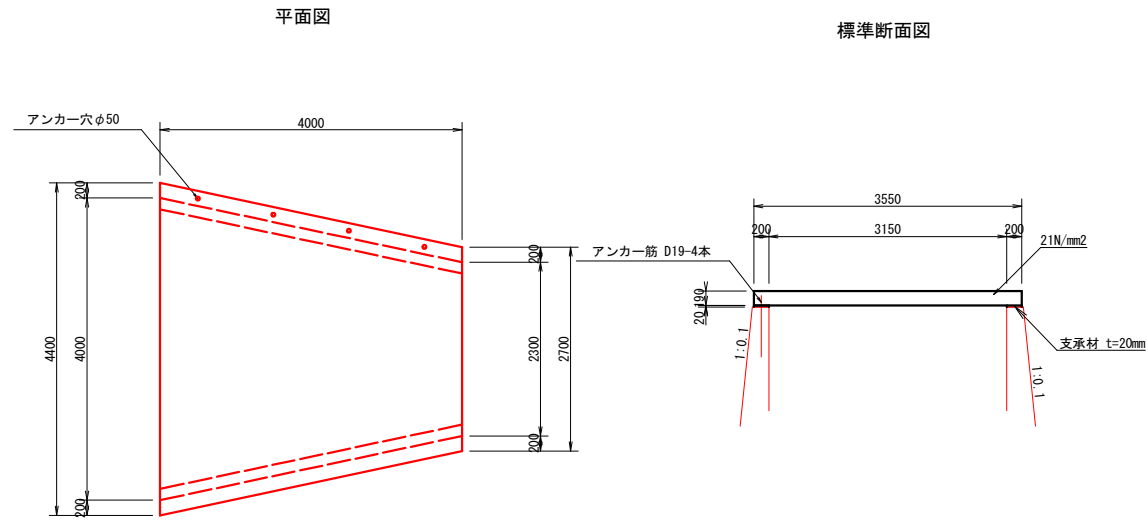
土中用 (E)



設計条件
設計荷重・・・防護柵の設置基準・同解説のP種に基づく。

備考
1. 外装は下記の如くとする。
・支柱・・・HDZ T 77 (HDZ 55 5相当)
・ビームパイプ、ジョイント・・・HDZ T 56 (HDZ 40 0相当)
・ボルト・ナット・・・HDZ T 49 (HDZ 35 5相当)

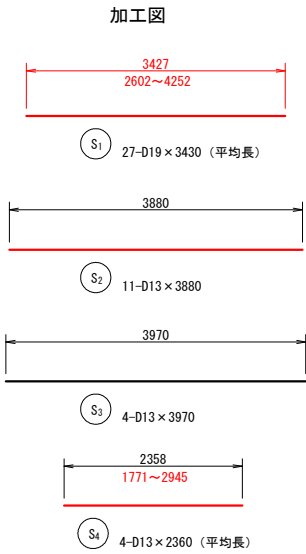
床版工



鉄筋質量表 (SD295 A)

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
S1	D19	3430	27	2.25	7.72	208	(平均長)
S2	D13	3880	11	0.995	3.86	42	
S3	"	3970	4	"	3.95	16	
S4	"	2360	4	"	2.35	9	(平均長)
アンカー	D19	820	4	2.25	1.85	7	
282							
径							質量 (kg)
D13							67
D19							215
合計							282

※ D19は、SD345とする。

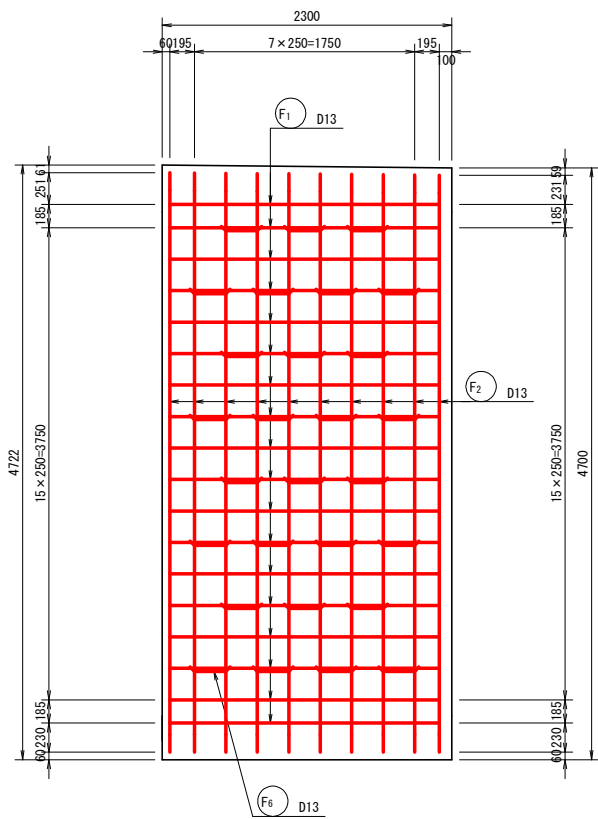


工事名	大久保下池改良工事		
図面名	洪水吐構造図 6/6		
作成年月	2026年6月		
縮尺	1:50	工事名	11/28
事業者名	福山市 松永建設産業課		

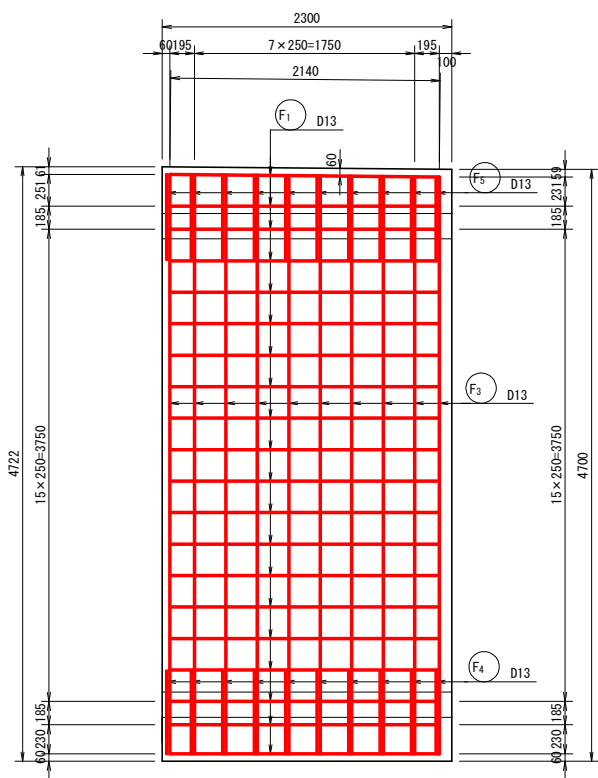
流入部配筋図 1/3

S=1:30

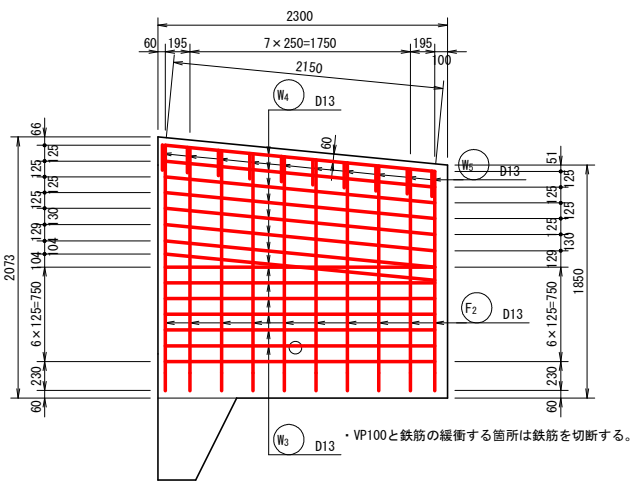
底板下面



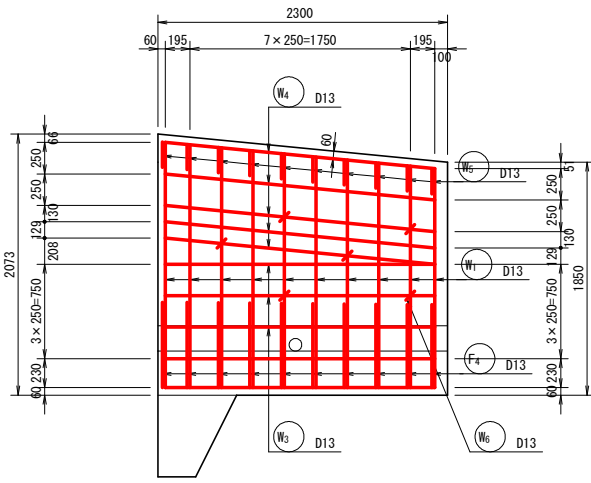
底板上面



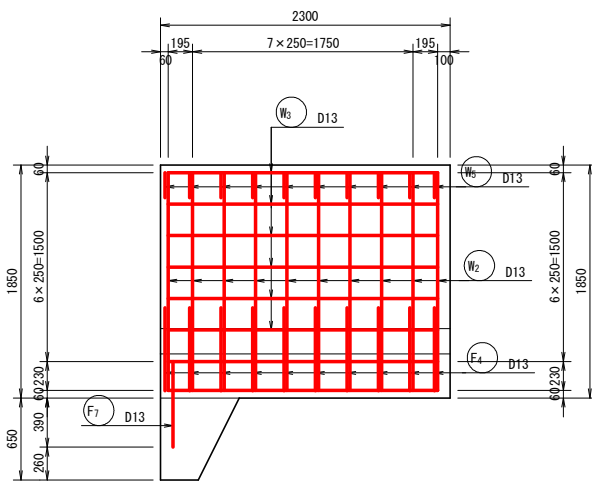
3-3



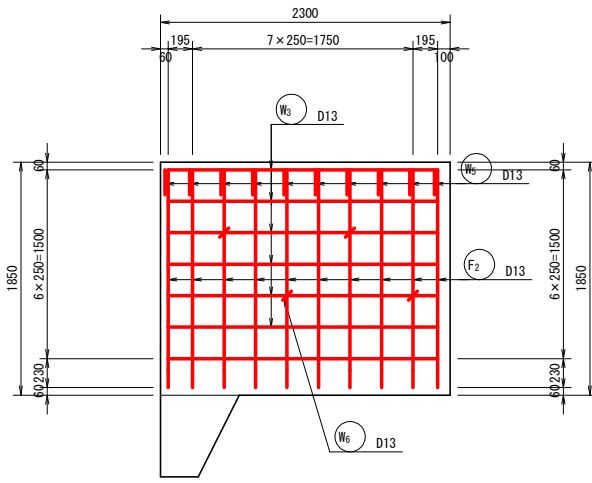
4-4



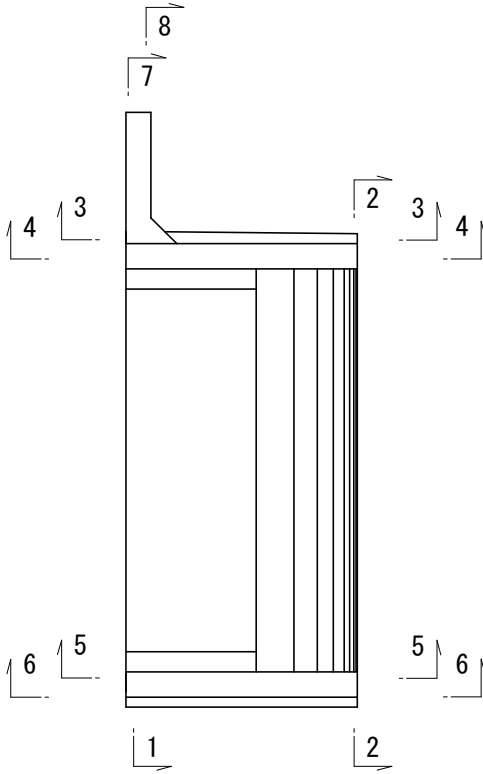
5-5



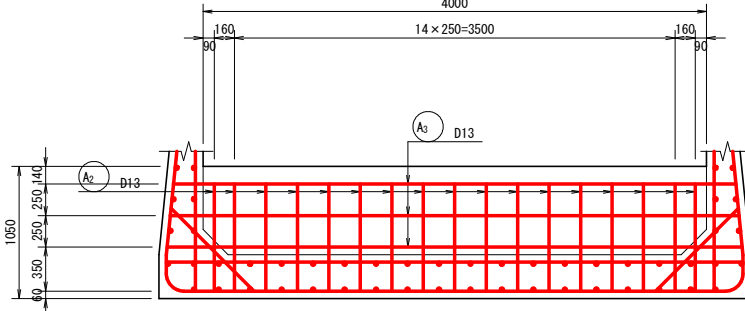
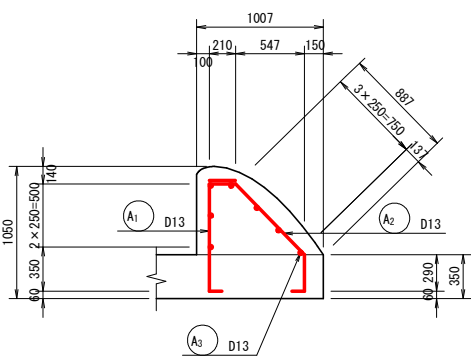
6-6



案内図



越流堰部

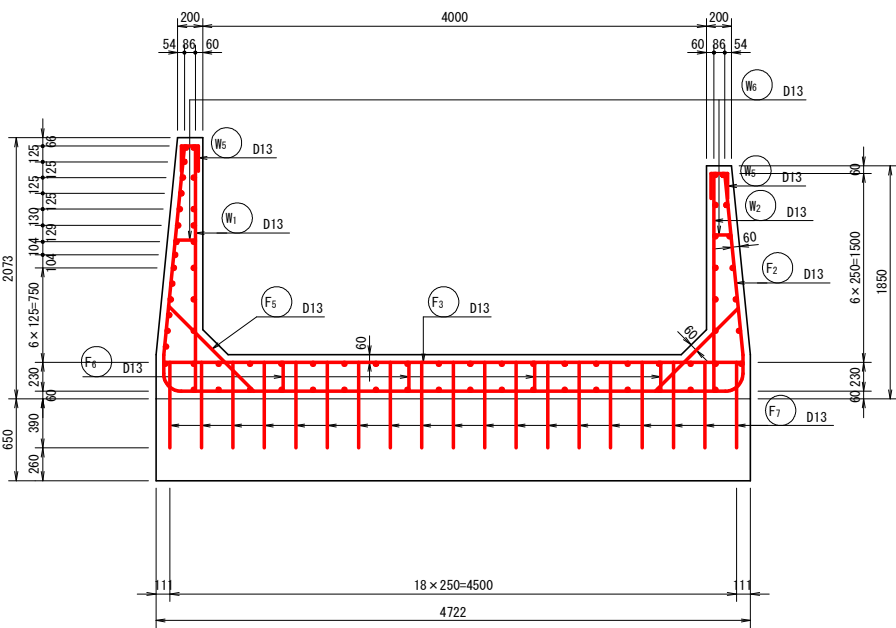


工事名	大久保下池改良工事		
図面名	流入部配筋図 1/3		
作成年月	2026年6月		
縮尺	1:30	工事名	12/28
事業者名	福山市 松永建設産業課		

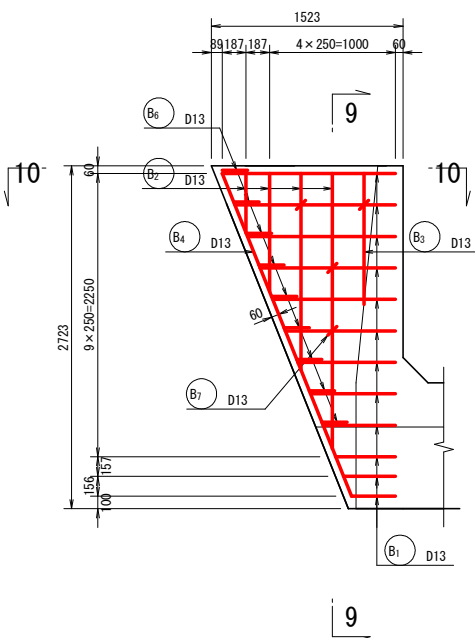
流入部配筋図 2/3

S=1:30

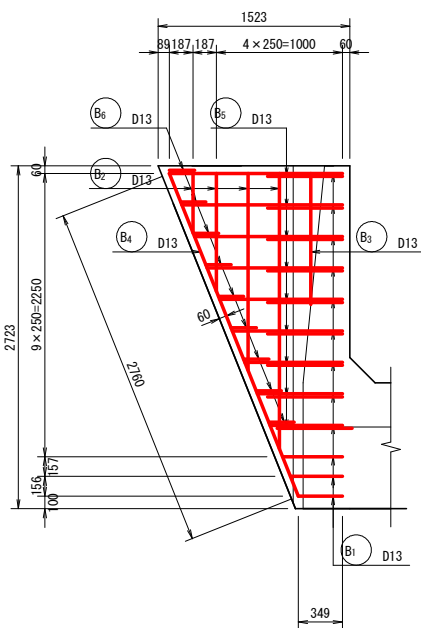
1-1



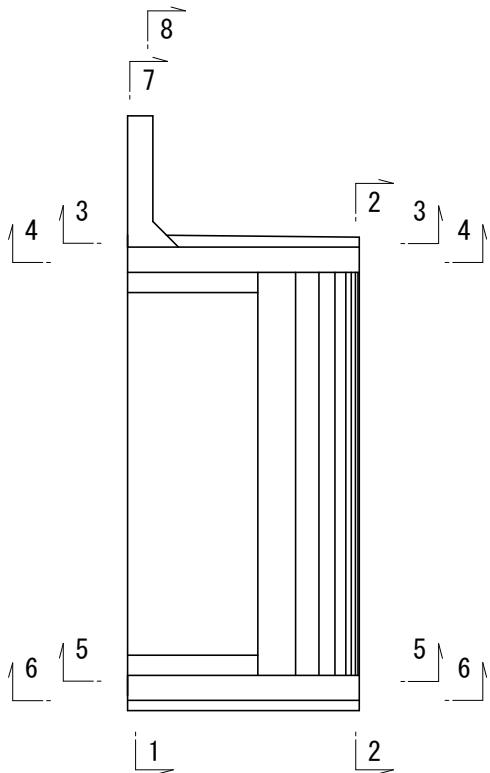
7-7



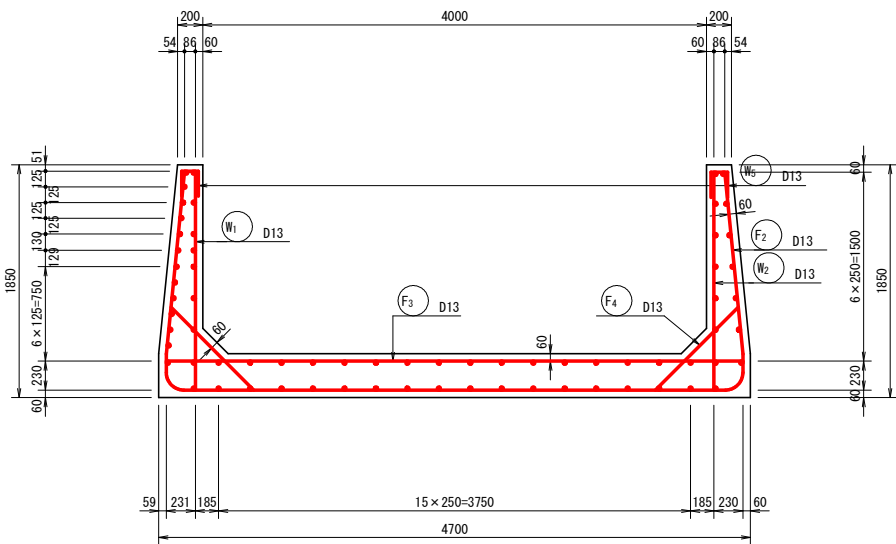
8-8



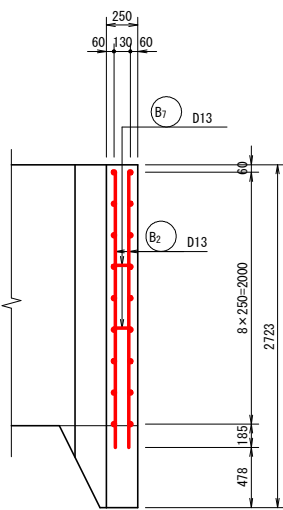
案内図



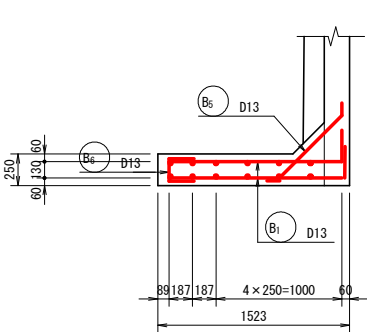
2-2



9-9



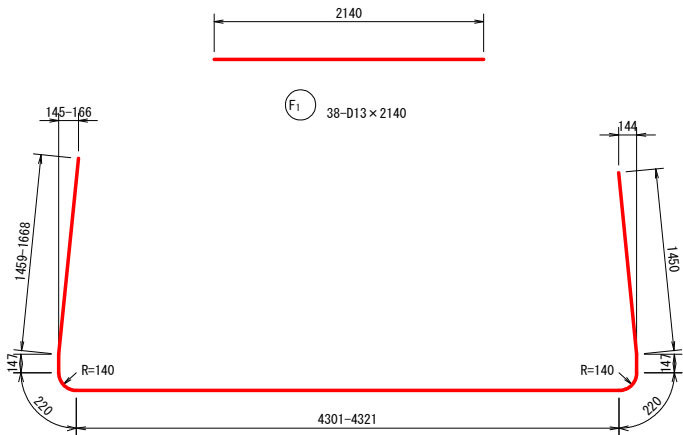
10-10



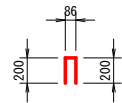
工事名	大久保下池改良工事		
図面名	流入部配筋図 2/3		
作成年月	2026年6月		
縮尺	1:30	工事名	13/28
事業者名	福山市 松永建設産業課		

流入部配筋図 3/3

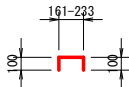
S=1:30



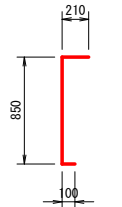
F1 38-D13×2140



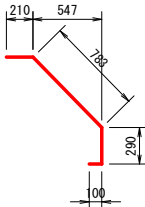
W5 20-D13×490



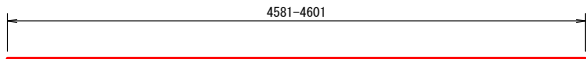
W6 10-D13×400 (平均長)



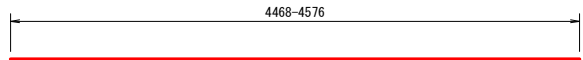
A1 17-D13×1160



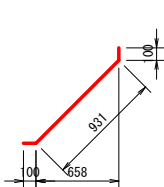
A2 17-D13×1390



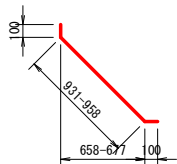
F3 10-D13×4600 (平均長)



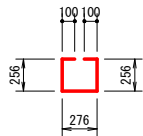
A3 7-D13×4530 (平均長)



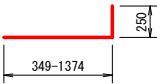
F4 10-D13×1140



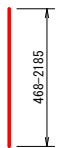
F5 10-D13×1150 (平均長)



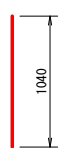
F6 28-D13×990



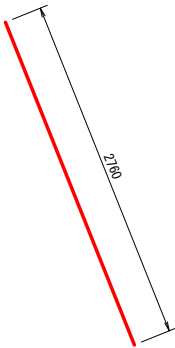
B1 24-D13×1120 (平均長)



B2 8-D13×1330 (平均長)



B3 2-D13×1040



B4 2-D13×2760



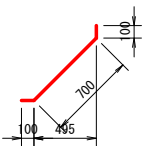
F7 19-D13×680



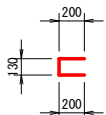
W1 10-D13×1850 (平均長)



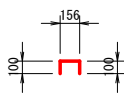
W2 10-D13×1730



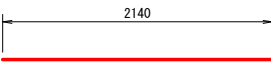
B5 9-D13×900



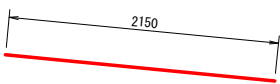
B6 9-D13×530



B7 4-D13×360



W3 21-D13×2140



W4 13-D13×2150

鉄筋質量表 (SD295A)

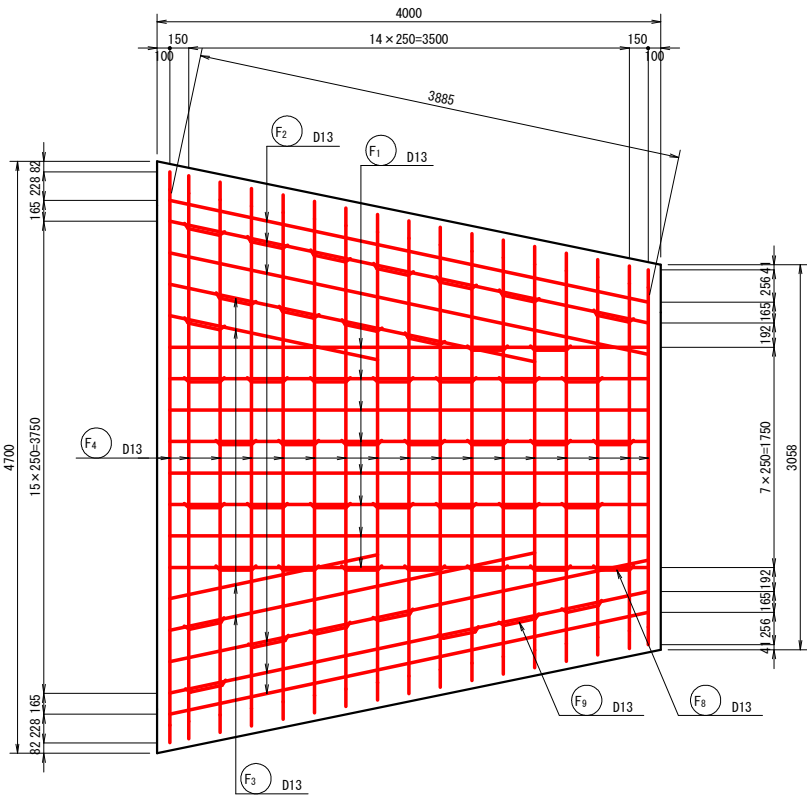
種 別	径	長 さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量	摘 要
F1	D13	2140	38	0.995	2.13	81	—
F2	〃	8060	10	〃	8.02	80	└ (平均長)
F3	〃	4600	10	〃	4.58	46	— (平均長)
F4	〃	1140	10	〃	1.13	11	└
F5	〃	1150	10	〃	1.14	11	└ (平均長)
F6	〃	990	28	〃	0.99	28	└
F7	〃	680	19	〃	0.68	13	└
270							
W1	D13	1850	10	0.995	1.84	18	└ (平均長)
W2	〃	1730	10	〃	1.72	17	└
W3	〃	2140	21	〃	2.13	45	—
W4	〃	2150	13	〃	2.14	28	└
W5	〃	490	20	〃	0.49	10	└
W6	〃	400	10	〃	0.40	4	└ (平均長)
122							
A1	D13	1160	17	0.995	1.15	20	└
A2	〃	1390	17	〃	1.38	23	└
A3	〃	4530	7	〃	4.51	32	— (平均長)
75							
B1	D13	1120	24	0.995	1.11	27	└ (平均長)
B2	〃	1330	8	〃	1.32	11	└ (平均長)
B3	〃	1040	2	〃	1.03	2	└
B4	〃	2760	2	〃	2.75	6	└
B5	〃	900	9	〃	0.90	8	└
B6	〃	530	9	〃	0.53	5	└
B7	〃	360	4	〃	0.36	1	└
60							
径							質量 (kg)
D13							527
合計							527

工事名	大久保下池改良工事		
図面名	流入部配筋図 3 / 3		
作成年月	2026年6月		
縮尺	1 : 30	工事名	14 / 28
事業者名	福山市 松永建設産業課		

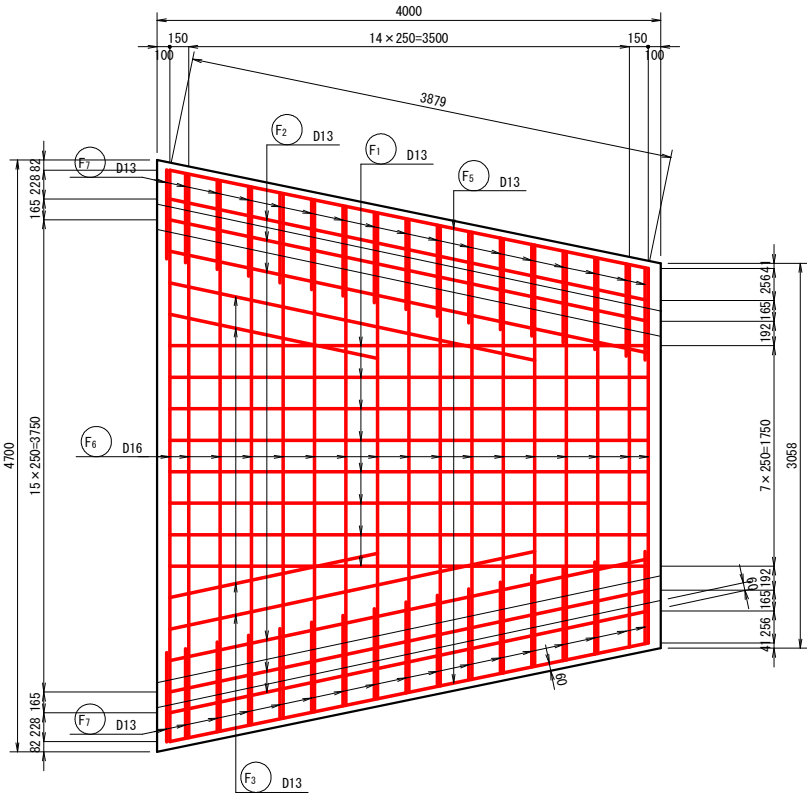
移行部配筋図 1/2

S=1:30

底板下面

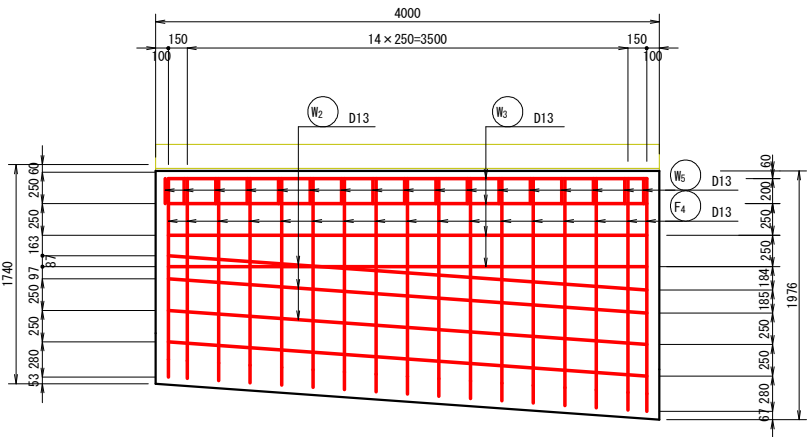


底板上面



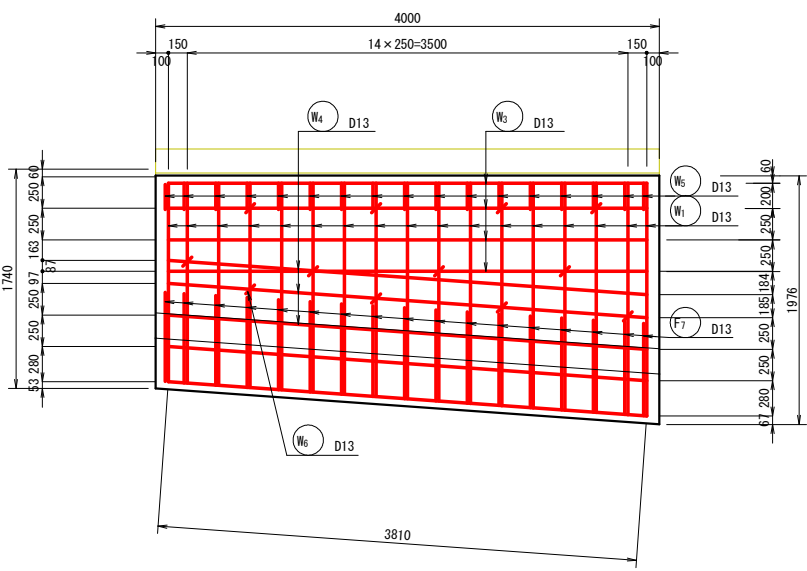
3-3

(左右共通)

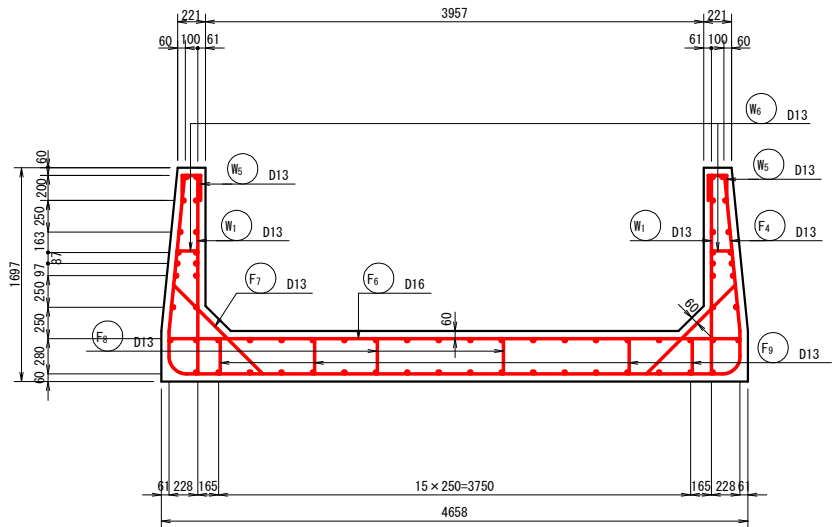


4-4

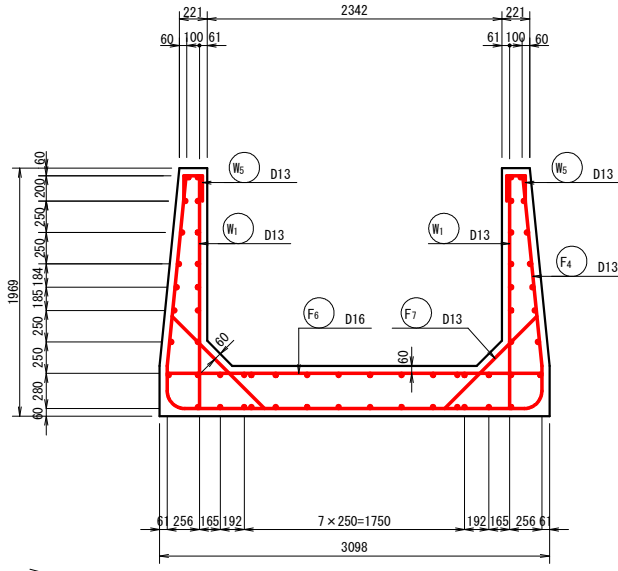
(左右共通)



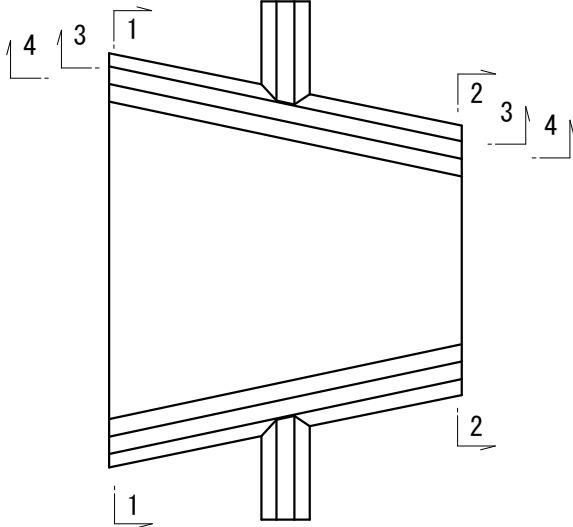
1-1



2-2



案内図

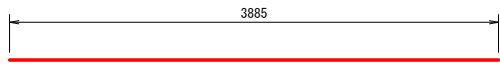
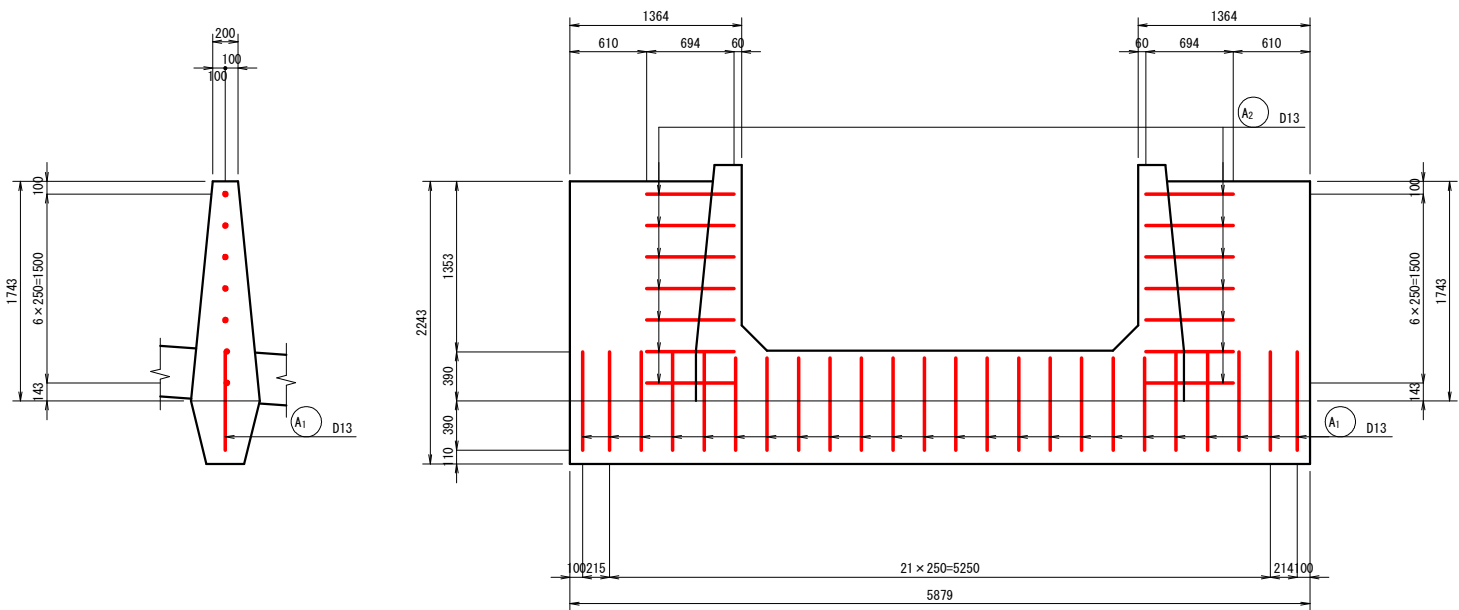


工事名	大久保下池改良工事		
図面名	移行部配筋図 1/2		
作成年月	2026年6月		
縮尺	1:30	工事名	15/28
事業者名	福山市 松永建設産業課		

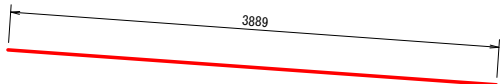
移行部配筋図 2/2

S=1:30

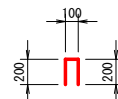
止水壁



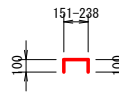
W3 16-D13 x 3890



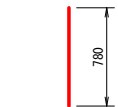
W4 6-D13 x 3890



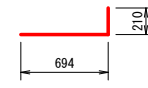
W5 34-D13 x 500



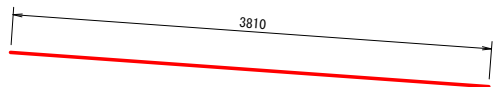
W6 24-D13 x 400 (平均長)



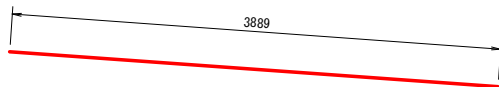
A1 24-D13 x 780



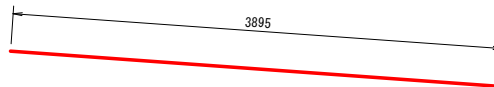
A2 14-D13 x 910



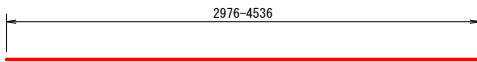
F1 16-D13 x 3810



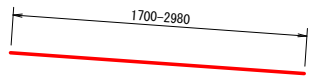
F5 2-D13 x 3890



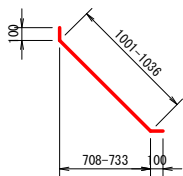
F2 12-D13 x 3900



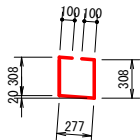
F6 17-D16 x 3760 (平均長)



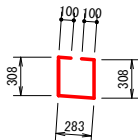
F3 8-D13 x 2340 (平均長)



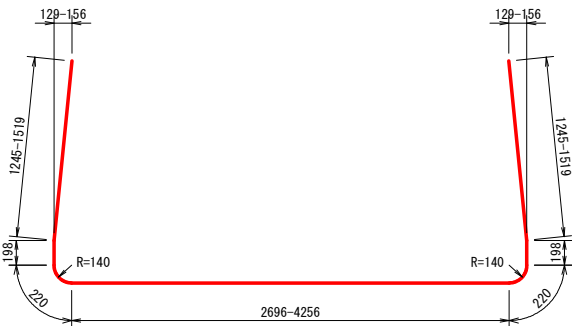
F7 34-D13 x 1220 (平均長)



F8 30-D13 x 1100



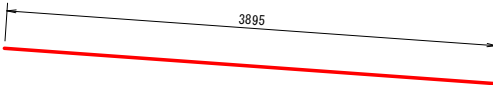
F9 20-D13 x 1100



F4 17-D13 x 7080 (平均長)



W1 34-D13 x 1720 (平均長)



W2 6-D13 x 3900

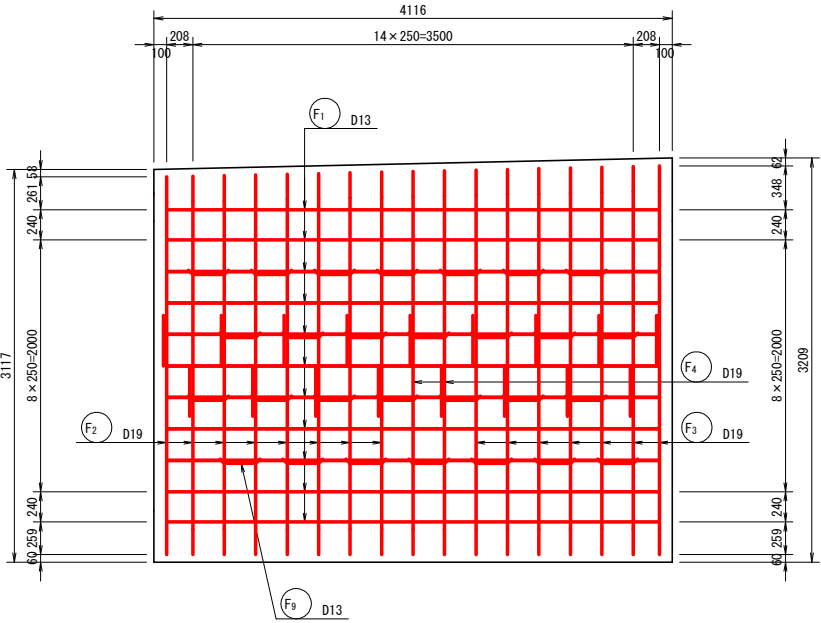
鉄筋質量表 (SD295 A)

種 別	径	長 さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量	摘 要
F1	D13	3810	16	0.995	3.79	61	┐
F2	"	3900	12	"	3.88	47	┐
F3	"	2340	8	"	2.33	19	┐ (平均長)
F4	"	7080	17	"	7.04	120	┐ (平均長)
F5	"	3890	2	"	3.87	8	┐
F6	D16	3760	17	1.56	5.87	100	┐ (平均長)
F7	D13	1220	34	0.995	1.21	41	┐ (平均長)
F8	"	1100	30	"	1.09	33	┐
F9	"	1100	20	"	1.09	22	┐
451							
W1	D13	1720	34	0.995	1.71	58	┐ (平均長)
W2	"	3900	6	"	3.88	23	┐
W3	"	3890	16	"	3.87	62	┐
W4	"	3890	6	"	3.87	23	┐
W5	"	500	34	"	0.50	17	┐
W6	"	400	24	"	0.40	10	┐ (平均長)
193							
A1	D13	780	24	0.995	0.78	19	┐
A2	"	910	14	"	0.91	13	┐
32							
				径	質量 (kg)		
				D16	100		
				D13	576		
				合計	676		

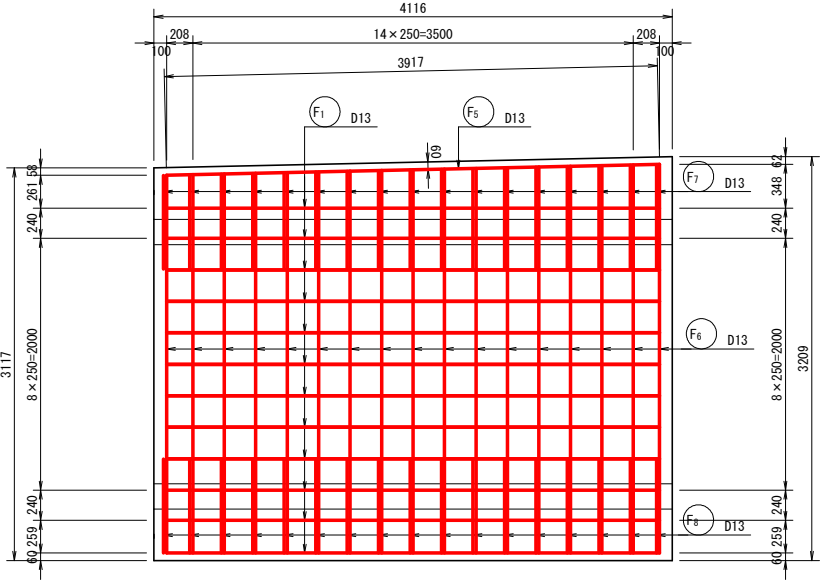
工事名	大久保下池改良工事		
図面名	移行部配筋図 2 / 2		
作成年月	2026年6月		
縮尺	1 : 30	工事名	16 / 28
事業者名	福山市 松永建設産業課		

急流部 1 配筋図 1/3 S=1:30

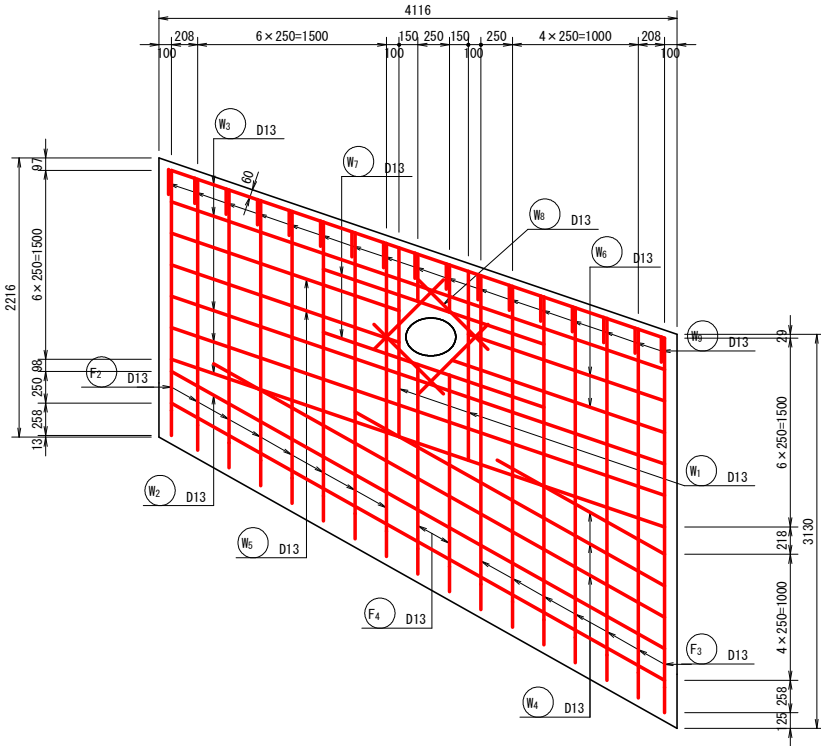
底板下面



底板上面

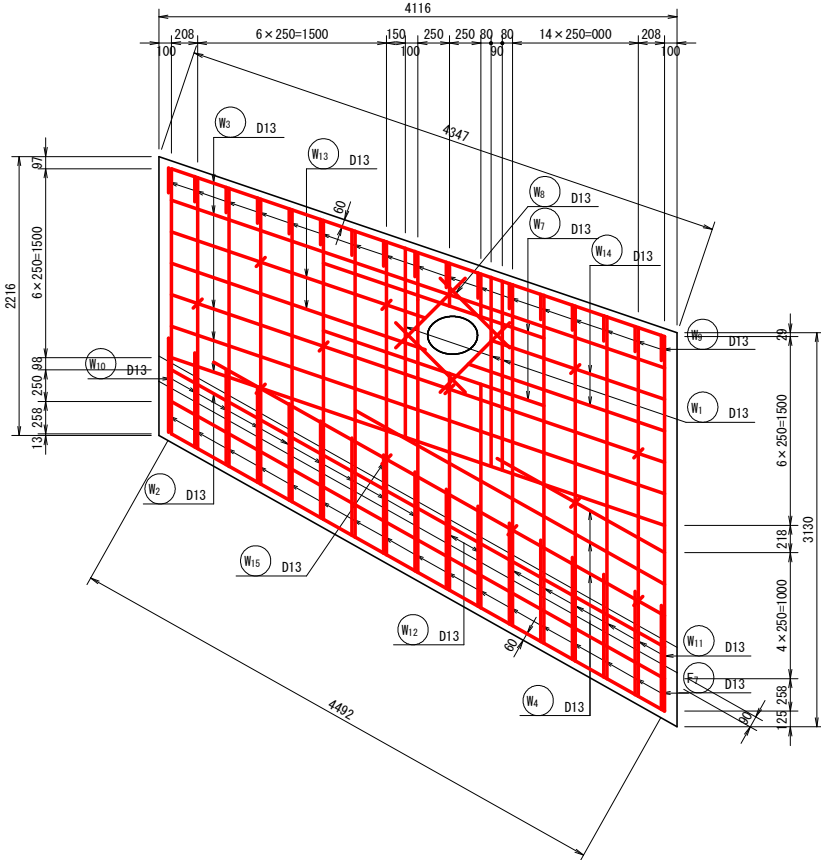


3-3

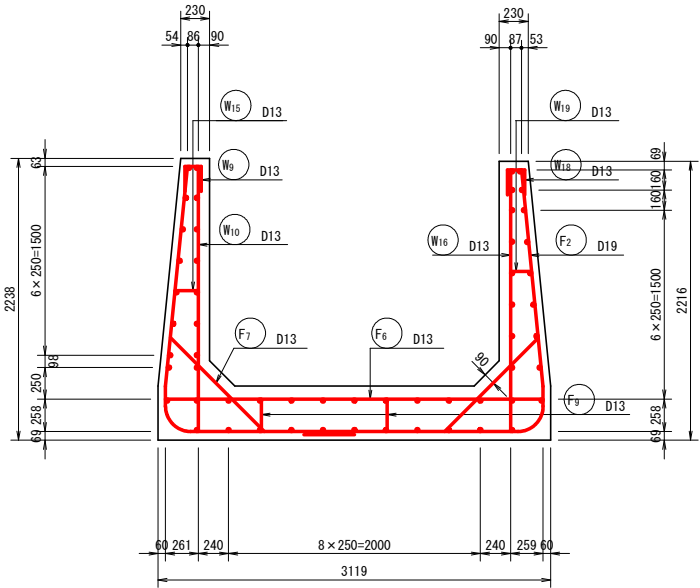


※配管の位置に合わせて開口部の配筋は現場で調整すること。

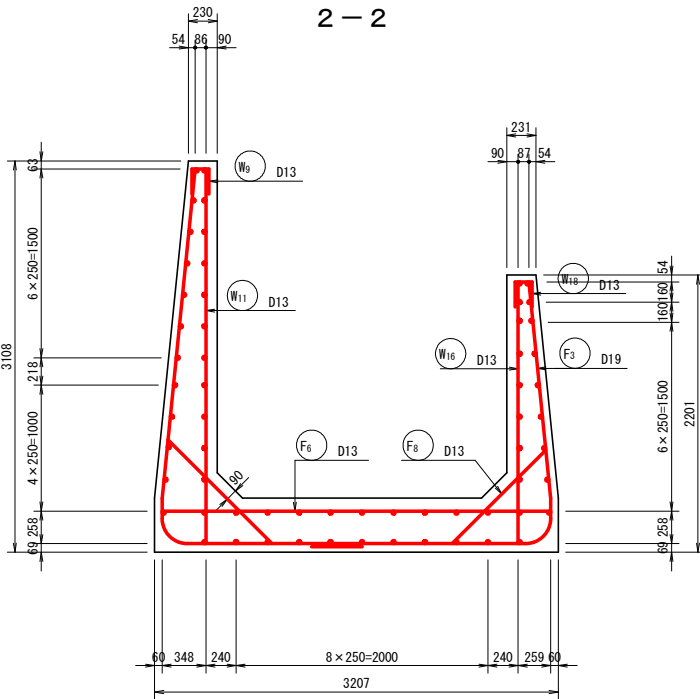
4-4



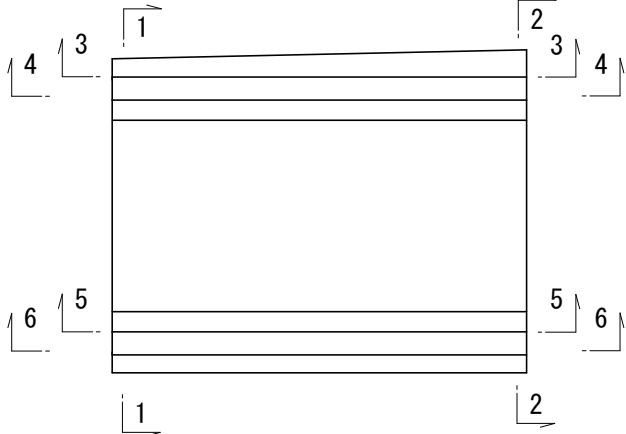
1-1



2-2



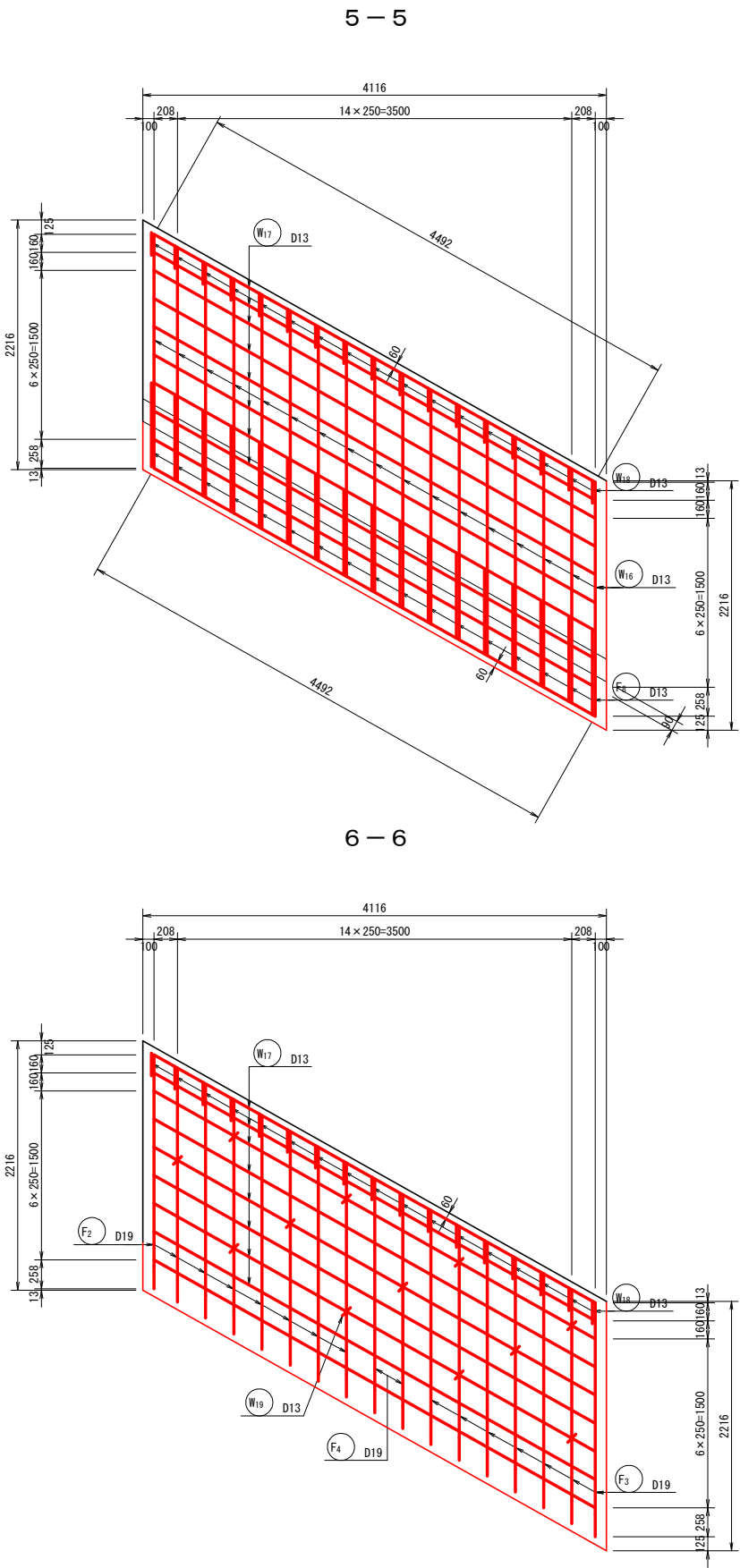
案内図



工事名	大久保下池改良工事		
図面名	急流部 1 配筋図 1 / 3		
作成年月	2026年6月		
縮尺	1 : 30	工事名	17 / 28
事業者名	福山市 松永建設産業課		

急流部 1 配筋図 2/3

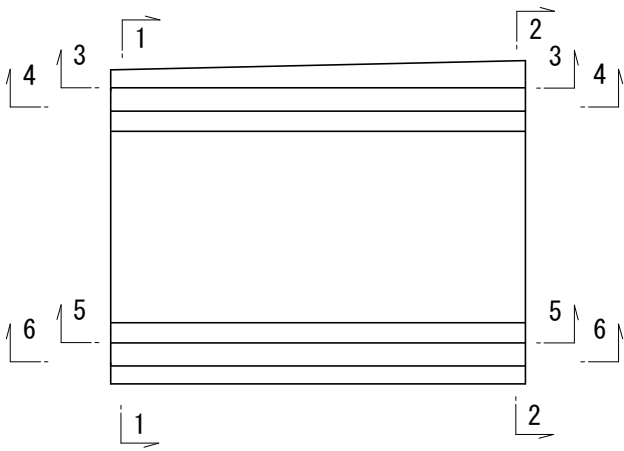
S=1:30



鉄筋質量表

種 別	径	長 さ	本 数	単 位 質 量	一 本 当 り 質 量	質 量	摘 要
F1	D13	4500	23	0.995	4.48	103	└─┘
F2	D19	7910	8	2.25	17.80	142	└─┘ (平均長)
F3	"	8480	7	"	19.08	134	└─┘ (平均長)
F4	"	7730	2	"	17.39	35	└─┘ (平均長)
F5	D13	4500	1	0.995	4.48	4	└─┘
F6	"	3050	17	"	3.03	52	└─┘ (平均長)
F7	"	1320	17	"	1.31	22	└─┘ (平均長)
F8	"	1260	17	"	1.25	21	└─┘
F9	"	1100	28	"	1.09	31	└─┘
544							
W1	D13	1500	5	0.995	1.49	7	└─┘
W2	"	4500	2	"	4.48	9	└─┘
W3	"	4350	10	"	4.33	43	└─┘
W4	"	2820	6	"	2.81	17	└─┘ (平均長)
W5	"	1910	2	"	1.90	4	└─┘
W6	"	1720	2	"	1.71	3	└─┘ (平均長)
W7	"	1850	4	"	1.84	7	└─┘
W8	"	780	8	"	0.78	6	└─┘
W9	"	490	17	"	0.49	8	└─┘
W10	"	2330	9	"	2.32	21	└─┘ (平均長)
W11	"	2850	6	"	2.84	17	└─┘ (平均長)
W12	"	2090	2	"	2.08	4	└─┘ (平均長)
W13	"	2130	2	"	2.12	4	└─┘
W14	"	1560	2	"	1.55	3	└─┘ (平均長)
W15	"	460	12	"	0.46	6	└─┘ (平均長)
W16	"	2080	17	"	2.07	35	└─┘
W17	"	4500	16	"	4.48	72	└─┘
W18	"	490	17	"	0.49	8	└─┘
W19	"	400	12	"	0.40	5	└─┘ (平均長)
279							
径 (異形鉄筋の種類)						質量 (kg)	
D19 (SD345)						311	
D13 (SD295A)						512	
合 計						823	

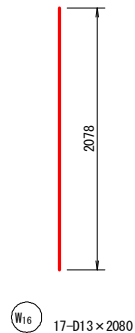
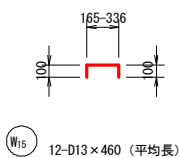
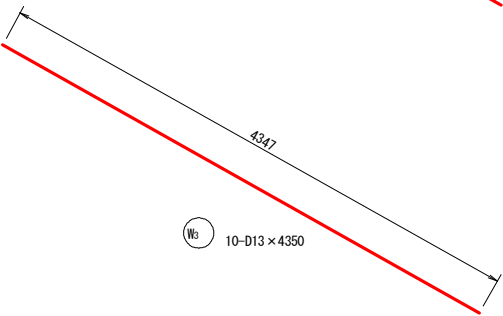
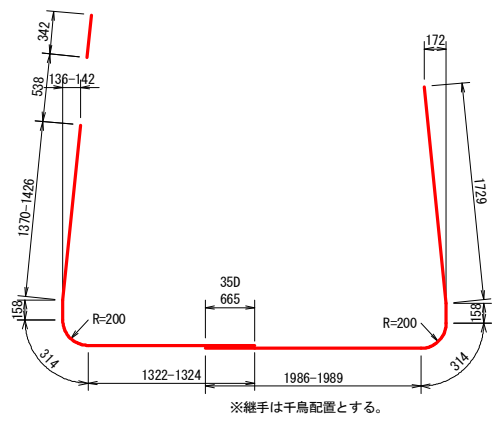
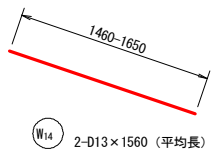
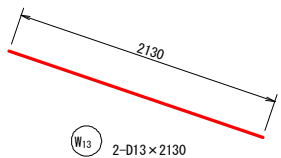
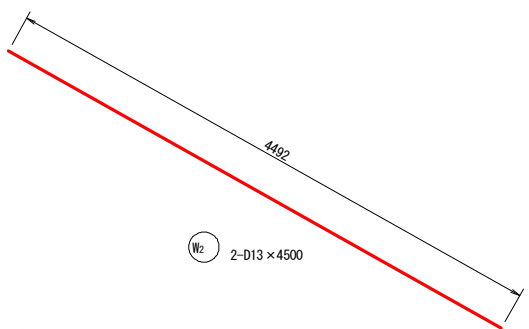
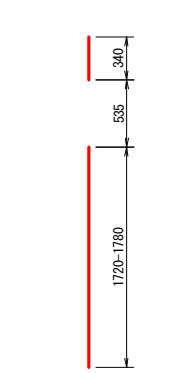
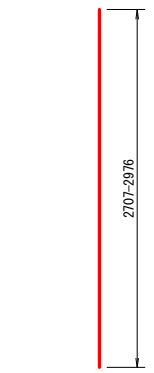
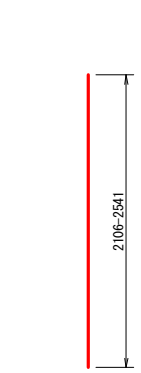
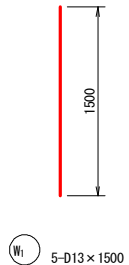
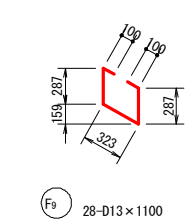
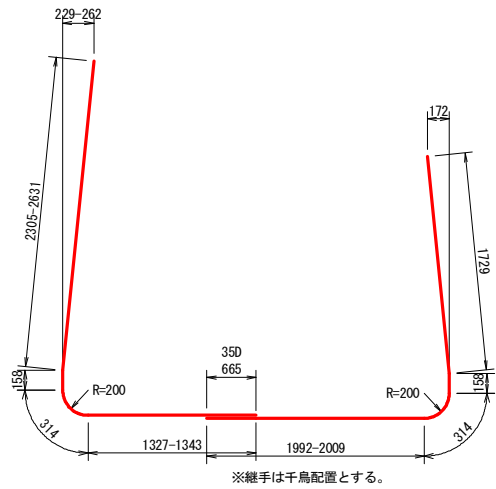
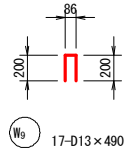
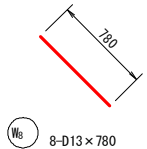
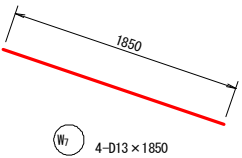
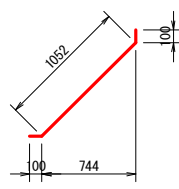
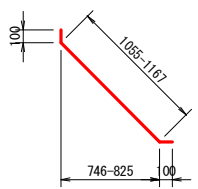
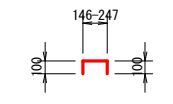
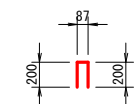
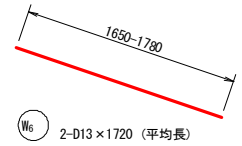
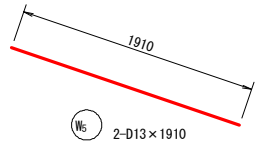
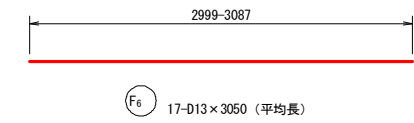
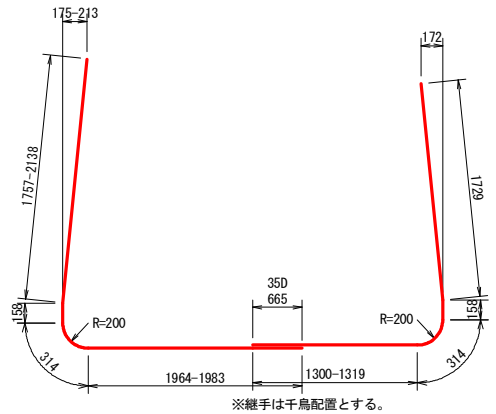
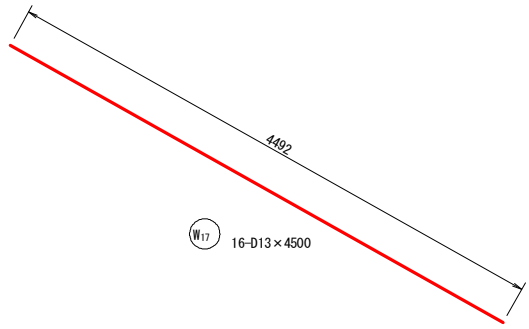
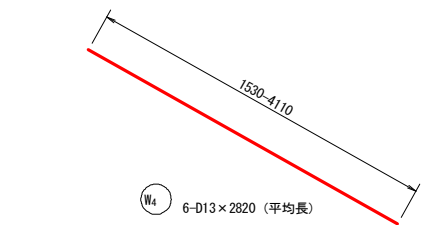
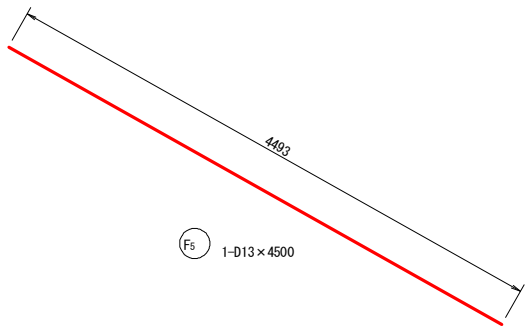
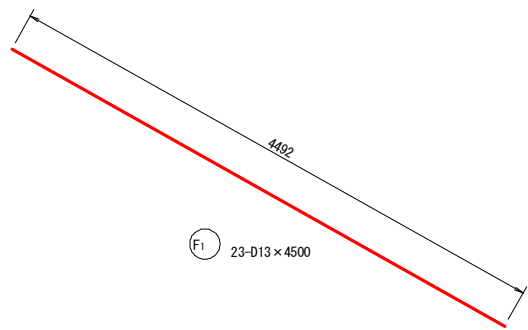
案内図



工事名	大久保下池改良工事		
図面名	急流部 1 配筋図 2 / 3		
作成年月	2026年6月		
縮尺	1 : 30	工事名	18 / 28
事業者名	福山市 松永建設産業課		

急流部 1 配筋図 3/3

S=1:30

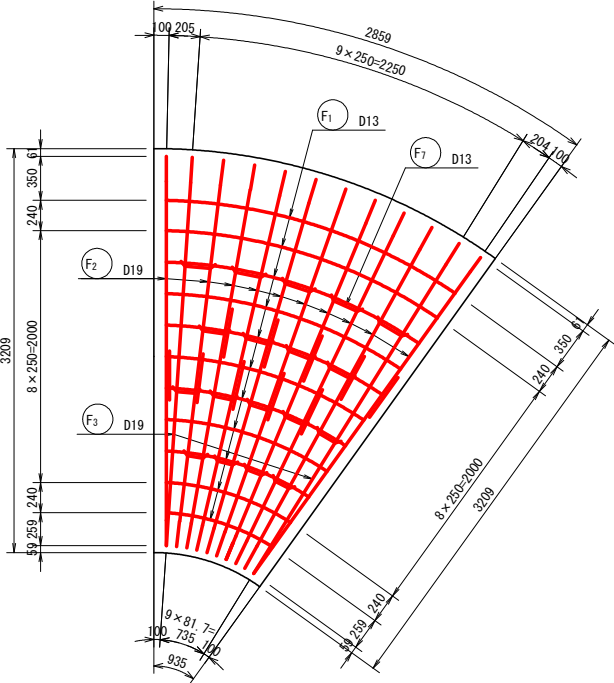


工事名	大久保下池改良工事		
図面名	急流部 1 配筋図 3 / 3		
作成年月	2026年6月		
縮尺	1 : 30	工事名	19 / 28
事業者名	福山市 松永建設産業課		

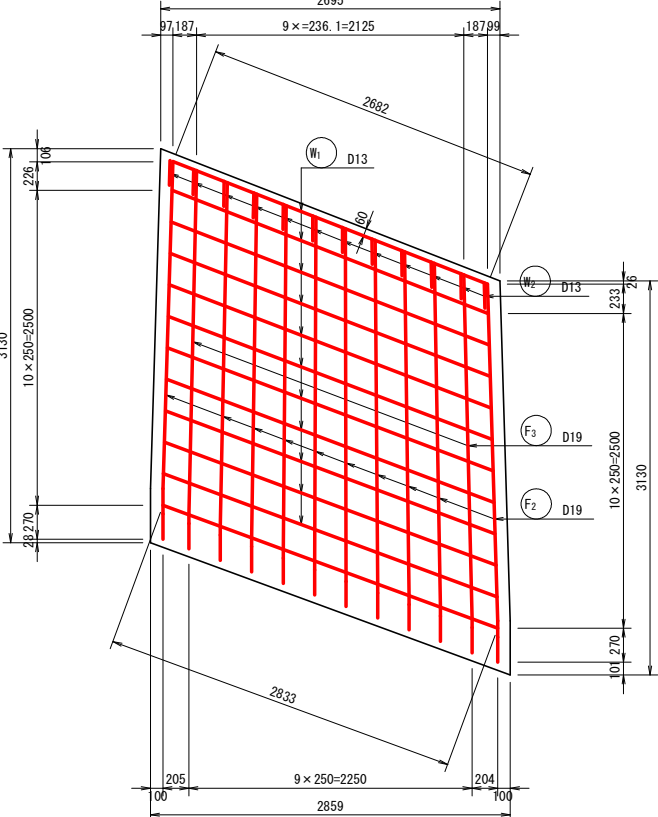
急流部 2 配筋図 1/2

S=1:30

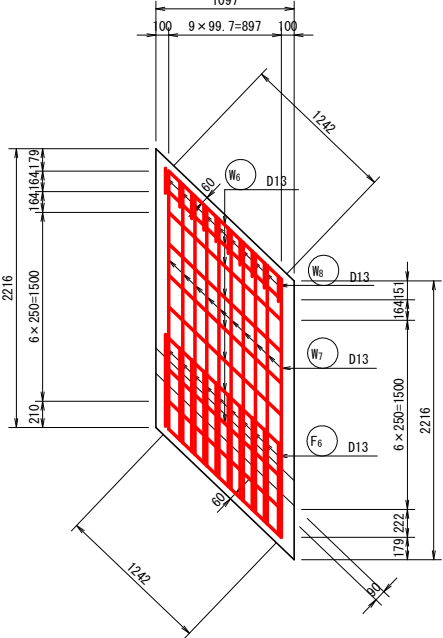
底板下面



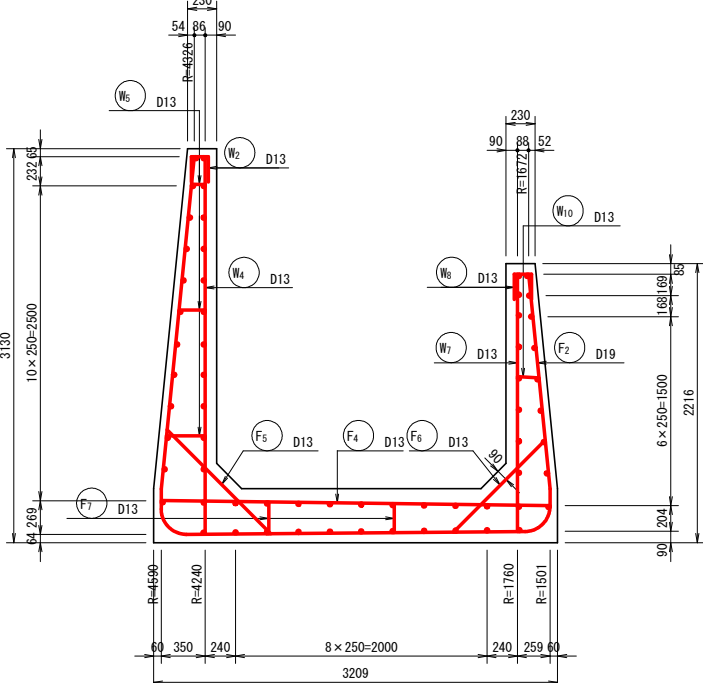
2-2



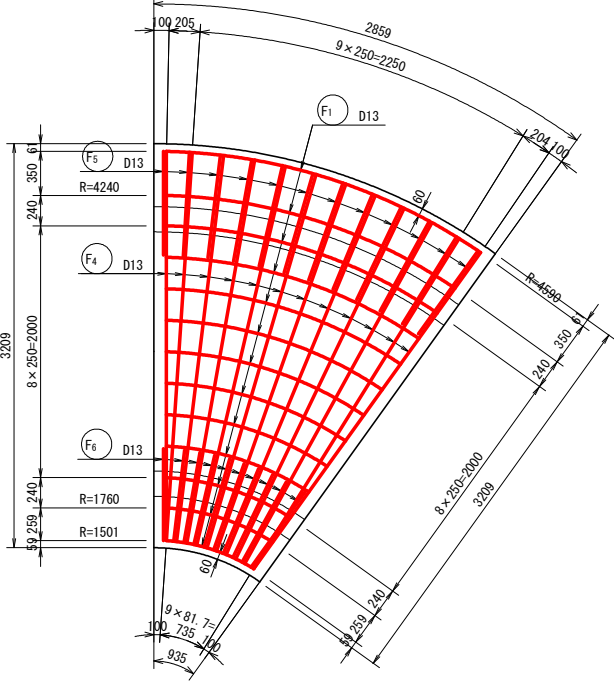
4-4



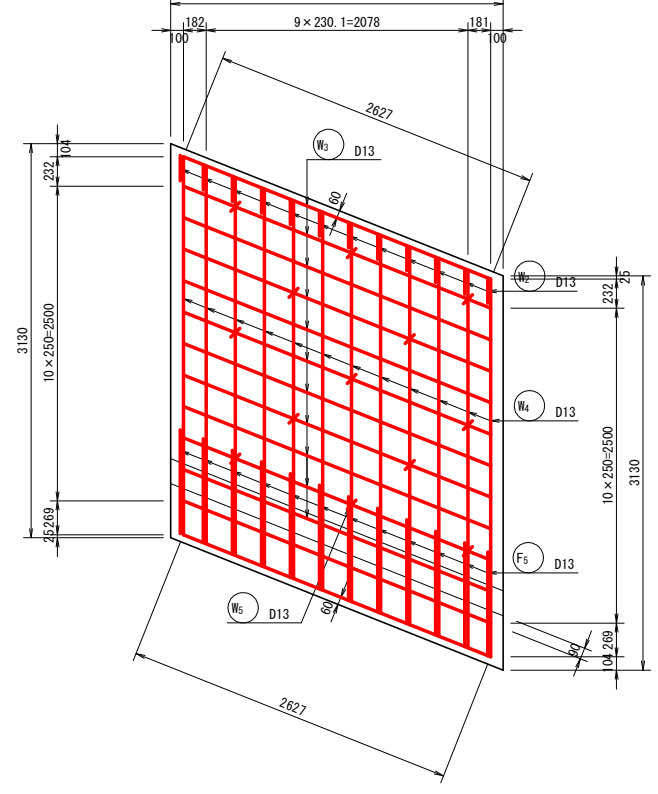
1-1



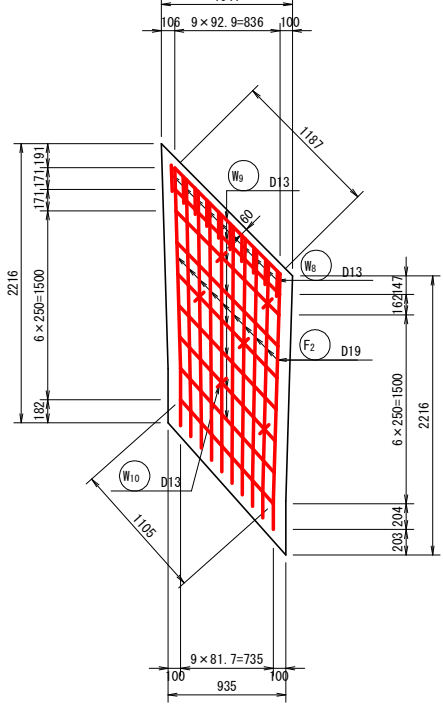
底板上面



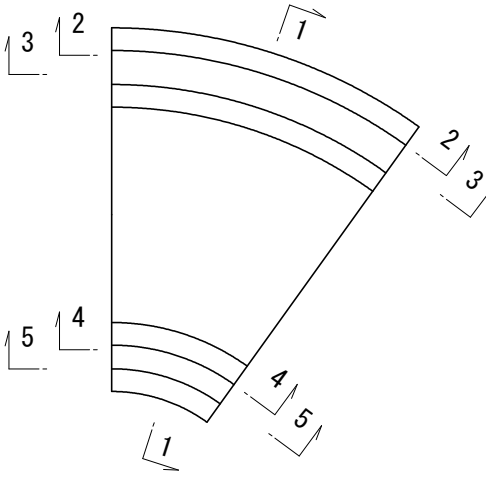
3-3



5-5



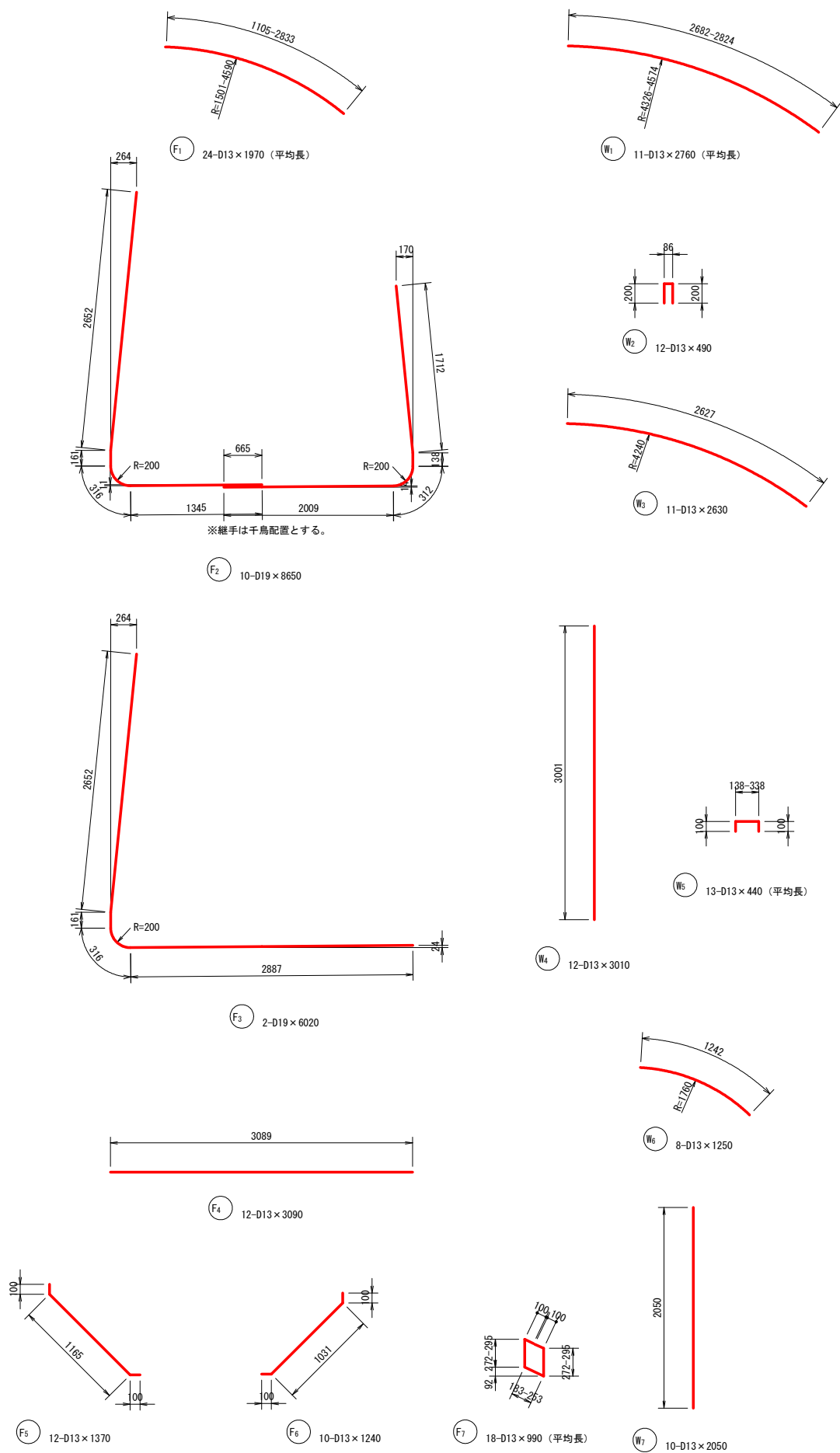
案内図



工事名	大久保下池改良工事		
図面名	急流部 2 配筋図 1 / 2		
作成年月	2026年6月		
縮尺	1 : 30	工事名	20 / 28
事業者名	福山市 松永建設産業課		

急流部 2 配筋図 2/2

S=1:30



鉄筋質量表

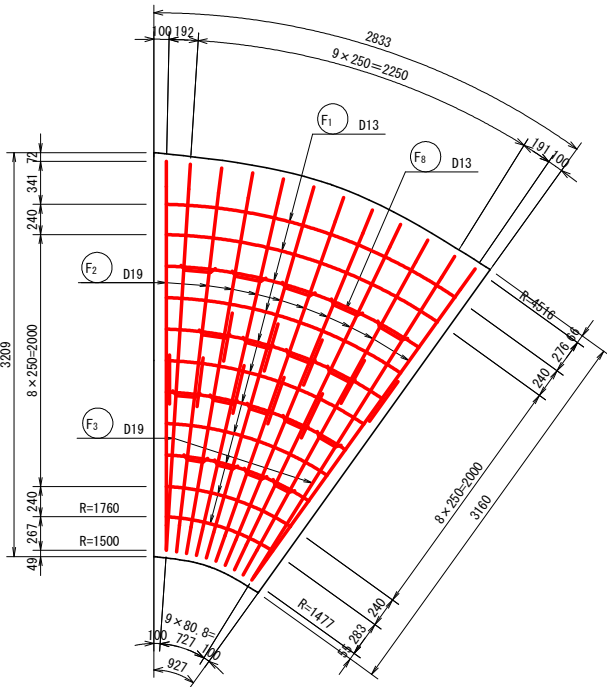
種 別	径	長 さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量	摘 要
F1	D13	1970	24	0.995	1.96	47	(平均長)
F2	D19	8650	10	2.25	19.46	195	└┘
F3	"	6020	2	"	13.55	27	└┘
F4	D13	3090	12	0.995	3.07	37	└┘
F5	"	1370	12	"	1.36	16	└┘
F6	"	1240	10	"	1.23	12	└┘
F7	"	990	18	"	0.99	18	└┘ (平均長)
352							
W1	D13	2760	11	0.995	2.75	30	└┘ (平均長)
W2	"	490	12	"	0.49	6	└┘
W3	"	2630	11	"	2.62	29	└┘
W4	"	3010	12	"	2.99	36	└┘
W5	"	440	13	"	0.44	6	└┘ (平均長)
W6	"	1250	8	"	1.24	10	└┘
W7	"	2050	10	"	2.04	20	└┘
W8	"	490	10	"	0.49	5	└┘
W9	"	1160	8	"	1.15	9	└┘ (平均長)
W10	"	410	6	"	0.41	2	└┘ (平均長)
153							
径 (異形鉄筋の種類)							質量 (kg)
D19 (SD345)							222
D13 (SD295A)							283
合計							505

工事名	大久保下池改良工事		
図面名	急流部 2 配筋図 2 / 2		
作成年月	2026年6月		
縮尺	1 : 30	工事名	21 / 28
事業者名	福山市 松永建設産業課		

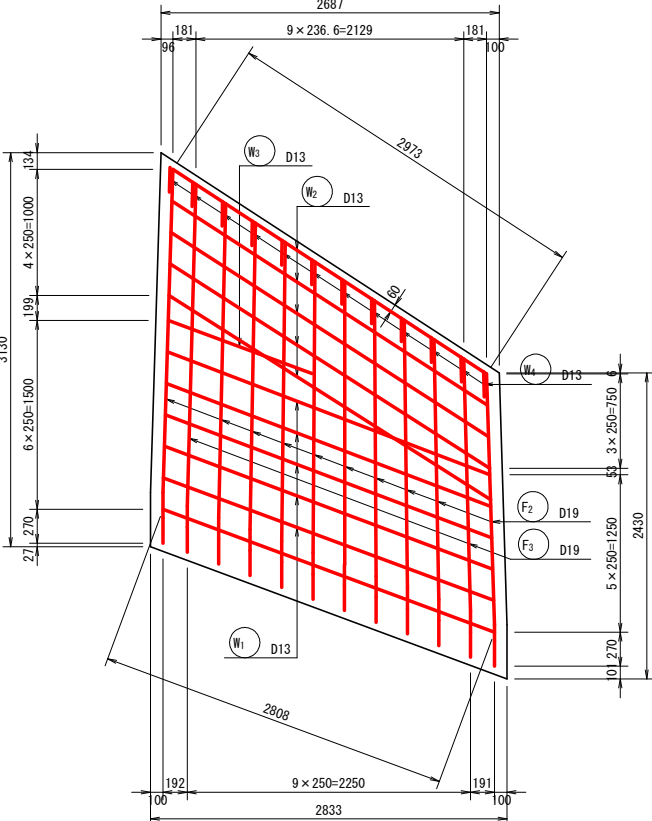
急流部3配筋図 1/3

S=1:30

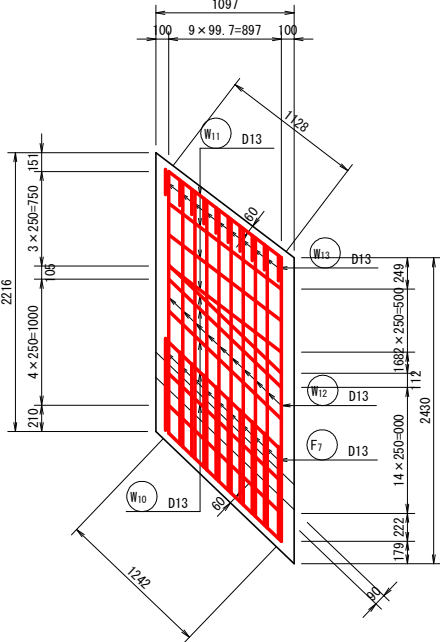
底板下面



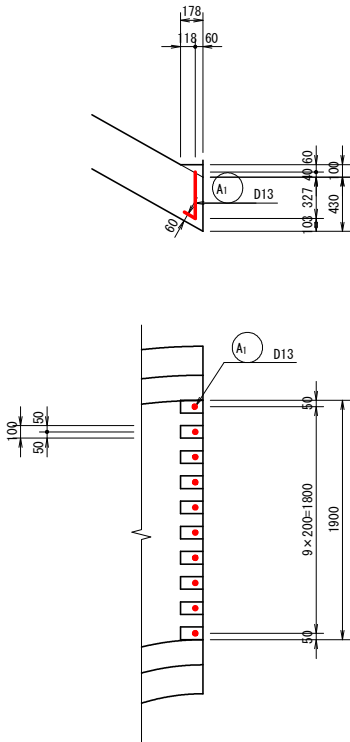
3-3



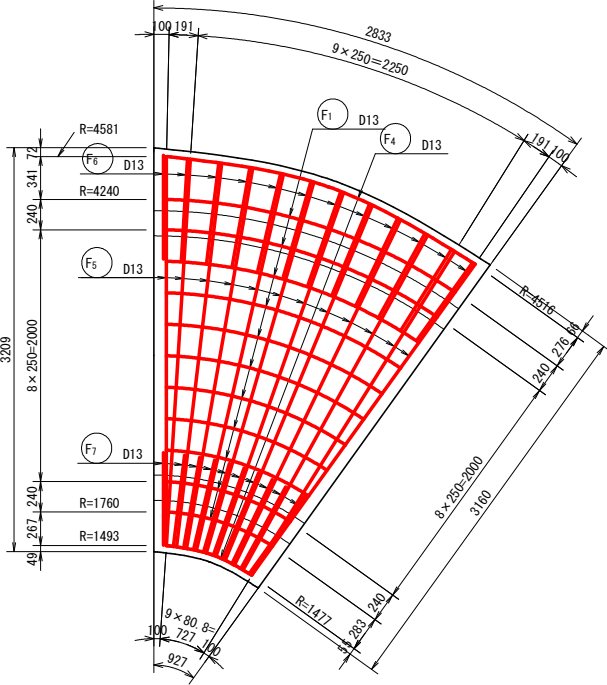
5-5



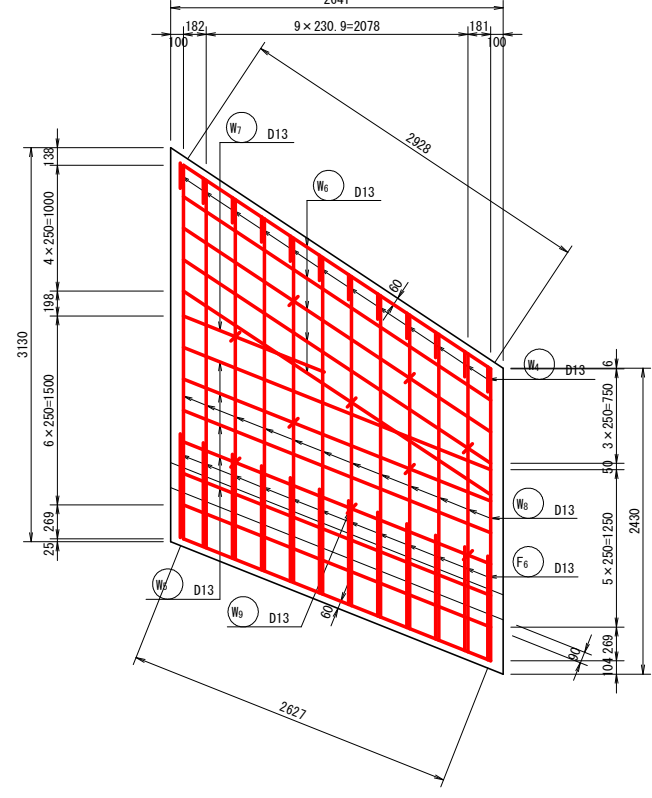
シュートブロック



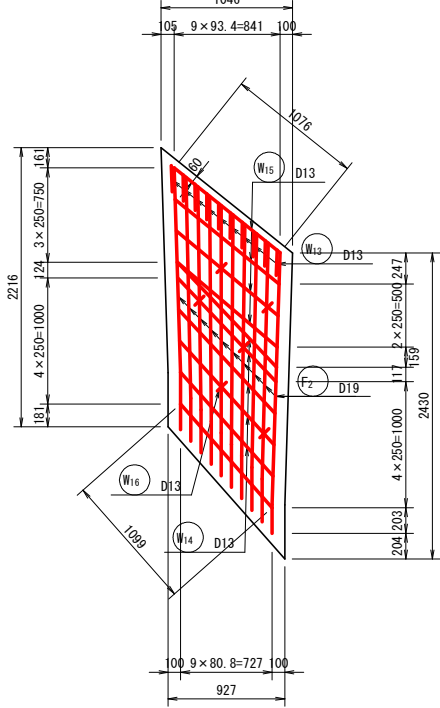
底板上面



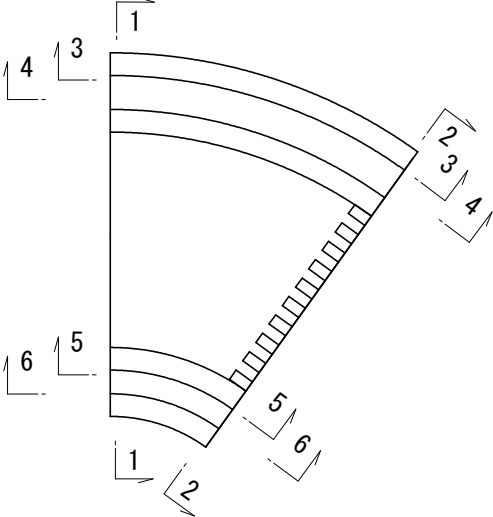
4-4



6-6



案内図

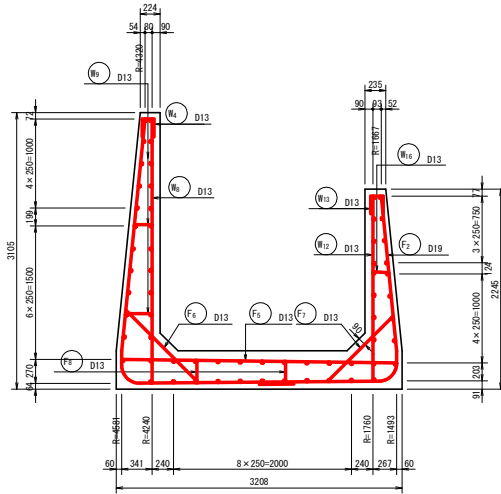


工事名	大久保下池改良工事		
図面名	急流部3配筋図 1/3		
作成年月	2026年6月		
縮尺	1:30	工事名	22/28
事業者名	福山市 松永建設産業課		

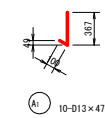
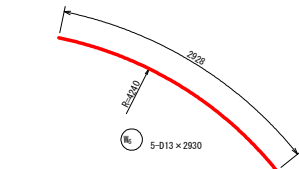
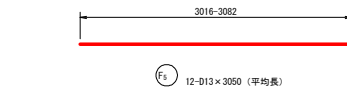
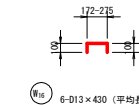
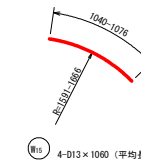
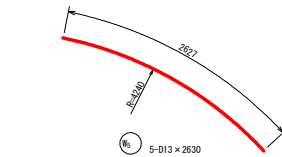
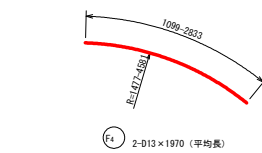
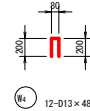
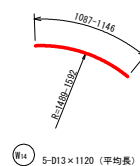
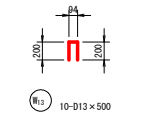
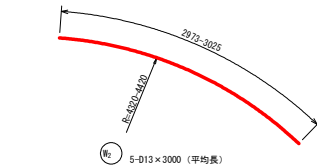
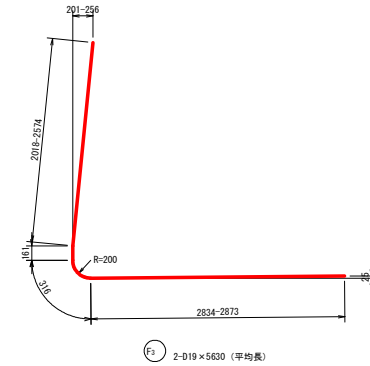
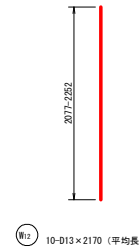
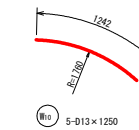
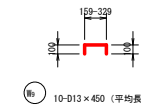
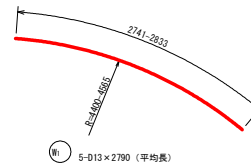
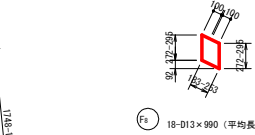
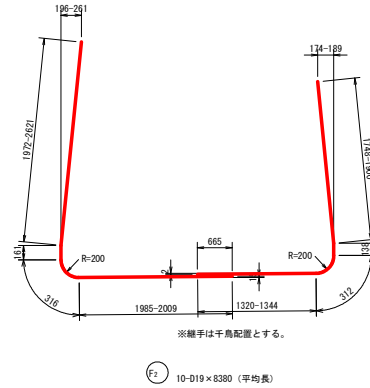
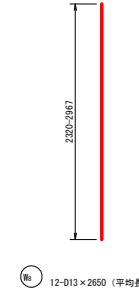
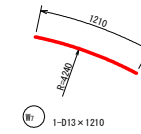
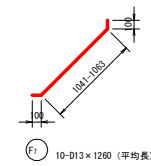
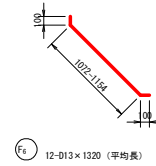
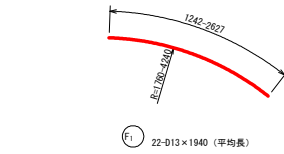
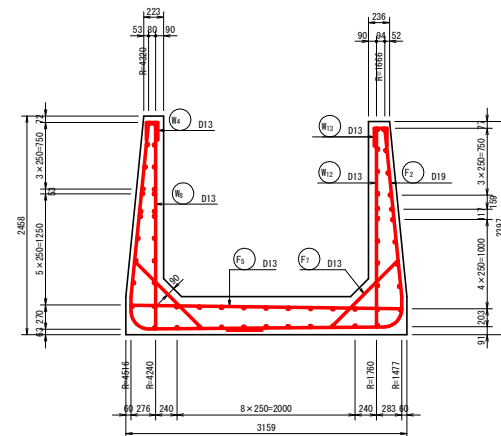
急流部 3 配筋図 2/3

S=1:30

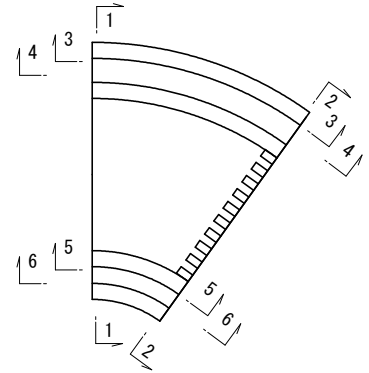
1-1



2-2



案内図



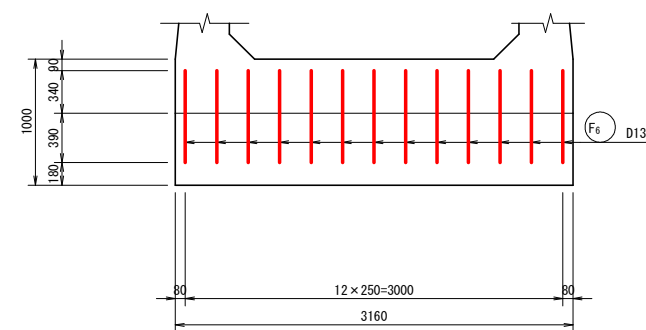
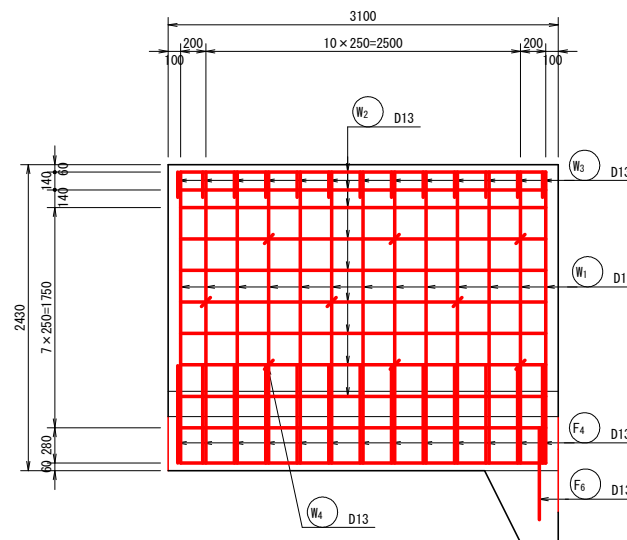
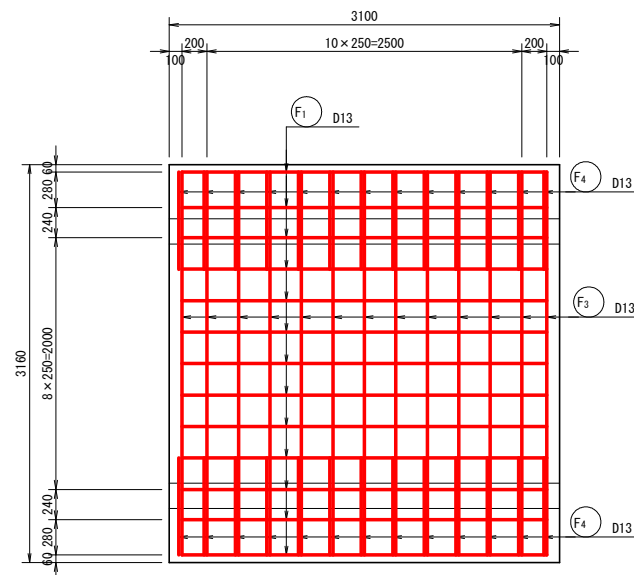
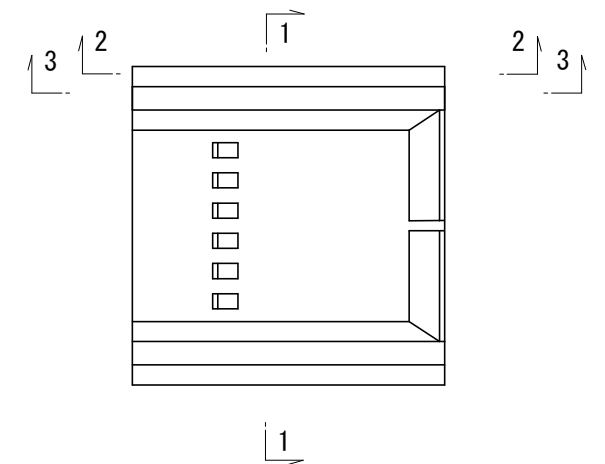
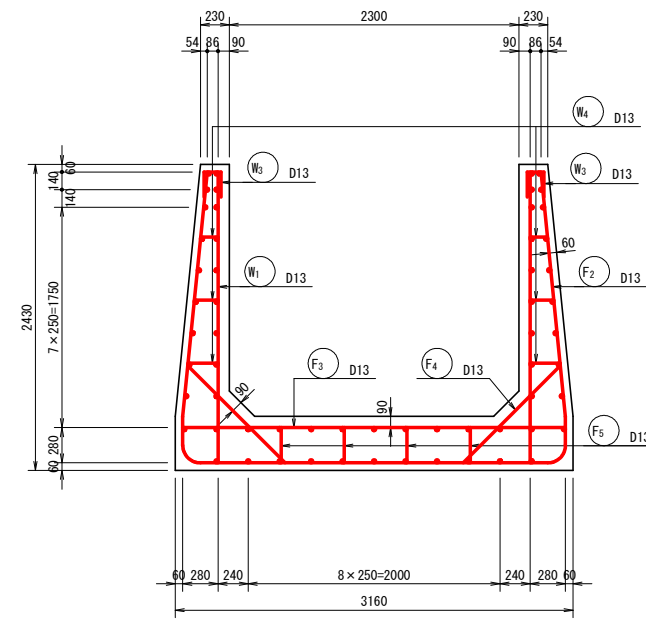
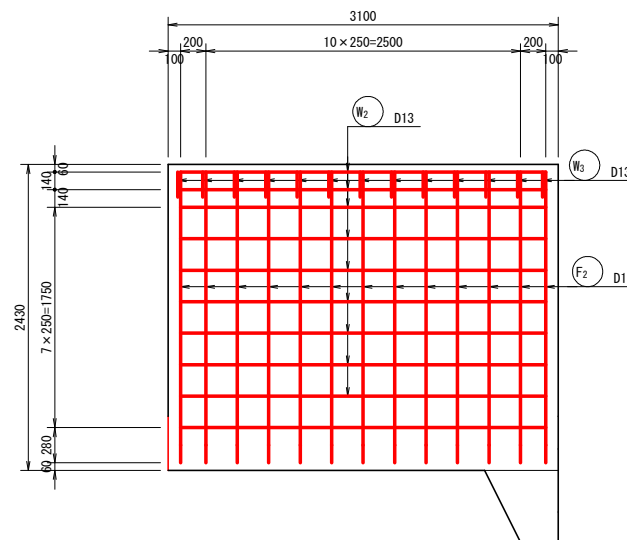
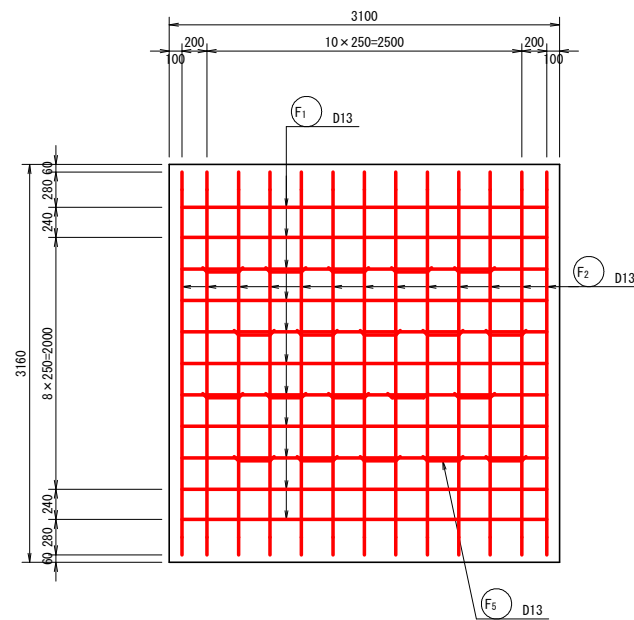
工事名	大久保下池改良工事
図面名	急流部 3 配筋図 2 / 3
作成年月	2026年6月
縮尺	1 : 30
工事名	23 / 28
事業者名	福山市 松永建設産業課

鉄筋質量表

種 別	径	長 さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量	摘 要
F1	D13	1940	22	0.995	1.93	42	ㄱ (平均長)
F2	D19	8380	10	2.25	18.86	189	ㄷ (平均長)
F3	〃	5630	2	〃	12.67	25	ㄷ (平均長)
F4	D13	1970	2	0.995	1.96	4	ㄱ (平均長)
F5	〃	3050	12	〃	3.03	36	ㄱ (平均長)
F6	〃	1320	12	〃	1.31	16	ㄱ (平均長)
F7	〃	1260	10	〃	1.25	13	ㄱ (平均長)
F8	〃	990	18	〃	0.99	18	ㄷ (平均長)
343							
W1	D13	2790	5	0.995	2.78	14	ㄱ (平均長)
W2	〃	3000	5	〃	2.99	15	ㄱ (平均長)
W3	〃	1220	1	〃	1.21	1	ㄱ
W4	〃	480	12	〃	0.48	6	ㄷ
W5	〃	2630	5	〃	2.62	13	ㄱ
W6	〃	2930	5	〃	2.92	15	ㄱ
W7	〃	1210	1	〃	1.20	1	ㄱ
W8	〃	2650	12	〃	2.64	32	ㄷ (平均長)
W9	〃	450	10	〃	0.45	5	ㄷ (平均長)
W10	〃	1250	5	〃	1.24	6	ㄱ
W11	〃	1130	4	〃	1.12	4	ㄱ
W12	〃	2170	10	〃	2.16	22	ㄷ (平均長)
W13	〃	500	10	〃	0.50	5	ㄷ
W14	〃	1120	5	〃	1.11	6	ㄱ (平均長)
W15	〃	1060	4	〃	1.05	4	ㄱ (平均長)
W16	〃	430	6	〃	0.43	3	ㄷ (平均長)
152							
A1	D13	470	10	0.995	0.47	5	ㄱ
5							
径 (異形鉄筋の種類) 質量 (kg)							
D19 (SD345)						214	
D13 (SD295A)						286	
合 計						500	

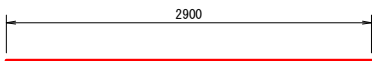
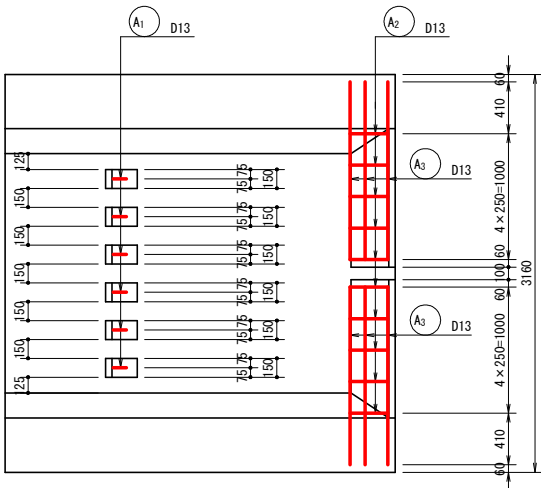
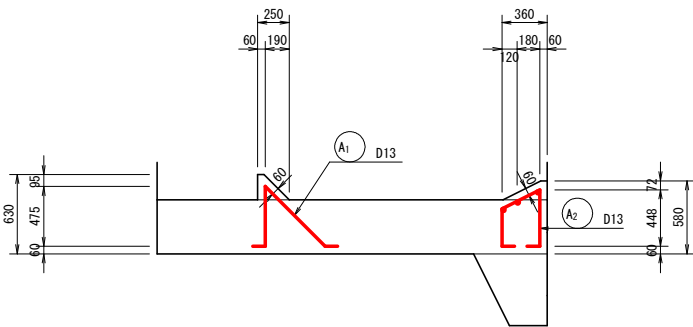
工事名	大久保下池改良工事		
図面名	急流部 3 配筋図 3 / 3		
作成年月	2 0 2 6 年 6 月		
縮尺	1 : 3 0	工事名	2 4 / 2 8
事業者名	福山市 松永建設産業課		

S=1:30

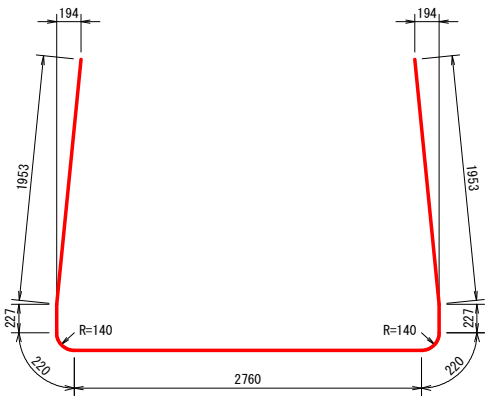


工事名	大久保下池改良工事		
図面名	減勢工配筋図 1 / 2		
作成年月	2026年6月		
縮尺	1 : 30	工事名	25 / 28
事業者名	福山市 松永建設産業課		

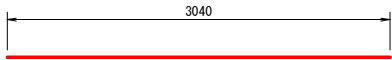
バツフルピア及びエンドシル



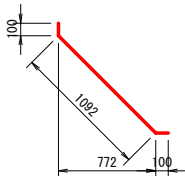
F1 24-D13 × 2900



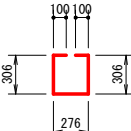
F2 13-D13 × 7560



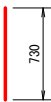
F3 13-D13 × 3040



F4 26-D13 × 1300



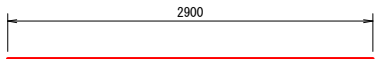
F5 20-D13 × 1090



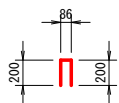
F6 13-D13 × 730



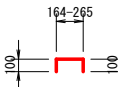
W1 26-D13 × 2310



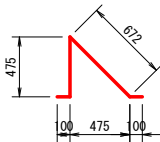
W2 36-D13 × 2900



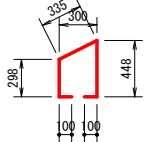
W3 26-D13 × 490



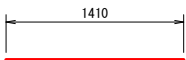
W4 18-D13 × 420 (平均長)



A1 6-D13 × 1350



A2 10-D13 × 1290



A3 6-D13 × 1410

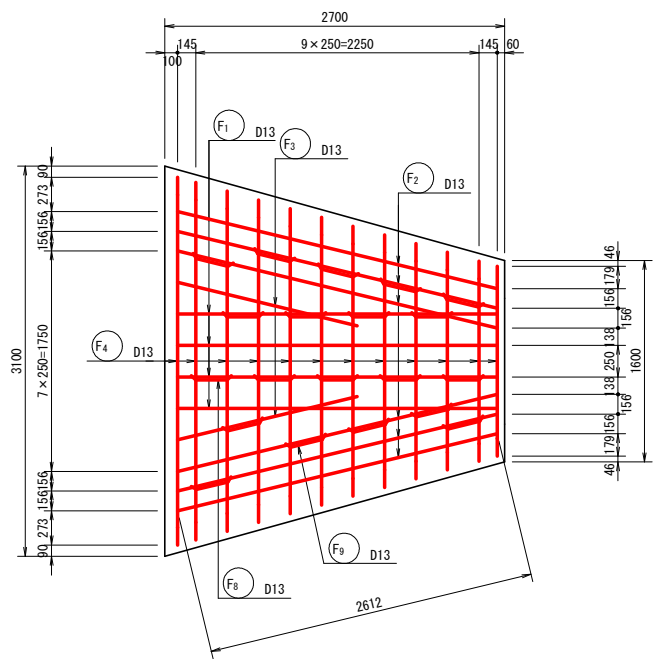
鉄筋質量表 (SD295A)

種 別	径	長 さ	本 数	単 位 質 量	一 本 当 り 質 量	質 量	摘 要
F1	D13	2900	24	0.995	2.89	69	—
F2	〃	7560	13	〃	7.52	98	└
F3	〃	3040	13	〃	3.02	39	—
F4	〃	1300	26	〃	1.29	34	└
F5	〃	1090	20	〃	1.08	22	└
F6	〃	730	13	〃	0.73	9	—
271							
W1	D13	2310	26	0.995	2.30	60	—
W2	〃	2900	36	〃	2.89	104	—
W3	〃	490	26	〃	0.49	13	└
W4	〃	420	18	〃	0.42	8	└ (平均長)
185							
A1	D13	1350	6	0.995	1.34	8	└
A2	〃	1290	10	〃	1.28	13	└
A3	〃	1410	6	〃	1.40	8	—
29							
				径	質量 (kg)		
				D13	485		
				合計	485		

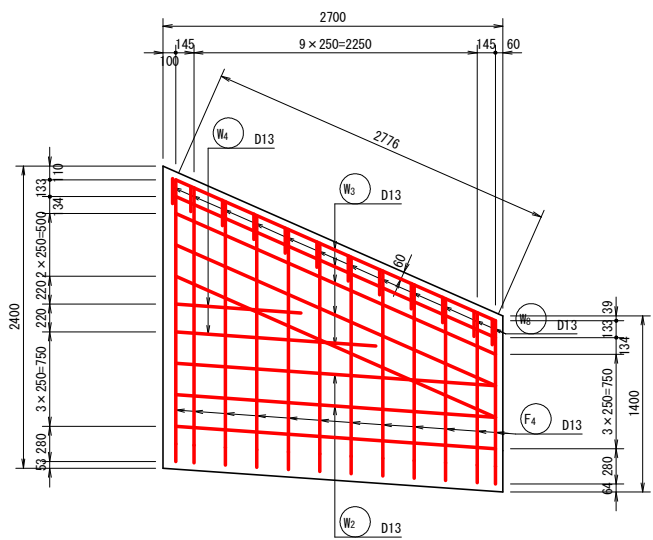
工事名	大久保下池改良工事		
図面名	減勢工配筋図 2 / 2		
作成年月	2026年6月		
縮尺	1 : 30	工事名	26 / 28
事業者名	福山市 松永建設産業課		

取付工配筋図 1/2
 S=1:30

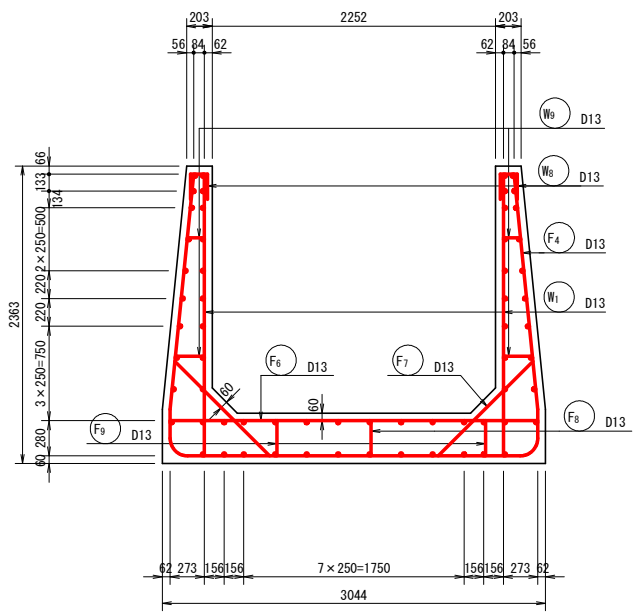
底板下面



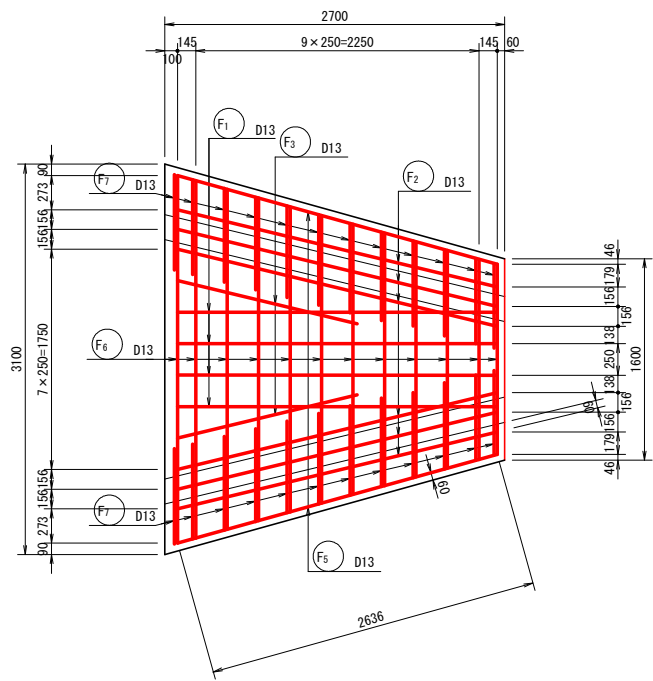
3-3
(左右共通)



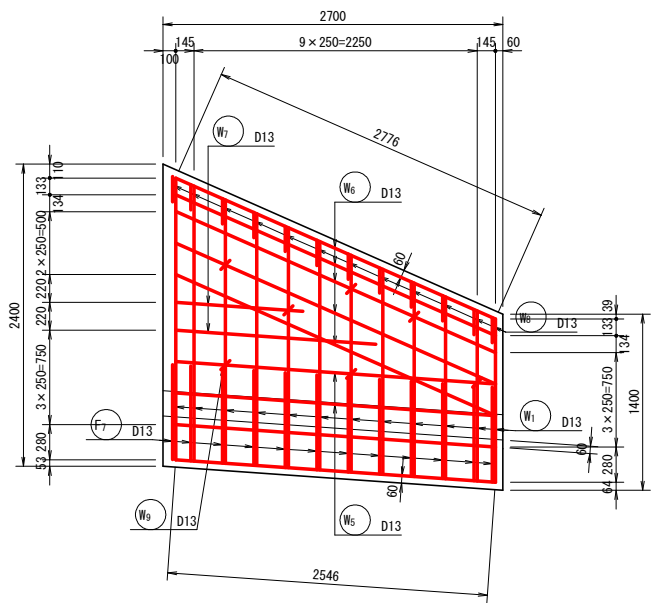
1-1



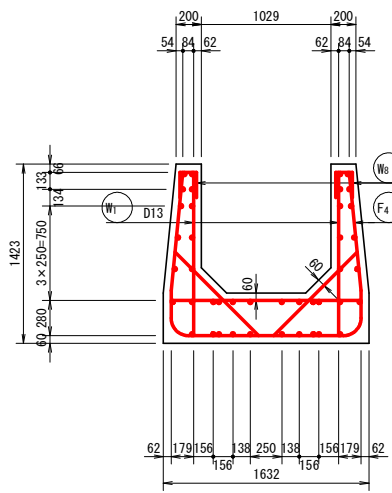
底板上面



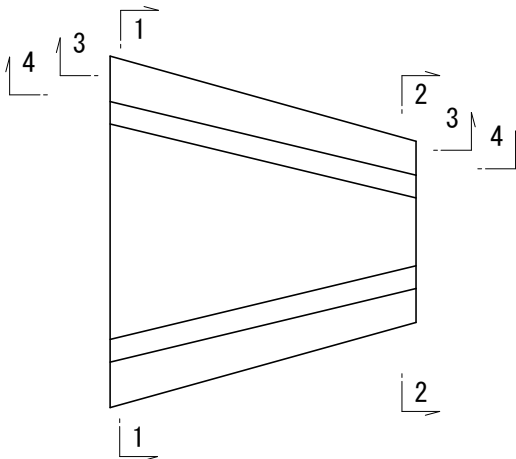
4-4
(左右共通)



2-2



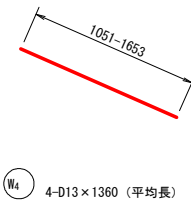
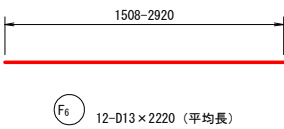
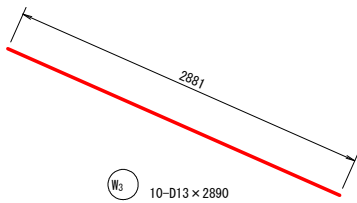
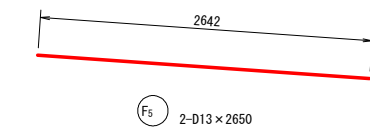
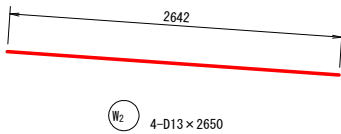
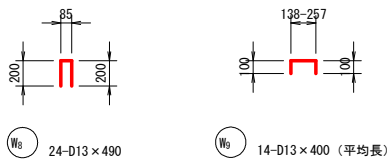
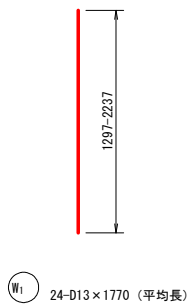
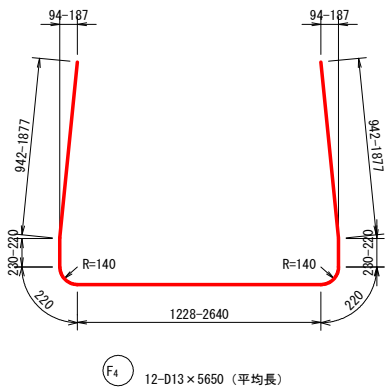
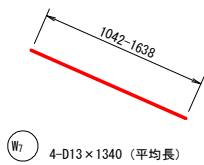
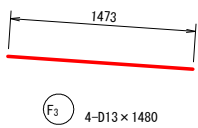
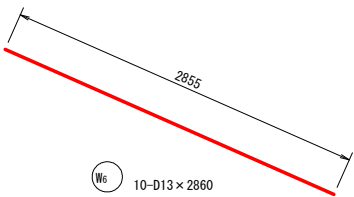
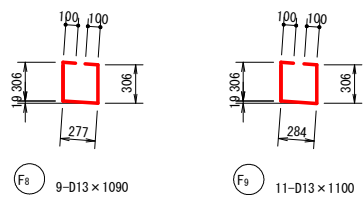
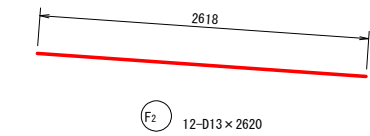
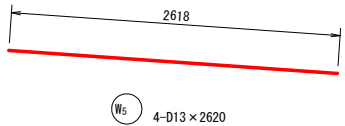
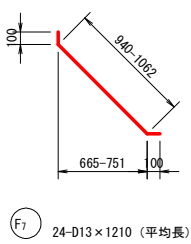
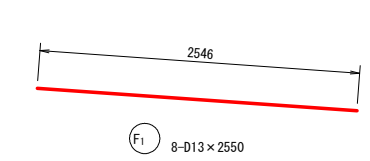
案内図



工事名	大久保下池改良工事		
図面名	取付工配筋図 1 / 2		
作成年月	2026年6月		
縮尺	1 : 30	工事名	27 / 28
事業者名	福山市 松永建設産業課		

取付工配筋図 2/2

S=1:30



鉄筋質量表 (SD295A)

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
F1	D13	2550	8	0.995	2.54	20	—
F2	"	2620	12	"	2.61	31	—
F3	"	1480	4	"	1.47	6	—
F4	"	5650	12	"	5.62	67	⌊ (平均長)
F5	"	2650	2	"	2.64	5	—
F6	"	2220	12	"	2.21	27	⌊ (平均長)
F7	"	1210	24	"	1.20	29	⌋ (平均長)
F8	"	1090	9	"	1.08	10	⌋
F9	"	1100	11	"	1.09	12	⌋
207							
W1	D13	1770	24	0.995	1.76	42	⌊ (平均長)
W2	"	2650	4	"	2.64	11	—
W3	"	2890	10	"	2.88	29	—
W4	"	1360	4	"	1.35	5	⌋ (平均長)
W5	"	2620	4	"	2.61	10	—
W6	"	2860	10	"	2.85	29	—
W7	"	1340	4	"	1.33	5	⌋ (平均長)
W8	"	490	24	"	0.49	12	⌋
W9	"	400	14	"	0.40	6	⌋ (平均長)
149							
径							質量 (kg)
D13							356
合計							356

工事名	大久保下池改良工事		
図面名	取付工配筋図 2 / 2		
作成年月	2026年6月		
縮尺	1 : 30	工事名	28 / 28
事業者名	福山市 松永建設産業課		

以下参考図書

施工単価表

床掘り
土砂 上記以外(小規模)
機械構成比: 18.73% 労務構成比: 74.16% 材料構成比: 7.11% 市場単価構成比: 0.00% 単第 0 -0001号表

1
標準単価: m3 2,247.4000 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックハウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	18.73%		バックハウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)	40.26%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	33.90%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.11%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

頁0 -0019

法面整形

盛土部 法面締固め有り 現場制約無し

機械構成比: 11.64%

SPK25040025

レキ質土,砂及び砂質土,粘性土

労務構成比: 76.42%

材料構成比: 11.94%

市場単価構成比: 0.00%

単第 0 -0002号表

1

m2

当り

標準単価: 729.9700

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	11.64%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	31.34%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	28.10%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	16.98%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.94%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 盛土部 C=2 現場制約無し E=1 -(全ての費用)			B=1 法面締固め有り D=2 レキ質土,砂及び砂質土,粘性土		

单第 0 -0003号表

1 m3 当り

[illegible]

施工単価表

機械投入(バックホウ)
土砂
機械構成比: 26.01% 労務構成比: 62.89% 材料構成比: 11.10% 市場単価構成比: 0.00%
SPK25040007 小規模(標準) 単第 0 -0004号表 1 m3 当り
標準単価: 1,093.9000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	26.01%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
運転手(特殊)	62.89%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.10%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=4 小規模(標準)		

单第 0 -0005号表

頁0 -0022

10

m3

当り

[illegible]

振動ローラ締固め(刃金土)

埋戾

頁0 -0023

m3

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0024

機-31_振動ローラ運転
ハンドガイド式 0.8~1.1t

单第 0 -0007号表

1 目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0025

振動ローラ締固め(刃金土)

1.0m $W < 2.5m$

埋戾

单第 0 -0008号表

100

m3

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0026

機-28 振動ローラ運転 (賃料)

搭乗式コンバインド型 3.0~4.0t

单第 0 -0009号表

1 日 当り

[illegible]

施工単価表

单第 0 -0010号表

1 m3 当り

[illegible]

单第 0 -0011号表

頁0 -0028

10

m3 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0029

振動ローラ締固め(流用土)

W<1.0m

埋戾

单第 0 -0012号表

100

m3

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0030

振動ローラ締固め(流用土)

1.0m $W < 2.5m$

埋戾

单第 0 -0013号表

100

m3

当り

[illegible]

施工単価表

土砂等運搬
小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)
機械構成比: 26.52% 労務構成比: 61.90% 材料構成比: 11.58% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040002
DID区間無し 距離4.0km以下(3.5km超)

単第 0 -0014号表
1
標準単価: 1,715.8000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	26.52%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	61.90%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.58%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=20 距離4.0km以下(3.5km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1 DID区間無し		

单第 0 -0015号表

頁0 -0032

[規]250m²未滿

1 m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0033

コンクリート

SPK25040157

単第 0 -0016号表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.50%

労務構成比:

34.96%

材料構成比:

61.54%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

36,531.0000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	3.31%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	10.07%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.38%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.04%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.40%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	59.80%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.65%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0034

コンクリート

SPK25040157

单第 0 -0016号表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.50%

勞務構成比：

34.96%

材料構成比: 61.54%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

36,531.0000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0035

コンクリート

SPK25040157

単第 0 -0017号表

無筋・鉄筋構造物 コンクリート(各種)

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.50% 労務構成比:

34.96%

材料構成比: 61.54%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

36,531.0000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	3.31%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	10.07%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.38%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.04%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.40%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 21-8-20(25)(BB)	59.80%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		F0000000002 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.65%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0036

コンクリート

SPK25040157

单第 0 -0017号表

無筋・鉄筋構造物 コンクリート(各種)

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.50% 労務構成比:

34.96%

材料構成比: 61.54%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

36,531.0000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0037

鉄筋工

SD295 D13

一般構造物 [規]10t未滿

单第 0 -0018号表

1 t 当り

[illegible]

鉄筋工

SD345 D16

一般構造物 [規]10t未滿

单第 0 -0019号表

頁0 -0038

1 t 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0039

鉄筋工

SD345 D19

一般構造物 [規]10t未滿

单第 0 -0020号表

1 t 当り

[illegible]

施工単価表

型枠
一般型枠
機械構成比: 0.00%

SPK25040159
鉄筋・無筋構造物
労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

単第 0 -0021号表

1
標準単価:

m2 当り
10,100.0000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	46.66%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	25.14%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.51%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=1 鉄筋・無筋構造物		

施工単価表

曲線型枠
一般型枠
機械構成比: 0.00%

SPK25040159
鉄筋・無筋構造物
労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

単第 0 -0022号表

1
標準単価:

m2 当り
10,100.0000

代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
型わく工		46.66%		型わく工			RTPC00010 RTPT00010
普通作業員		25.14%		普通作業員			RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役		9.51%		土木一般世話役			RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)				その他(労務)			ER009
積算単価				積算単価			EP001
A=1 C=1	一般型枠 -(全ての費用)			B=1	鉄筋・無筋構造物		

施工単価表

型枠
一般型枠
機械構成比: 0.00%

SPK25040159
均しコンクリート

単第 0 -0023号表

1
標準単価: 5,104.7000

m2 当り

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
型わく工		58.78%		型わく工			RTPC00010 RTPT00010
普通作業員		19.90%		普通作業員			RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役		6.07%		土木一般世話役			RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)				その他(労務)			ER009
積算単価				積算単価			EP001
A=1 C=1	一般型枠 -(全ての費用)			B=5	均しコンクリート		

施工単価表

目地板

1工事当り使用量30m2未満

機械構成比：0.00%

SPK25040118

瀝青繊維質目地板t=10mm

労務構成比：64.40%

材料構成比：35.60%

市場単価構成比：0.00%

単第 0 -0024号表

1

標準単価：4,077.3000

m2

当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	47.36%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	16.72%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
目地板 瀝青繊維質板 厚10mm	35.60%		瀝青繊維質目地板 厚さ10mm		TTPC00199 TTPT00199
積算単価			積算単価		EP001
A=11工事当り使用量30m2未満			B=1瀝青繊維質目地板t=10mm		

施工単価表

止水板
幅CF200×厚さ5mm(塩ビ製)

SPK25040119

単第 0 -0025号表

1
m 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 55.88%

材料構成比: 44.12%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 2,958.6000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	41.22%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	14.66%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
止水板-塩ビ製- CF(センターバルブ形フラット) 幅200mm,厚5mm	44.12%		塩ビ製止水板 CF 幅200×厚さ5mm		TTPC00198 TTPT00198
積算単価			積算単価		EP001
A=1 幅CF200×厚さ5mm(塩ビ製)					

ダウエルバー取付
異形棒鋼

D 1 6

施 工 単 価 表

単第 0 -0026号表

頁0 -0045

10

本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
異形棒鋼<JISG3112> SD295,D16 単位質量1.56kg/m	0.016	t			
硬質塩化ビニル管 一般管VP径20長4.0m	1.25	本			
土木一般世話役	0.03	人			
普通作業員	0.14	人			
諸雑費	1	式			
* * * 合 計 * * *	10	本			
* * 単位当り * *	1	本			
A=1 D 1 6					

施 工 単 価 表

頁0 -0046

手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場
単管傾斜足場

単第 0 -0027号表

100

掛m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.500	人			
とび工	4.500	人			
普通作業員	2.700	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1～3,2011,2014	0.800	日			
諸雑費	33	%			
＊ ＊ ＊ 合 計 ＊ ＊ ＊	100	掛m2			
＊ ＊ 単位当り ＊ ＊	1	掛m2			
A=3 単管傾斜足場 C=0 潮待割増			B=1 安全ネットを設置しない		

止水壁

頁0 -0047

单第 0 -0028号表

1 式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0048

コンクリート

SPK25040157

単第 0 -0029号表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 28.68% 材料構成比: 71.32% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 30,615.0000

代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
普通作業員		12.85%		普通作業員			RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員		7.30%		特殊作業員			RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役		6.58%		土木一般世話役			RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)				その他(労務)			ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)		71.32%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%			TTPCD0010 TTPT00343
積算単価				積算単価			E9999
A=1	無筋・鉄筋構造物			B=3	人力打設		
C=2	18-8-40BB			F=2	一般養生		
H=2	現場内小運搬無し			J=2	小型車割増有		
K=1	-(全ての費用)						

施工単価表

頁0 -0049

基面整正

SPK25040017

单第 0 -0030号表

1

m2 当り

機械構成比:	0.00%	労務構成比:	100.00%	材料構成比:	0.00%	市場単価構成比:	0.00%	標準単価:	508.0000
--------	-------	--------	---------	--------	-------	----------	-------	-------	----------

[illegible]

施 工 単 価 表

頁0 -0050

ウィーブホール取付

単第 0 -0031号表

型枠及び鉄筋 側壁 5 0 mm 集水

10

箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ウィーブホール φ 50 L=150 ~ 500mm	10.0	個			
土木一般世話役	0.02	人			
普通作業員	0.18	人			
ウィーブホール用フィルタ φ 50	10.0	個			
普通作業員	0.04	人			
諸雑費	1	式			
* * * 合 計 * * *	10	箇所			
* * 単位当り * *	1	箇所			
A=1 D=470 型枠及び鉄筋 側壁 5 0 mm 集水 フィルタ単価 (円 / 個)			C=1030	ウィーブホール単価 (円 / 個)	

施 工 単 価 表

頁0 -0051

サイド・アンダードレーン工（サイドドレーン）
再生クラッシャーラン（RC - 40）

単第 0 -0032号表

小型車割増あり

10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
再生クラッシャーラン 40～0mm	1.13	m3			0.9*1.25
土木一般世話役	0.06	人			
普通作業員	0.44	人			
諸雑費	8.00	%			
合計	10	m			
単位当り	1	m			
A=6 再生クラッシャーラン（RC - 40） C=3120 砕石単価（円 / m3）			B=1	単価0円区分（フィルター材）する	

施工単価表

頁0 -0052

鉄筋工

SD295 D13

一般構造物 [規]10t未滿

单第 0 -0033号表

1 t 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0053

鉄筋工

SD345 D19

一般構造物 [規]10t未滿

单第 0 -0034号表

1 t 当り

[illegible]

鉄筋工

SD345 D19(アンカー)

一般構造物 [規]10t未滿

单第 0 -0035号表

頁0 -0054

1 t 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0055

パイプサポート支保(小規模)

支保耐力 40kN/m²以下

総設置数量40空m3以下

单第 0 -0036号表

10

空m3 当り

[illegible]

施工単価表

目地板
1工事当り使用量30m2未満
機械構成比：0.00%

SPK25040118
瀝青繊維質目地板 t=20mm
労務構成比：64.40%

材料構成比：35.60%

市場単価構成比：0.00%

単第 0 -0037号表

1
標準単価：4,077.3000

m2 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	47.36%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	16.72%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
目地板 瀝青繊維質板 厚20mm	35.60%		瀝青繊維質目地板 厚さ10mm		TTPCD0150 TTPT00199
積算単価			積算単価		EP001
A=1 1工事当り使用量30m2未満			B=6 瀝青繊維質目地板 t=20mm		

施工単価表

頁0 -0057

横断・転落防止柵 アンカーボルト固定

材料費(各種)

[規]100m未滿

单第 0 -0038号表

1 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0058

現場打基礎コンクリート

SPK25040050

単第 0 -0039号表

18-8-40BB

基礎砕石無し

1

m3 当り

機械構成比: 1.69%

労務構成比:

67.42%

材料構成比:

30.89%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

71,052.0000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	1.69%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
型わく工	20.75%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	16.42%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	10.47%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	9.55%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	29.74%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.97%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0059

現場打基礎コンクリート

SPK25040050

单第 0 -0039号表

18-8-40BB

基礎碎石無し

1

m3 当り

機械構成比: 1.69%

勞務構成比：

67.42%

材料構成比: 30.89%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

71,052.0000

[illegible]

施 工 単 価 表

頁0 -0060

コンクリートブロック積工(練積)
滑面ブロック

18-8-40BB

単第 0 -0040号表

1 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
昼間_ブロック積工【手間のみ】	1.000	m2			
時間的制約なし					
コンクリート積みブロック-滑面-<JISA5371> 280×420×350,参考質量41.2kg以上 8.5個/m2	17.000	個			
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	0.246	m3			
レディーミクストコンクリート 小型車割増	0.246	m3			
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	0.112	m3			
レディーミクストコンクリート 小型車割増	0.112	m3			
諸雑費	1	式			
＊ ＊ 単位当り ＊ ＊	1	m2			
A=1 昼間施工 C=1 18-8-40BB F=1 18-8-40BB			B=1 - E=2 小型車割増有 H=0.1 裏込コンクリートの厚さ(m) K=17 ブロックm2当り使用量(個/m2)		
I=1 滑面ブロック L=1 時間的制約なし					

施工単価表

頁0 -0061

胴込・裏込材(砕石)

SPK25040046

単第 0 -0041号表

間知・平・連節・緑化ブロック

RC-40

1

m3 当り

機械構成比: 9.31%

労務構成比: 67.69%

材料構成比: 23.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

7,183.4000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	9.31%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
普通作業員	35.39%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.69%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	12.06%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40~0mm	18.87%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	4.13%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 間知・平・連節・緑化ブロック			B=1 RC-40		

施工単価表

頁0 -0062

胴込・裏込材(碎石)

SPK25040046

单第 0 -0041号表

間知・平・連節・緑化ブロック

RC-40

1

m3 当り

機械構成比: 9.31%

勞務構成比：

67.69%

材料構成比: 23.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

7,183.4000

[illegible]

施工単価表

单第 0 -0042号表

1 箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0064

コンクリート

SPK25040157

単第 0 -0043号表

小型構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 41.15%

材料構成比: 58.85%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

36,756.0000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	22.25%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.19%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	7.69%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	58.85%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=2 小型車割増有		

施工単価表

型枠
一般型枠
機械構成比: 0.00%

SPK25040159
小型構造物
労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

単第 0 -0044号表

1
標準単価:

m2 当り
9,147.6000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	44.28%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.82%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.86%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

溜桝200型

施 工 単 価 表

単第 0 -0045号表

頁0 -0066

1 基 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
下水桝(本体) 呼び名200 参考質量25kg	1	基			
下水桝(蓋) 呼び名200 参考質量4kg	1	枚			
蓋版 材料別途 40 重量	1	枚			単第 0-0046号表
基礎コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	0.01	m3			単第 0-0047号表
基礎砕石 砕石の厚さ7.5cm以下 RC-40	0.21	m2			単第 0-0048号表
基礎コンクリート型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	0.07	m2			単第 0-0049号表
インバートコンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	0.002	m3			単第 0-0050号表
* * 単位当り * *	1	基			

施工単価表

頁0 -0067

蓋版

材料別途 40 重量

单第 0 -0046号表

1 枚 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0068

基礎コンクリート

SPK25040157

単第 0 -0047号表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 28.68% 材料構成比: 71.32% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 30,615.0000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	12.85%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	7.30%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.58%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	71.32%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=2 小型車割増有		

施工単価表

頁0 -0069

基礎碎石
 碎石の厚さ7.5cm以下
 機械構成比: 5.65% 労務構成比: RC-40 83.06% 材料構成比: 11.29% 市場単価構成比: 0.00% 単第 0 -0048号表 1 m2 当り 標準単価: 1,191.6000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	5.62%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	39.93%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	16.86%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	15.64%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	10.06%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40~0mm	6.04%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	5.22%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0070

基礎碎石
碎石の厚さ7.5cm以下

SPK25040034

单第 0 -0048号表

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.65% 労務構成比: 83.06%

材料構成比: 11.29%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価： 1,191.6000

[illegible]

施工単価表

基礎コンクリート型枠
一般型枠
機械構成比: 0.00% 労務構成比: 100.00% 材料構成比: 0.00% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 10,100.0000

SPK25040159 鉄筋・無筋構造物 単第 0 -0049号表 1 m2 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	46.66%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	25.14%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.51%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=1 鉄筋・無筋構造物		

施工単価表

頁0 -0072

インバートコンクリート
無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB
機械構成比: 0.00% 労務構成比: 28.68% 材料構成比: 71.32% 市場単価構成比: 0.00%
SPK25040157
単第 0 -0050号表
1
標準単価: 30,615.0000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	12.85%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	7.30%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.58%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	71.32%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=2 小型車割増有		

施 工 単 価 表

頁0 -0073

硬質ポリ塩化ビニル管機械布設
直管（両差し口）V P

3 0 0 mm

単第 0 -0051号表

10

m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
硬質塩化ビニル管 一般管VP径300長4.0m	2.44	本			
土木一般世話役	0.08	人			
特殊作業員	0.16	人			
普通作業員	0.23	人			
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.45m3	0.08	日			単第 0-0052号表
諸雑費	2.00	%			
* * * 合 計 * * *	10	m			
* * 単位当り * *	1	m			
A=1 V P C=1 直管（両差し口） E=1 -			B=2 3 0 0 mm D=0 管の単価（円/本）標準単価		によらない場合

施工単価表

頁0 -0074

機-28_バックホウ運転(賃料)

クレーン付2.9t吊 山積0.45m3

单第 0 -0052号表

1日目 当日

[illegible]

施 工 単 価 表

頁0 -0075

硬質ポリ塩化ビニル管人力布設
直管（両差し口）V P

単第 0 -0053号表

10 m 当り

1 0 0 mm

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
硬質塩化ビニル管 一般管VP径100長4.0m	2.44	本			
土木一般世話役	0.08	人			
特殊作業員	0.12	人			
普通作業員	0.17	人			
諸雑費	2.00	%			
＊ ＊ ＊ 合 計 ＊ ＊ ＊	10	m			
＊ ＊ 単位当り ＊ ＊	1	m			
A=1 V P C=1 直管（両差し口）			B=10 1 0 0 mm D=1 -		

施工単価表

頁0 -0076

上層路盤(車道・路肩部)

SPK25040235

単第 0 -0054号表

全仕上り厚100mm 1層施工

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.72%

労務構成比: 18.33%

材料構成比: 75.95%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,289.3000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	3.95%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.49%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13～14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	0.49%		<賃>タイヤローラ 質量13～14t		KTPC00074 KTPT00074
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	8.06%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	2.95%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	2.63%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	2.16%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0077

上層路盤(車道・路肩部)

全仕上り厚100mm 1層施工

機械構成比: 5.72%

労務構成比: 18.33%

材料構成比: 75.95%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 1,289.3000

RC-40

SPK25040235

単第 0 -0054号表

1

m2

当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生クラッシャー 40～0mm	74.21%		クラッシャー 40～0mm [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00008 TTPT00346
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.50%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 D=1 全仕上り厚(mm) -(全ての費用)			B=4 RC-40		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施 工 単 価 表

頁0 -0078

コンクリート舗装（人力）
圧縮18N/mm2粗骨材20mm（BB）スランプ8cm

舗装厚10cm

単第 0 -0055号表

100

m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.50	人			
特殊作業員	1.10	人			
普通作業員	2.10	人			
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	10.60	m3			10*1.06
諸雑費	2.00	%			
合計	100	m2			
単位当り	1	m2			
A=2 圧縮18N/mm2粗骨材20mm（BB）スランプ8cm C=0 生コンクリート単価(円)(普通コンクリート単価)			B=10 舗設厚（cm） D=2 小型車割増あり		

施工単価表

頁0 -0079

構造物とりこわし工(無筋構造物)

機械施工

单第 0 -0056号表

1 m3 当り

施工単価表

頁0 -0080

構造物とりこわし工(鉄筋構造物)

機械施工

单第 0 -0057号表

1

m3

当り

[illegible]

施工単価表

掘削
土砂 上記以外(小規模)
機械構成比: 26.01% 労務構成比: 62.89% 標準
SPK25040001
材料構成比: 11.10% 市場単価構成比: 0.00% 単第 0 -0058号表
1
標準単価: 1,241.0000 m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	26.01%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
運転手(特殊)	62.89%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	11.10%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=7 標準			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

頁0 -0082

殻運搬
Co(無筋)構造物とりこわし
機械構成比: 40.77% 労務構成比: 44.82% 材料構成比: 14.41% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040155
DID区間無し 運搬距離5.7km以下(3.3km超)

単第 0 -0059号表
1
標準単価: 1,316.6000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	40.77%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	44.82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.41%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=25 運搬距離5.7km以下(3.3km超)		

施工単価表

頁0 -0083

殻運搬
Co(鉄筋)構造物とりこわし
機械構成比: 40.77% 労務構成比: 44.82% 材料構成比: 14.41% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040155
DID区間無し 運搬距離10.9km以下(8.0km超)

単第 0 -0060号表
1
標準単価: 2,211.8000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	40.77%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	44.82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.41%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 Co(鉄筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=44 運搬距離10.9km以下(8.0km超)		

施工単価表

单第 0 -0061号表

頁0 -0084

1 式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0085

路体(築堤)盛土・埋戻
施工幅員2.5m以上4.0m未満

SPKN2504004

単第 0 -0062号表

1
m3 当り
標準単価： 857.6000

機械構成比： 15.30% 労務構成比： 76.16% 材料構成比： 8.54% 市場単価構成比： 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックハウ(クローラ型) 山積0.28m3(平積0.2) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	8.01%		バックハウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00054 KTPT00054
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	7.29%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
運転手(特殊)	67.28%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	8.88%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	8.54%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 施工幅員2.5m以上4.0m未満					

施工単価表

頁0 -0086

砂利舗装工
敷均し幅2.5m以上

バックホウ敷均し

敷均し

小型車割増あり

単第 0 -0063号表

100

m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.20	人			
普通作業員	0.62	人			
再生クラッシャー 40～0mm	11.60	m3			
機-1_バックホウ運転 クローラ[標準]山積0.28m3 (平積0.2m3) 排出ガス対策型2次基準	2.50	時間			単第 0-0064号表
諸雑費	1	式			
合計	100	m2			
単位当り	1	m2			
A=3 敷均し幅2.5m以上 C=1 敷均し E=3 再生クラッシャー R C - 40 G=2 舗設材単価 0 円区分：なし			B=3 バックホウ敷均し D=1 舗装面仕上げ無し F=10 敷砂利仕上がり厚さ(cm) H=3120 敷材単価(円)(G = 2 の時)		

施工単価表

頁0 -0087

機-1 バックホウ運転

クロール[標準]山積0.28m³ (平積0.2m³)

排出ガス対策型2次基準

单第 0 -0064号表

1

時間 当り

[illegible]

数量総括表

数量総括表

(大久保下池)

NO. 1

工 種	種 別	細 別	単位	数量計算値	設計数値	摘 要
洪水吐工						
土工						
	床掘	小規模	m3	241.2	240	土工集計表より
	埋戻(構造物廻り0)	刃金土	m3	11.4	11	〃
	埋戻(W<1.0)	刃金土	m3	10.5	11	〃
	埋戻(1.0≦W<2.5)	刃金土	m3	13.3	13	〃
	埋戻(構造物廻り0)	流用土・ランダム材	m3	31.5	32	〃
	埋戻(W<1.0)	流用土	m3	19.0	19	〃
	埋戻(1.0≦W<2.5)	流用土	m3	62.7	63	〃
	法面整形	盛土仕上	m2	52.1	52	〃
	購入土	ほぐし ランダム材	m3	28.0	28	土量配分表より
	購入土	ほぐし 刃金土	m3	46.9	47	〃
	残土処分	土砂	m3	138.9	140	〃
法面工						
	張芝工		m2	52.1	52	法面工集計表より
構造物取壊工						
	コンクリート取壊工	無筋	m3	20.3	20	取壊し工集計表より
	コンクリート取壊工	鉄筋	m3	0.1	0.1	〃
	石積取壊工	小規模	m3	3.2	3	10.8×0.30
	殻運搬	Co無筋	m3	20.3	20	取壊し工集計表より
	殻運搬	Co鉄筋	m3	0.1	0.1	〃
	殻運搬	石積 t=30cm	m3	3.2	3.2	〃
	処分	Co無筋	t	47.7	48	〃
	処分	Co鉄筋	t	0.3	0.3	〃
	処分	石積 t=30cm	m3	3.2	3.2	〃
洪水吐工						
	鉄筋コンクリート	21N/mm2	m3	56.0	56	洪水吐工集計表より
	型枠	鉄筋	m2	199.4	199	〃
	曲線型枠	鉄筋	m2	4.6	4.6	〃
	基礎コンクリート	18N/mm2	m3	6.4	6.4	〃
	均しコン型枠		m2	6.5	6.5	〃
	鉄筋SD295A	D13	t	3.000	3.00	〃

数量総括表

(大久保下池)

NO. 2

工 種	種 別	細 別	単位	数 量	設計数値	摘 要
	鉄筋SD295A	D16	t	0.100	0.100	洪水吐工集計表より
	鉄筋SD345	D19	t	0.747	0.747	〃
	足場工	単管傾斜足場	掛m2	41.5	42	〃
	止水板	W=200	m	42.6	42.6	〃
	目地材	t=10mm	m2	16.2	16	〃
	ダウエルバー	D16 L=1000	本	136.0	136	〃
	サイドドレーン	RC-40	m	10.8	10.8	〃
	ウィーブホール	φ 50	箇所	9.0	9	〃
止水壁						
	コンクリート	18N/mm2	m3	2.6	2.6	洪水吐工集計表より
	型枠	無筋	m2	8.7	8.7	〃
	止水板	W=200	m	7.4	7.4	〃
	床堀	土砂・小規模	m3	1.2	1	〃
床版工						
	鉄筋コンクリート	21N/mm2	m3	2.7	2.7	洪水吐工集計表より
	型枠	鉄筋	m2	15.4	15	〃
	鉄筋SD295A	D13	t	0.067	0.067	〃
	鉄筋SD345	D19	t	0.208	0.208	〃
	鉄筋SD345	D19(アンカー)	t	0.007	0.007	〃
	コンクリート削孔	さく岩機	孔	4	4	〃
	支承材	t=20mm	m2	1.6	1.6	〃
	支保工		空m3	17.6	18	〃
	転落防止柵	ベースプレート用	m	6.9	6.9	〃
ブロック積擁壁						
	練積ブロック	控0.35 裏コンなし	m2	4.8	5	洪水吐工集計表より
	裏込碎石	RC-40	m3	1.8	2	〃
	基礎工	A300-B450	m3	0.2	0.2	1.088×2/10
	小口止工		箇所	1.0	1	〃
舗装工						
	コンクリート舗装	t=10cm	m2	70.6	71	舗装工集計表より
	路盤工	RC-40 t=10cm	m2	68.6	69	〃
防護柵工						
(再利用)	転落防止柵	H=1.1m 土中用	m	11.8	12	防護柵工集計表より

(大久保下池)

[illegible]

大久保下池

土量配分表

(単位:m3)

洪水吐工	掘削(土砂)	241.2
	計	241.2

241.2-125.8=

流用土(地山土量)

埋戻(構造物廻り)	31.5 ÷ 0.9=	35.0
埋戻(1.0<W)	19.0 ÷ 0.9=	21.1
埋戻(1.0≦W<2.5)	62.7 ÷ 0.9=	69.7
計		125.8

刃金土(締固め土量)

埋戻(構造物廻り)	11.4	11.4
埋戻(1.0<W)	10.5	10.5
埋戻(1.0≦W<2.5)	13.3	13.3
計		35.2

購入土(ランダム材)(締固め土量)

盛土	21.0	21.0
計		21.0

残土(土砂) 115.4

購入土(刃金土) 35.2

購入土(ランダム材) 21.0

残土(土砂) 23.5

残土(土砂) 138.9

購入土(ランダム材) 28.0

購入土(刃金土) 46.9

変化率:砂質土 L=1.20

C=0.90

21.0/0.9×1.2=

35.2/0.9×1.2=

洪水吐工数量計算書

[illegible]

[illegible]

[illegible]

計第 表					取壊し工					計 算 書				
測 点	コンクリート(無筋)								摘 要					
	距 離	断 面 積	平 均	立 積	距 離	断 面 積	平 均	立 積						
		0.3												
NO.0	2.0	0.3	0.30	0.6										
NO.0		0.3												
+2.3	2.3	0.3	0.30	0.7										
+6.3	4.0	1.3	0.80	3.2										
BC.1	4.1	1.9	1.60	6.6										
SP.1	1.9	1.5	1.70	3.2										
EC.1	1.9	0.6	1.05	2.0										
+17.253	3.1	0.8	0.70	2.2										
+19.953	2.7	0.5	0.65	1.8										

取壊し工					計 算 書				
測 点	石積 t=30cm				コンクリート(鉄筋)				摘 要
	距 離	断 面 積	平 均	平 積	距 離	断 面 積	平 均	立 積	
		2.6							
堤体上流	2.0	2.6	2.60	5.2		ヒューム管	600		
		1.0				$0.625 \times \pi \times 0.05 =$		0.1	
堤体下流	5.6	1.0	1.00	5.6					
				m2				m3	
計	7.6			10.8				0.1	

[illegible]

計第		舗装工				計 算 書			
測 点	コンクリート舗装 t=10cm				路盤工 RC-40 t=10cm				摘 要
	距 離	断 面 積	平 均	平 積	距 離	断 面 積	平 均	平 積	
		3.8				3.8			
NO.0	2.0	3.8	3.80	7.6	2.0	3.8	3.80	7.6	
NO.0		3.8				3.8			
+2.3	2.3	3.5	3.65	8.4	2.3	3.5	3.65	8.4	
+6.3	4.0	4.0	3.75	15.0	4.0	4.2	3.85	15.4	
BC.1	4.1	4.0	4.00	16.4	4.1	4.0	4.10	16.8	
SP.1	4.0	3.8	3.90	15.6	4.0	3.1	3.55	14.2	
EC.1	4.0	0.0	1.90	7.6	4.0	0.0	1.55	6.2	
+17.253	3.1				3.1				
+19.953	2.7				2.7				
				m2				m2	
計	26.2			70.6				68.6	

[illegible]

防護柵工					計 算 書				
測 点	転落防止柵 H=1.1m								
	距 離	断面積	平 均	延 長	距 離	断面積	平 均	個 数	摘 要
堤体上流側				6.0					
堤体下流側				5.8					
				m					
計				11.8					

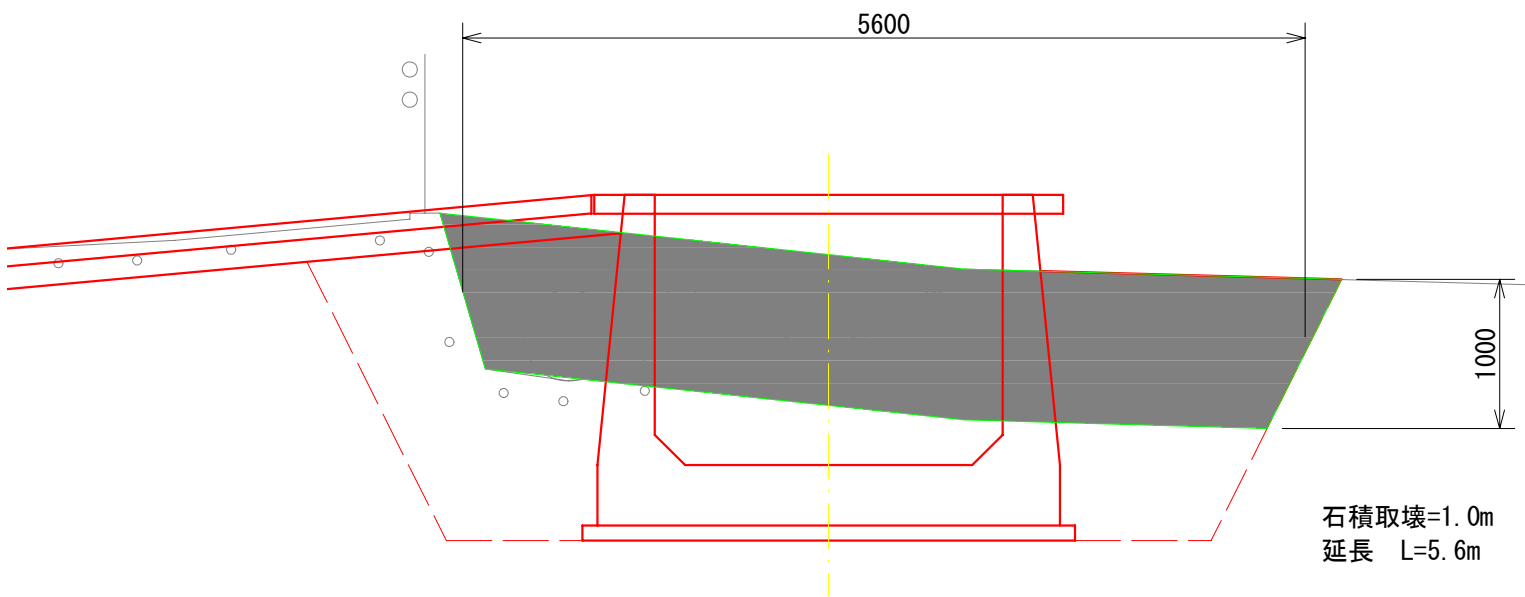
[illegible]

[illegible]

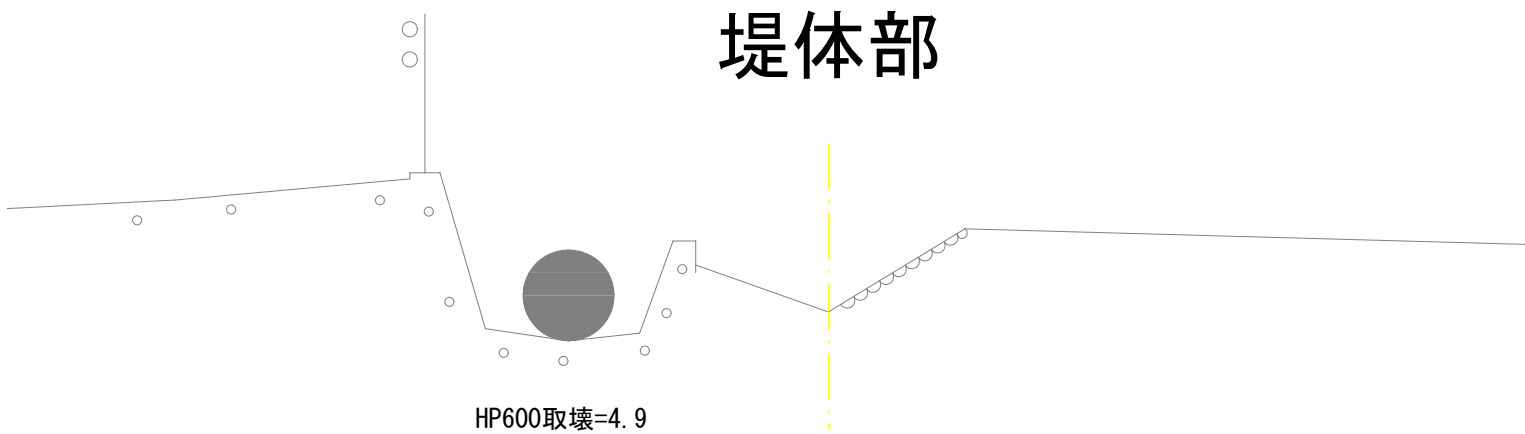
[illegible]

工事用道路 設置					計 算 書				
測 点	敷碎石 RC-40 t=10cm								摘 要
	距 離	断 面 積	平 均	平 積	距 離	断 面 積	平 均	立 積	
		3.0							
	10.0	3.0	3.00	30.0					
				m2					
計	10.0			30.0					

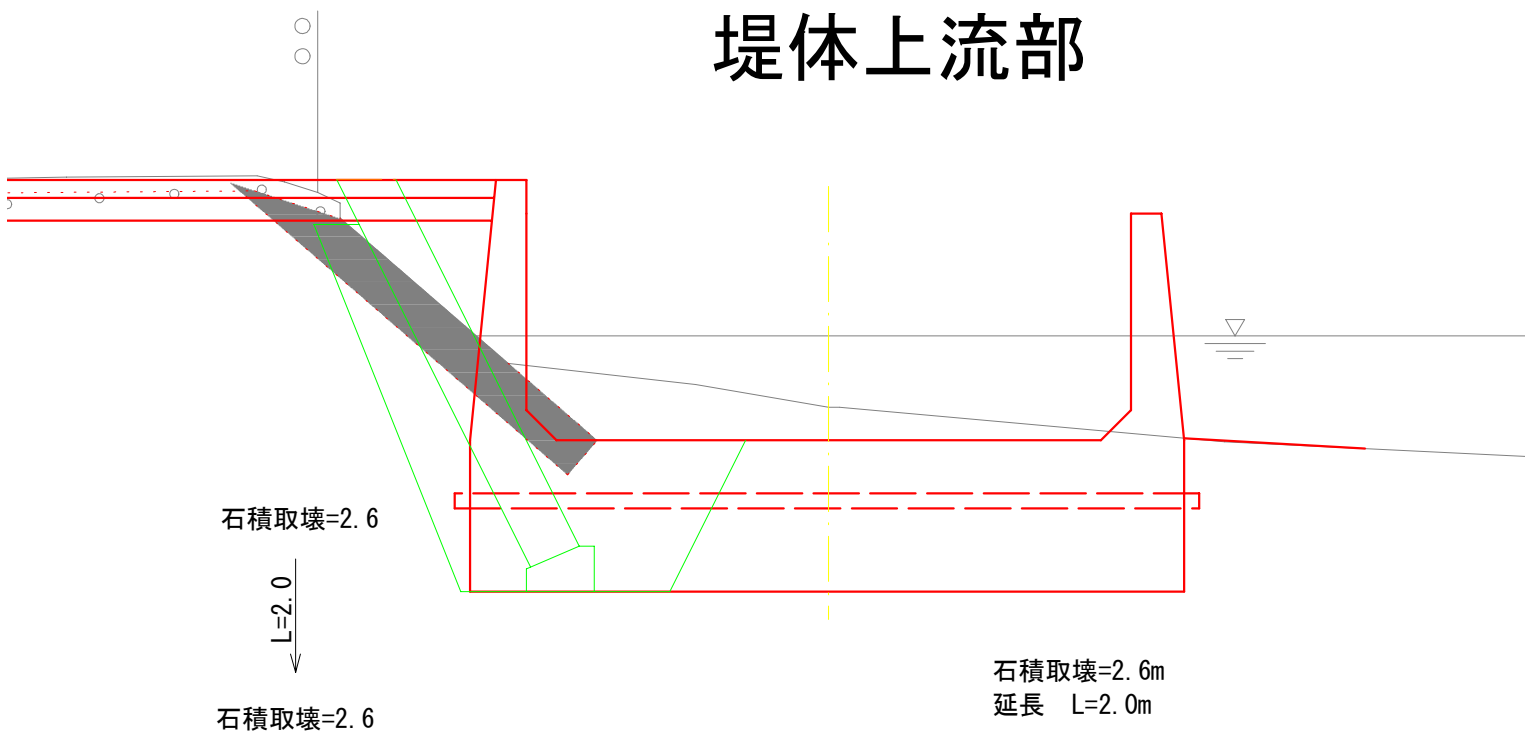
堤体下流部



堤体部



堤体上流部



計第 表

数量集計表

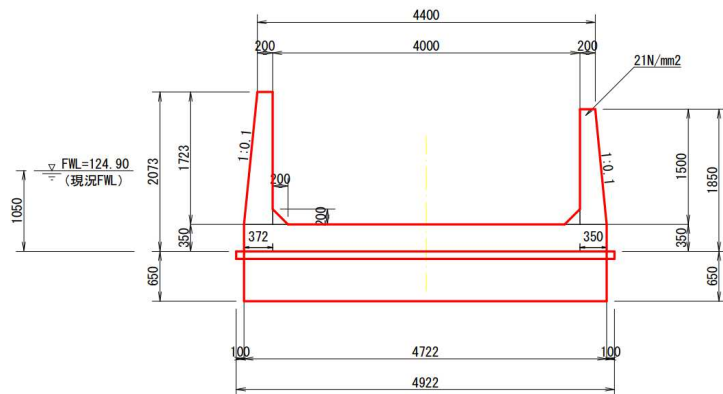
項 目	規 格	単 位	流入部	移行部	急流部1	急流部2	急流部3	減勢工	取付工	その他	計	備 考
鉄筋コンクリート	21N/mm2	m3	9.781	9.728	11.315	5.559	5.322	9.328	4.941		55.974	
型枠	鉄筋	m2	30.099	29.505	39.991	21.693	20.793	37.250	20.029		199.360	
曲線型枠	鉄筋	m2	4.608								4.608	
基礎コンクリート	18N/mm2	m3	0.822	1.409	1.385	0.637	0.633	0.845	0.689		6.420	
均しコン型枠		m2	0.827	1.181	1.155	0.715	0.715	1.175	0.720		6.488	
鉄筋SD295A	D13	t	0.527	0.576	0.512	0.283	0.286	0.485	0.356		3.025	
鉄筋SD295A	D16	t		0.100							0.100	
鉄筋SD345	D19	t			0.311	0.222	0.214				0.747	
足場工	単管傾斜足場	掛m2			14.814	14.288	12.436				41.538	
止水板	W=200	m	7.550	6.180	7.450	7.450	6.960	6.960			42.550	
目地材	t=10mm	m2	2.510	2.210	2.980	2.980	2.720	2.720			16.120	
ダウエルバー	D16 L=1000	個	25.000	19.000	25.000	25.000	21.000	21.000			136.000	
サイドドレーン	砕石5-25	m			3.500	2.400	2.400	2.500			10.800	
ウィーブホール	φ50	個			3.000	2.000	2.000	2.000			9.000	
止水壁		箇所								1.000	1.000	
床版工		式								1.000	1.000	
ブロック積み		式								1.000	1.000	

洪水吐工 数 量 計 算 書

名 称 流入部				
名 称	規 格	算 式	数 量	単位
コンクリート	21N/mm2	$(2.598 + 2.510) \times 1/2 \times 2.30 + 0.535 + 1.420 + 1.952$	9.781	m3
型枠	鉄筋	$(7.328 + 6.881) \times 1/2 \times 2.30 + 4.938 + 3.671 + 2.552 + 2.598$	30.099	m2
基礎コンクリート	18N/mm2	$(0.492 + 0.490) \times 1/2 \times (2.300 - 0.625)$	0.822	m3
基礎コン型枠	均しコン型枠	$(0.200 + 0.200) \times 1/2 \times (2.300 - 0.625) + 0.492$	0.827	m2
鉄筋SD295A	D13	鉄筋質量表より	0.527	t
鉄筋SD345	D19		—	t
足場工	単管足場		—	掛m2
止水板	W=200	7.550	7.550	m
目地材	エラスチック フィラー t=10mm	2.510	2.510	m2
ダウエルバー	D16	25.000	25.000	本
曲線型枠	鉄筋	4.608	4.608	m2
		数量内訳		
		本体工＋ウイング＋カットオフ＋越流堰＋端部型枠		

名 称 流入部 (1-1断面)

1-1断面（流入部）



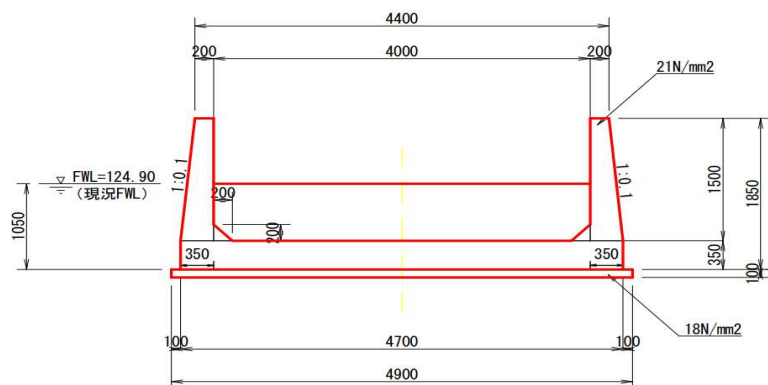
断面当り

[illegible]

洪水吐工数量計算書

名 称 流入部 (2-2断面)

2-2断面（流入部）

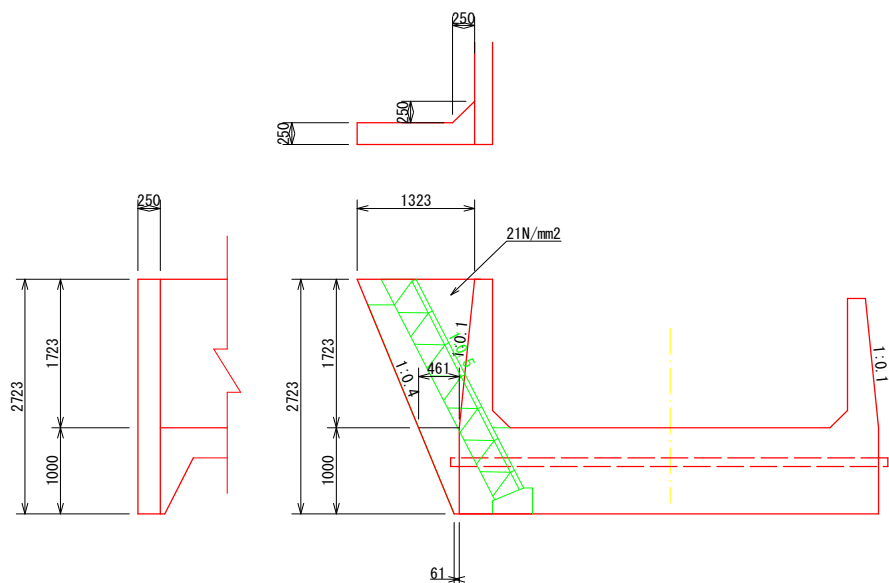


断面当り

[illegible]

洪水吐工数量計算書

名 称 流入部（ウイング）



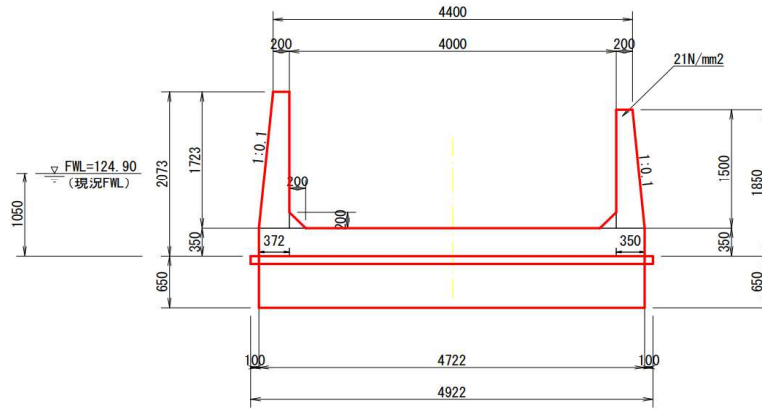
1箇所当り

[illegible]

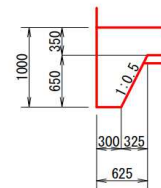
洪水吐工数量計算書

名 称 流入部（カットオフ）

1-1断面 (流入部)



カットオフ S=1:50

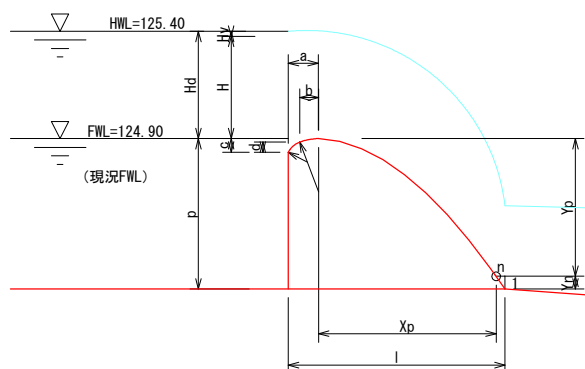


1箇所当り

[illegible]

洪水吐工数量計算書

名 称 流入部（越流堰）



ハロルド曲線

No	Xp	Yp
1	0.100	0.013
2	0.200	0.046
3	0.300	0.097
4	0.400	0.166
5	0.500	0.251
6	0.600	0.351
7	0.700	0.467
8	0.800	0.598
9	0.830	0.641

寸法表 (mm)

記号	値	記号	値
a	0.140	n	0.700
b	0.087	Hd	0.498
c	0.063	H	0.477
d	0.016	Hv	0.021
r1	0.249	P	0.700
r2	0.100	l	1.012
Xp	0.830	Yn	0.059
Yp	0.641		

堰の断面数量 (m当り)

名称	単位	数量
コンクリート	m3	0.488
型枠（直線）	m2	0.638
型枠（曲線）	m2	1.152

1箇所当り

[illegible]

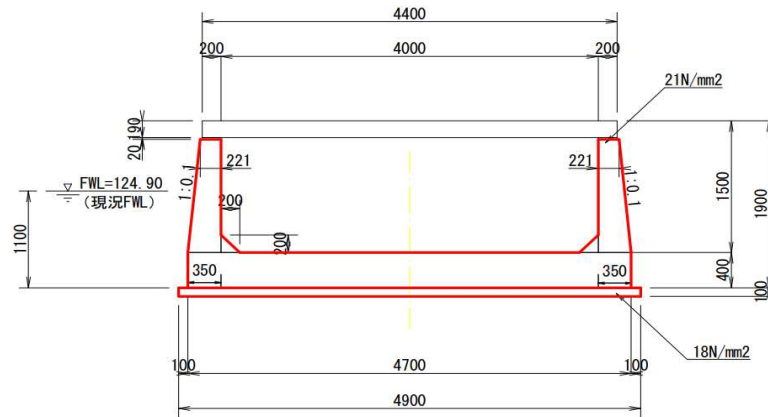
洪水吐工 数 量 計 算 書

名 称 移行部				
名 称	規 格	算 式	数 量	単位
コンクリート	21N/mm2	$(2.657 + 2.207) \times 1/2 \times 4.00$	9.728	m3
型枠	鉄筋	$(6.139 + 7.285) \times 1/2 \times 4.00 + 2.657$	29.505	m2
基礎コンクリート	18N/mm2	$(0.490 + 0.326) \times 1/2 \times 3.454$	1.409	m3
基礎コン型枠	均しコン型枠	$(0.200 + 0.200) \times 1/2 \times 3.454 + 0.490$	1.181	m2
鉄筋SD295A	D13	鉄筋質量表より	0.576	t
鉄筋SD295A	D16	鉄筋質量表より	0.100	t
足場工	単管足場		—	掛m2
止水板	W=200	6.180	6.180	m
目地材	エラスチック フィラー t=10mm	2.210	2.210	m2
ダウエルバー	D16	19.000	19.000	本
止水壁		1.000	1.000	箇所
床版工		1.000	1.000	式
		数量内訳		
		本体工+端部型枠		
		基礎コン延長（本体工－止水壁＝）		
		$4.000 - 0.546 = 3.454$		

洪水吐工数量計算書

名 称 移行部 (2-2断面)

2-2断面（移行部）

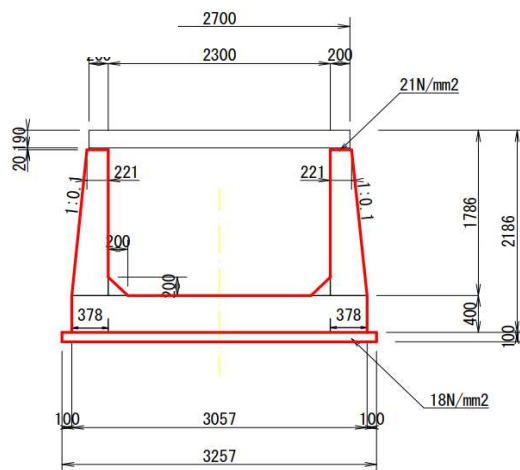


断面当り

[illegible]

名 称 移行部 (3-3断面)

3-3断面（移行部）



断面当り

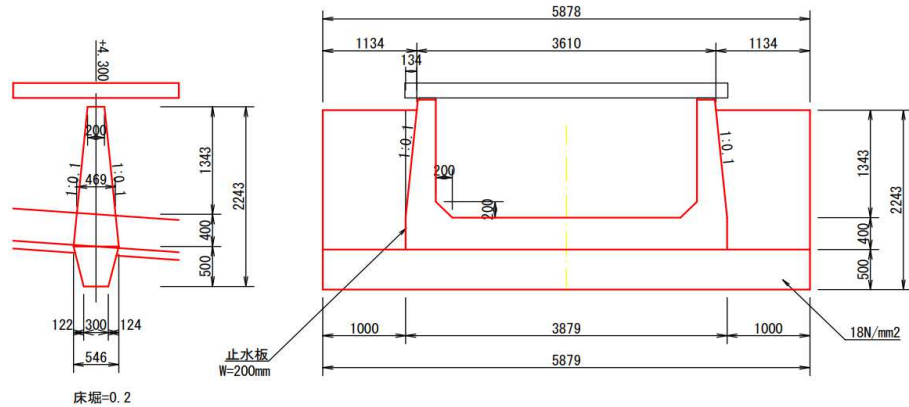
[illegible]

洪水吐工数量計算書

名 称 移行部（止水壁）

止水壁

S=1:50



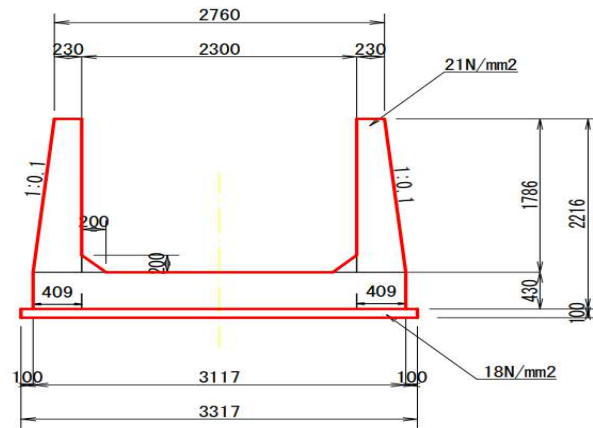
1箇所当り

[illegible]

洪水吐工 数 量 計 算 書				
名 称 急流部1				
名 称	規 格	算 式	数 量	単位
コンクリート	21N/mm2	$(2.522 + 2.976) \times 1/2 \times 4.116$	11.315	m3
型枠	鉄筋	$(8.187 + 10.020) \times 1/2 \times 4.116 + 2.521$	39.991	m2
基礎コンクリート	18N/mm2	$(0.332 + 0.341) \times 1/2 \times 4.116$	1.385	m3
基礎コン型枠	均しコン型枠	$(0.200 + 0.200) \times 1/2 \times 4.116 + 0.332$	1.155	m2
鉄筋SD295A	D13	鉄筋質量表より	0.512	t
鉄筋SD345	D19	鉄筋質量表より	0.311	t
足場工	単管足場	$(4.000 + 5.400) \times 1/2 \times 3.152$	14.814	掛m2
止水板	W=200	7.450	7.450	m
目地材	エラスチック フィラー t=10mm	2.980	2.980	m2
ダウエルバー	D16	25.000	25.000	本
サイドドレーン		3.500	3.500	m
ウイープホール	φ 50	3.000	3.000	個
		数量内訳		
		本体工＋端部型枠		
		足場延長 L=3.152m 案分計算より		

名 称 急流部1 (3-3断面)

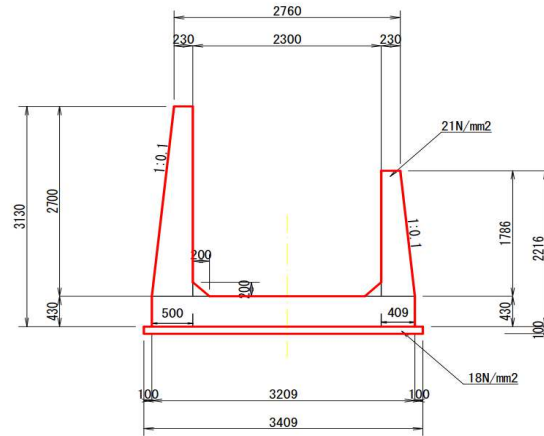
3-3断面（急流部1）



断面当り

[illegible]

4-4断面（急流部1、急流部2）

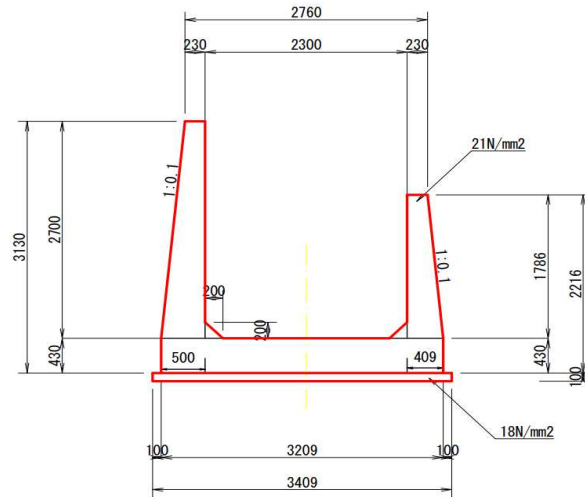
[illegible]

洪水吐工 数 量 計 算 書				
名 称 急流部2				
名 称	規 格	算 式	数 量	単位
コンクリート	21N/mm2	$(2.976 + 2.976) \times 1/2 \times 1.868$	5.559	m3
型枠	鉄筋	$(10.020 + 10.020) \times 1/2 \times 1.868 + 2.976$	21.693	m2
基礎コンクリート	18N/mm2	$(0.341 + 0.341) \times 1/2 \times 1.868$	0.637	m3
基礎コン型枠	均しコン型枠	$(0.200 + 0.200) \times 1/2 \times 1.868 + 0.341$	0.715	m2
鉄筋SD295A	D13	鉄筋質量表より	0.283	t
鉄筋SD345	D19	鉄筋質量表より	0.222	t
足場工	単管足場	$(5.400 + 5.400) \times 1/2 \times 2.646$	14.288	掛m2
止水板	W=200	7.450	7.450	m
目地材	エラスチック フィラー t=10mm	2.980	2.980	m2
ダウエルバー	D16	25.000	25.000	本
サイドドレーン		2.400	2.400	m
ウイープホール	φ 50	2.000	2.000	個
		数量内訳		
		本体工+端部型枠		
		足場延長 L=2.646m たて壁外側延長		

洪水吐工 数 量 計 算 書

名 称 急流部2 (4-4断面)

4-4断面 (急流部1、急流部2)



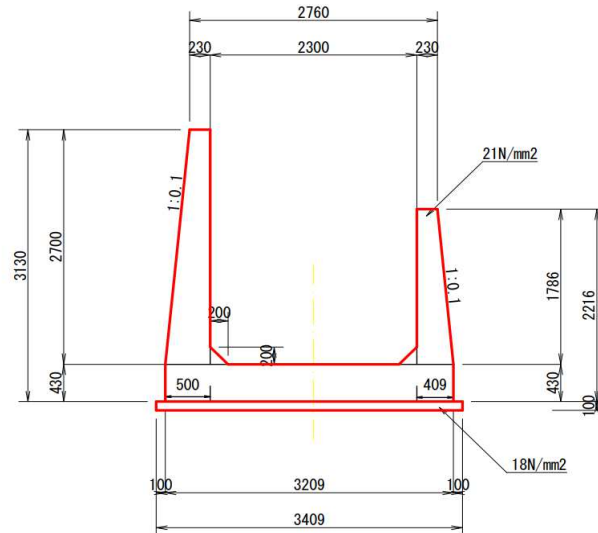
断面当り

名 称	規 格	算 式	数 量	単位
コンクリート	21N/mm ²	$(0.23 + 0.50) \times 1/2 \times 2.70 + (0.23 + 0.409) \times 1/2 \times 1.786 + 0.20 \times 0.20 \times 1/2 \times 2 + 3.209 \times 0.43$	2.976	m ³
型枠	鉄筋	$2.70 \times 1.005 + 0.43 + 2.50 + 0.20 \times 1.414 + 1.786 \times 1.005 + 0.43 + 1.586 + 0.20 \times 1.414$	10.020	m ²
基礎コンクリート	18N/mm ²	3.409×0.10	0.341	m ³
基礎コン型枠	均しコン型枠	0.10×2	0.200	m ²
鉄筋SD295A	D13			t
鉄筋SD345	D19			t
足場工	単管足場	2.70×2	5.400	掛m ²
止水板	W=200			m
目地材	エラスチックフィラー t=10mm			m ²
ダウエルバー	D16			本

洪水吐工 数量計算書

名 称 急流部2 (5-5断面)

5-5断面 (急流部2、急流部3)



断面当り

名 称	規 格	算 式	数 量	単位
コンクリート	21N/mm ²	$(0.23 + 0.50) \times 1/2 \times 2.70 + (0.23 + 0.409) \times 1/2 \times 1.786 + 0.20 \times 0.20 \times 1/2 \times 2 + 3.209 \times 0.43$	2.976	m ³
型枠	鉄筋	$2.70 \times 1.005 + 0.43 + 2.50 + 0.20 \times 1.414 + 1.786 \times 1.005 + 0.43 + 1.586 + 0.20 \times 1.414$	10.020	m ²
基礎コンクリート	18N/mm ²	3.409×0.10	0.341	m ³
基礎コン型枠	均しコン型枠	0.10×2	0.200	m ²
鉄筋SD295A	D13			t
鉄筋SD345	D19			t
足場工	単管足場	2.70×2	5.400	掛m ²
止水板	W=200			m
目地材	エラスチックフィラー t=10mm			m ²
ダウエルバー	D16			本

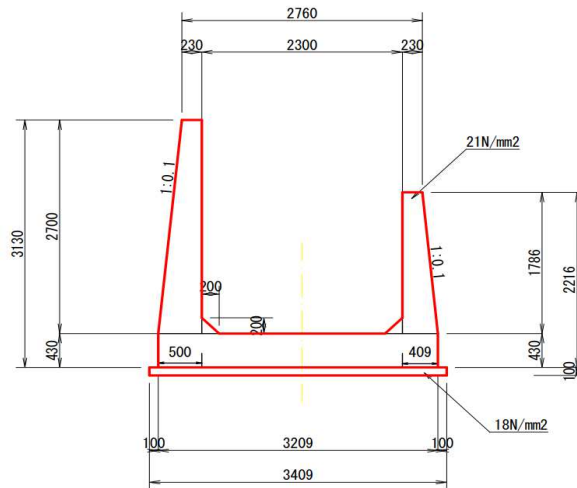
洪水吐工 数 量 計 算 書

名 称 急流部3

名 称	規 格	算 式	数 量	単位
コンクリート	21N/mm2	$(2.976 + 2.719) \times 1/2 \times 1.869$	5.322	m3
型枠	鉄筋	$(10.020 + 9.046) \times 1/2 \times 1.869 + 2.976$	20.793	m2
基礎コンクリート	18N/mm2	$(0.341 + 0.336) \times 1/2 \times 1.869$	0.633	m3
基礎コン型枠	均しコン型枠	$(0.200 + 0.200) \times 1/2 \times 1.869 + 0.341$	0.715	m2
鉄筋SD295A	D13	鉄筋質量表より	0.286	t
鉄筋SD345	D19	鉄筋質量表より	0.214	t
足場工	単管足場	$(5.400 + 4.000) \times 1/2 \times 2.646$	12.436	掛m2
止水板	W=200	6.960	6.960	m
目地材	エラスチック フィラー t=10mm	2.720	2.720	m2
ダウエルバー	D16	21.000	21.000	本
サイドドレーン		2.400	2.400	m
ウイープホール	φ 50	2.000	2.000	個
		数量内訳		
		本体工＋端部型枠		
		足場延長 L=2.646m たて壁外側延長		

名 称 急流部3 (5-5断面)

5-5断面 (急流部2、急流部3)

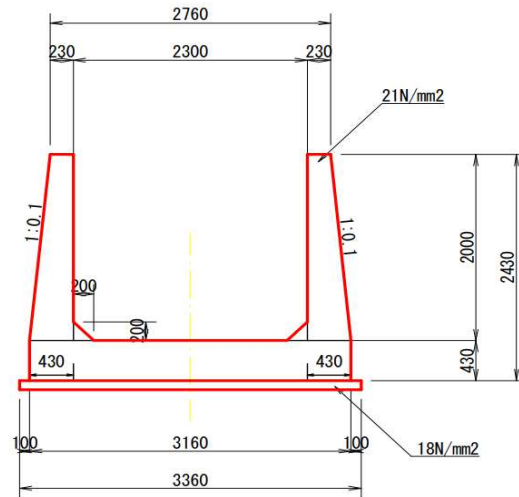


断面当り

名 称	規 格	算 式	数 量	単位
コンクリート	21N/mm ²	$(0.23 + 0.50) \times 1/2 \times 2.70 + (0.23 + 0.409) \times 1/2 \times 1.786 + 0.20 \times 0.20 \times 1/2 \times 2 + 3.209 \times 0.43$	2.976	m ³
型枠	鉄筋	$2.70 \times 1.005 + 0.43 + 2.50 + 0.20 \times 1.414 + 1.786 \times 1.005 + 0.43 + 1.586 + 0.20 \times 1.414$	10.020	m ²
基礎コンクリート	18N/mm ²	3.409×0.10	0.341	m ³
基礎コン型枠	均しコン型枠	0.10×2	0.200	m ²
鉄筋SD295A	D13			t
鉄筋SD345	D19			t
足場工	単管足場	2.70×2	5.400	掛m ²
止水板	W=200			m
目地材	エラスチックフィラー t=10mm			m ²
ダウエルバー	D16			本

名 称 急流部3 (6-6断面)

6-6断面 (急流部3、減勢工)



断面当り

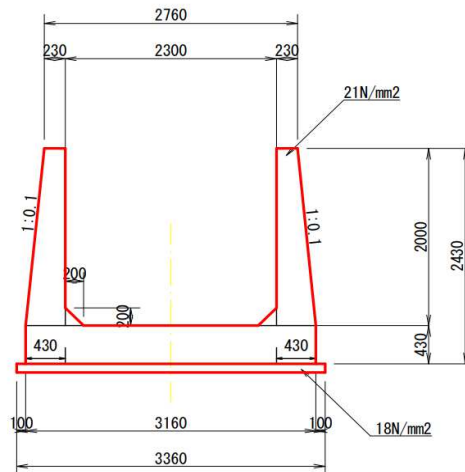
名 称	規 格	算 式	数 量	単位
コンクリート	21N/mm2	$(0.23+0.43) \times 1/2 \times 2.00 \times 2 + 0.20 \times 0.20 \times 1/2 \times 2 + 3.16 \times 0.43$	2.719	m3
型枠	鉄筋	$(2.00 \times 1.005 + 0.43 + 1.80 + 0.20 \times 1.414) \times 2$	9.046	m2
基礎コンクリート	18N/mm2	3.360×0.10	0.336	m3
基礎コン型枠	均しコン型枠	0.10×2	0.200	m2
鉄筋SD295A	D13			t
鉄筋SD345	D19			t
足場工	単管足場	2.00×2	4.000	掛m2
止水板	W=200			m
目地材	エラスチックフィラー t=10mm			m2
ダウエルバー	D16			本

洪水吐工 数 量 計 算 書

名 称 減勢工				
名 称	規 格	算 式	数 量	単位
コンクリート	21N/mm2	$(2.719 + 2.719) \times 1/2 \times 3.10 + 0.797 + 0.102$	9.328	m3
型枠	鉄筋	$(9.046 + 9.046) \times 1/2 \times 3.10 + 2.306 + 1.463 + 2.719 + 2.719$	37.250	m2
基礎コンクリート	18N/mm2	$(0.336 + 0.336) \times 1/2 \times 2.515$	0.845	m3
基礎コン型枠	均しコン型枠	$(0.200 + 0.200) \times 1/2 \times 2.515 + 0.336 + 0.336$	1.175	m2
鉄筋SD295A	D13	鉄筋質量表より	0.485	t
鉄筋SD345	D19	鉄筋質量表より	—	t
足場工	単管足場		—	掛m2
止水板	W=200	6.960	6.960	m
目地材	エラスチック フィラー t=10mm	2.720	2.720	m2
ダウエルバー	D16	21.000	21.000	本
サイドドレーン		2.500	2.500	m
ウイープホール	φ 50	2.000	2.000	個
		数量内訳		
		本体工＋カットオフ＋突起物＋端部型枠（両端）		

名 称 減勢工 (6-6断面)

6-6断面（急流部3、減勢工）

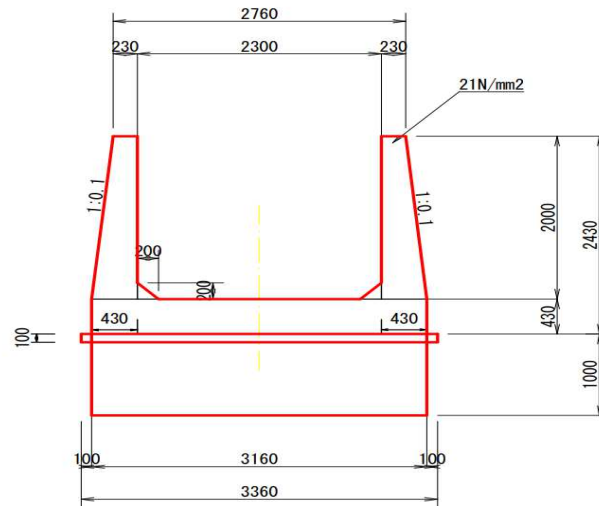


断面当り

[illegible]

名 称 減勢工 (7-7断面)

7-7断面（減勢工）

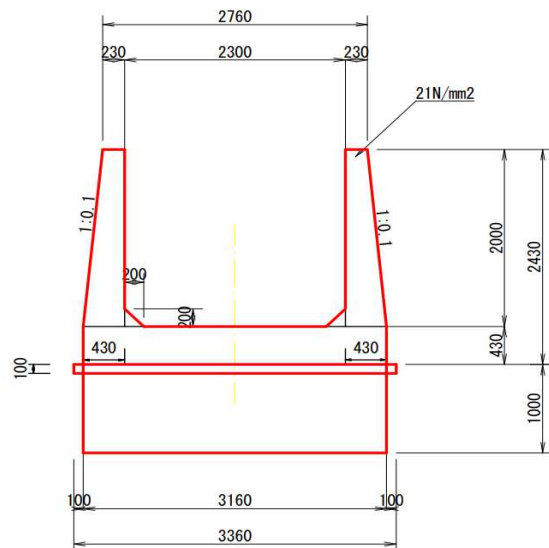


断面当り

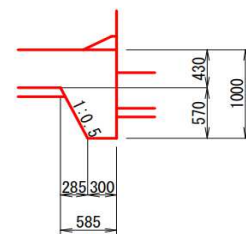
[illegible]

名 称 減勢工（カットオフ）

7-7断面 (減勢工)



カットオフ S=1:50

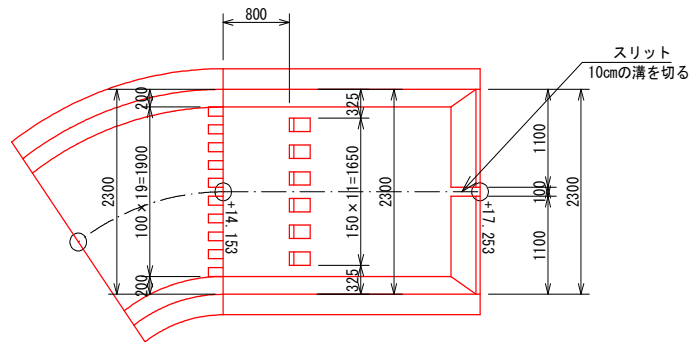
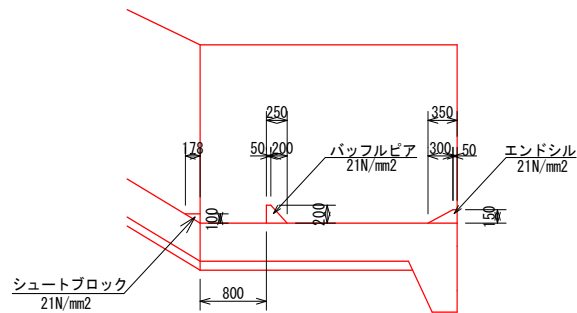


1箇所当り

[illegible]

洪水吐工 数 量 計 算 書

名 称 減勢工（突起物）



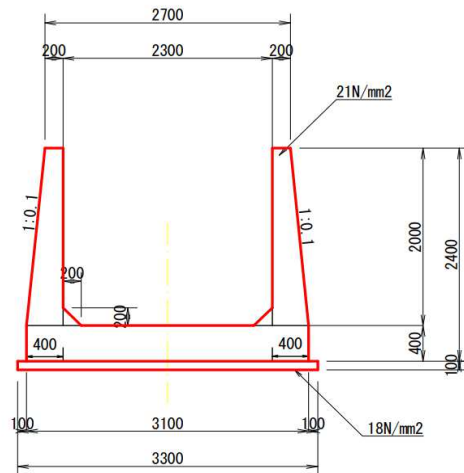
1箇所当り

名 称	規 格	算 式	数 量	単位
コンクリート	21N/mm2			
	シュートブロック	$0.178 \times 0.10 \times 1/2 \times 0.10 \times 10$	0.009	
	バツフルピア	$(0.05 + 0.25) \times 1/2 \times 0.20 \times 0.15 \times 6$	0.027	
	エンドシル	$(0.05 + 0.35) \times 1/2 \times 0.15 \times 1.10 \times 2$	0.066	
	計		0.102	m3
型枠	鉄筋			
	シュートブロック	$(0.178 \times 0.10 \times 1/2 \times 2 + 0.10 \times 0.10) \times 10$	0.278	
	バツフルピア	$((0.05 + 0.25) \times 1/2 \times 0.20 \times 2 + 0.20 \times 0.15 + 0.20 \times 1.414 \times 0.15) \times 6$	0.795	
	エンドシル	$(0.05 + 0.35) \times 1/2 \times 0.15 \times 2 + 0.15 \times 1.10 \times 2$	0.390	
	計		1.463	m2

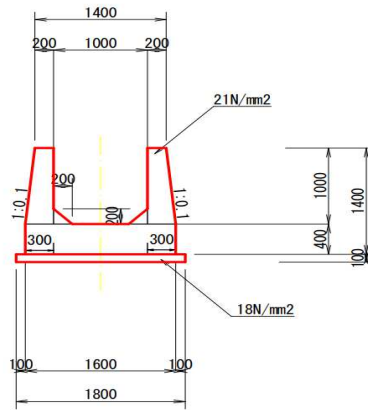
洪水吐工 数 量 計 算 書

名 称 取付工				
名 称	規 格	算 式	数 量	単位
コンクリート	21N/mm2	$(2.480 + 1.180) \times 1/2 \times 2.70$	4.941	m3
型枠	鉄筋	$(8.986 + 4.976) \times 1/2 \times 2.70 + 1.180$	20.029	m2
基礎コンクリート	18N/mm2	$(0.330 + 0.180) \times 1/2 \times 2.70$	0.689	m3
基礎コン型枠	均しコン型枠	$(0.200 + 0.200) \times 1/2 \times 2.70 + 0.180$	0.720	m2
鉄筋SD295A	D13	鉄筋質量表より	0.356	t
鉄筋SD345	D19	鉄筋質量表より	—	t
足場工	単管足場		—	掛m2
止水板	W=200		—	m
目地材	エラスチック フィラー t=10mm		—	m2
ダウエルバー	D16		—	本
		数量内訳		
		本体工＋端部型枠		

7-7断面 (取付工)

[illegible]

8-8断面 (取付工)

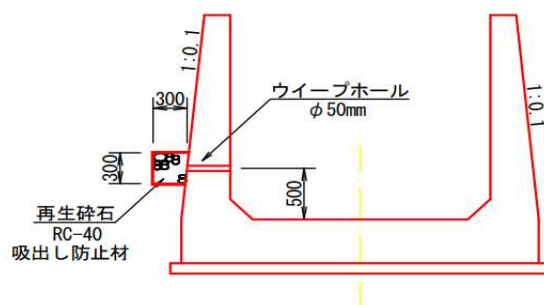
[illegible]

名 称 サイドドレーン

サイドドレーン

S=1:50

左岸側のみ



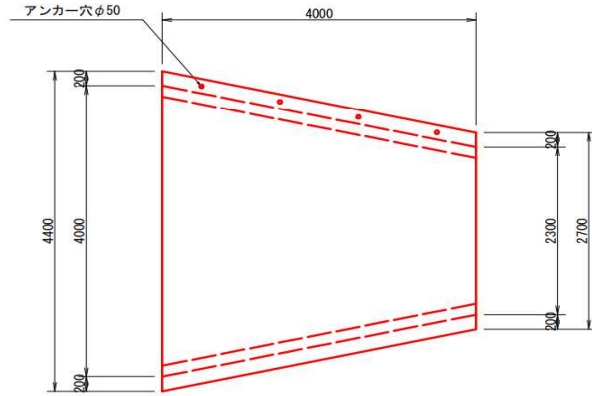
10m当り

[illegible]

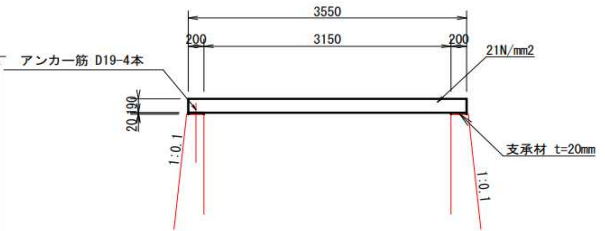
名 称 床版工

床版工

平面図



標準断面図



1箇所当り

名 称	規 格	算 式	数 量	単位
コンクリート	21N/mm2	$(4.40 + 2.70) \times 1/2 \times 4.00 \times 0.19$	2.698	m3
型枠	鉄筋	$(4.00 + 2.30) \times 1/2 \times 4.00 + (4.00 + 2.30) \times 0.19$	13.797	m2
鉄筋SD295A	D13	鉄筋質量表より	67.000	kg
鉄筋SD345	D19	鉄筋質量表より	215.00	kg
支保工		$(4.00 \times 1.29 + 2.30 \times 1.576) \times 1/2 \times 4.00$	17.570	空m3
支承材	t=20mm	$4.00 \times 0.20 \times 2$	1.600	m2
転落防止柵	プレート型		6.900	m
アンカー穴	削孔		4	孔

洪水吐工数量計算書

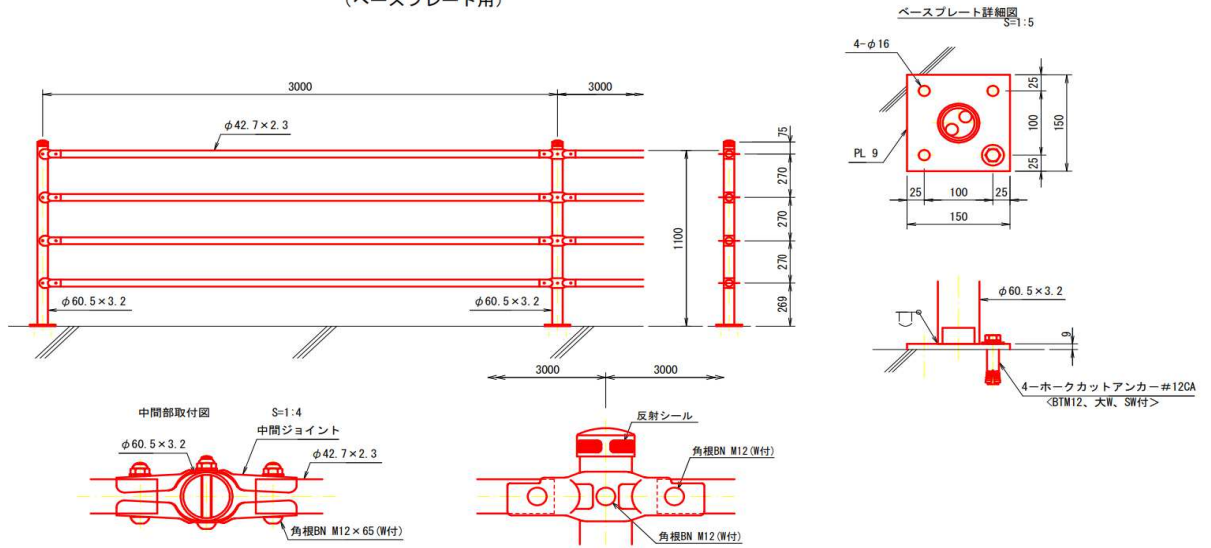
名 称 転落防止柵H=1100

(ベースプレート用)

転落防止柵 H=1100

(ベースプレート用)

S = 1 : 20

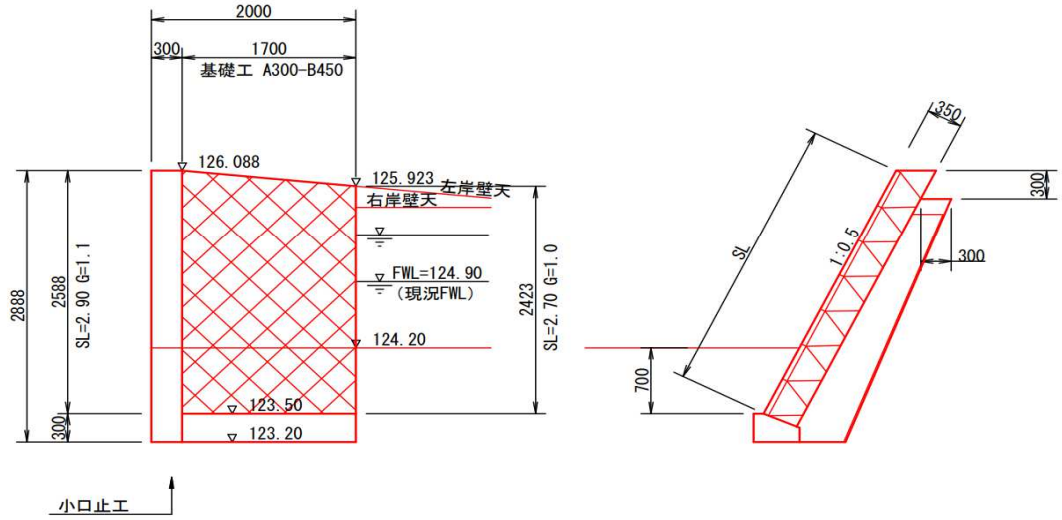


1式当り

[illegible]

名 称 ブロック積擁壁

ブロック積擁壁



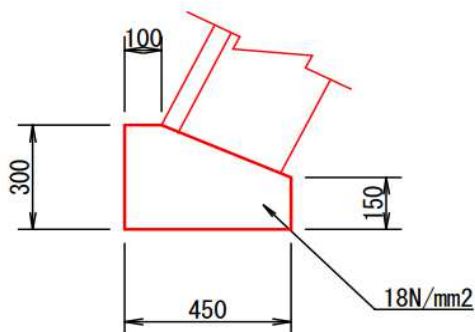
1式当り

[illegible]

名 称 ブロック積基礎工

A300-B450

基礎工

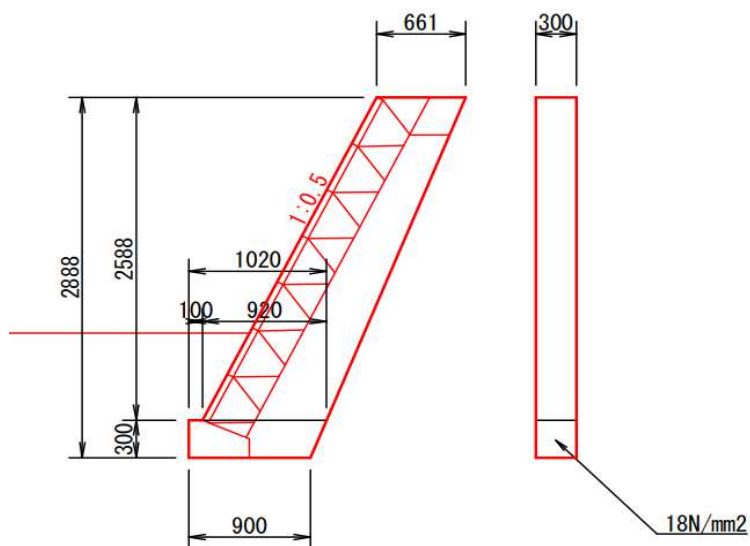


10m 当り

[illegible]

名 称 小口止工

小口止工

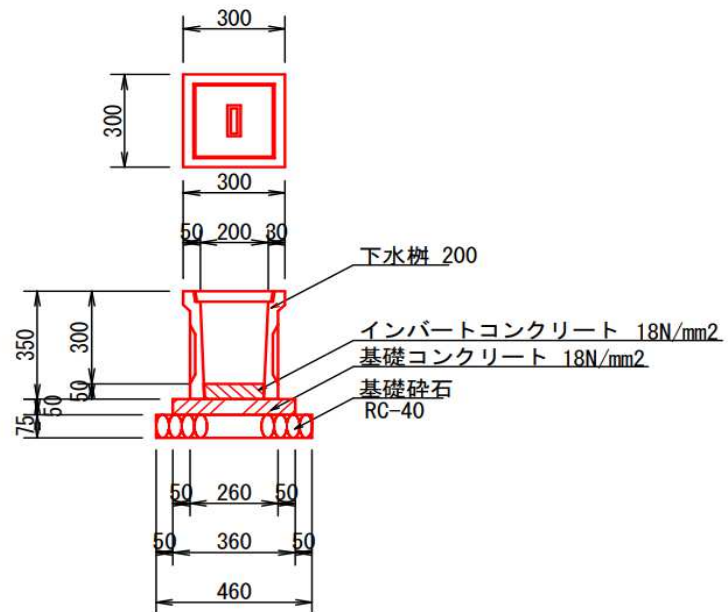


1箇所当り

[illegible]

名 称	溜桡200型
-----	--------

溜桡200型

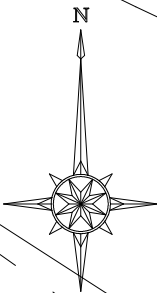


1箇所当り

[illegible]

参考図
工事用道路

大久保下池
FWL=124.93



S=1:100

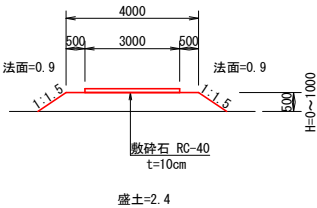
X=500

X=500

Y=500

Y=500

標準横断面図 S=1:100
L=10.0m



IP. 1
1A=71-22-34
R=3
GL=3.737
TL=2.155
SL=0.694

工事名	大久保下池改良工事		
図面名	参考図		
作成年月	2026年6月		
縮尺	図示	工事名	1/1
事業者名	福山市 松永建設産業課		